松任市

末松遺跡群I

2 0 0 4

石 川 県 教 育 委 員 会 (財) 石川県埋蔵文化財センター

末松遺跡群 I

2 0 0 4

石 川 県 教 育 委 員 会 (財) 石川県埋蔵文化財センター

- 1 本書は末松遺跡群木津遺跡の第1・2次発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地は松任市の木津町地内である。
- 3 調査原因は国道157号鶴来バイパスであり、同事業を所管する建設省北陸地方建設局金沢工事事務所(現 国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所)が、石川県教育委員会に発掘調査を依頼したものである。
- 4 調査は石川県立埋蔵文化財センター(以下県立埋文センター)が、昭和59 (1984)年度から昭和61 (1986)年度にかけて現地調査・出土品整理を実施した。平成14年度から平成15年度にかけて財団法人石川県埋蔵文化財センターが出土品整理・報告書刊行を実施した。
- 5 調査に係る費用は、国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所が負担した。
- 6 現地調査は昭和59・60 (1984・1985)年度に実施した。期間・面積・担当者は下記のとおりである。 第1次調査

期 間 昭和59(1984)年5月21日~昭和59(1984)年11月29日

面 積 3,000㎡

担当者 西野秀和(主事)、三浦純夫(主事)

第2次調查

期 間 昭和60 (1985)年7月17日~昭和60 (1985)年12月14日

面 積 1,125㎡

担当者 米沢義光(主事)

- 7 出土品整理は昭和59年から昭和61年に県立埋文センターが石川県埋蔵文化財協会に委託して行った。平成14・15年度には財団法人石川県埋蔵文化財センターが行った。
- 8 図版編集の一部を(株)セビアスに委託して行った。
- 9 報告書の刊行は平成15 (2003)年度に実施し、調査部調査第1課が担当した。本書の執筆は第1章 を布尾和史(調査部調査第1課主任主事)が、そのほかの部分の執筆と編集は柿田祐司(調査部調査第 1課主任主事)が行った。
- 10 調査には下記の機関、個人の協力を得た。 国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所、松任市教育委員会、北野博司
- 11 調査に関する記録と出土品は石川県埋蔵文化財センターで保管している。
- 12 本書についての凡例は下記のとおりである。
 - (1) 方位は座標北であり、座標は国土交通省告示の平面直角座標Ⅷ系に準拠した。
 - (2) 水平基準は海抜高であり、T.P.(東京湾平均海面標高)による。
 - (3) 出土遺物番号は挿図と写真で対応する。
 - (4) 遺物実測図については須恵器の断面は黒塗り、内黒土器はアミ、赤彩土器はドットで示した。

目 次

第1	章	位置	と ヨ	環 境	į		•••••				•••••	1
第 2	章	調査の	経緯	幸			•••••					4
第	1 節	調査に	いた	るまで	·							4
穿	第2節	第1次	'調查									4
·	第3節								• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			
7	4 3 C 6	77 4 W	. 明 且.									4
第 3	章	調査	のオ	慨 要	į			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			6
第	第1節	グリッ	ドの	設定							•••••	6
第	第2節	第1次	"調査									6
·	第3節											
4	4以 C E	押 4 0	,明且									0
第 4	章	遺構	と ;	遺物	J							7
第	第1節	遺	構								• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	7
第	第2節	遺	物									48
笞	第3節	十男の	胎士	分類と	分析							74
·	54節	小										
						1	挿図 目	目次				
第1図	大 津温	遺跡の位置	g				1	第16図	遺構平面図5	(S = 1/100)		99
第2図									遺構個別図6			
第3図		れた末松						第18図	遺構個別図7			
第4図	グリッ	ド設定図	(S =	= 1/1,0	000) .		6	第19図	遺構個別図8	(S = 1/40)		25
第5図	遺構全	È体図(S	S = 1/5	500) .			8	第20図	遺構平面図 6	(S = 1/100)		26
第6図		区面図分割						第21図	遺構個別図9			
第7図		四図1						第22図	遺構平面図7			
第8図		本面図2(第23図	遺構平面図8			
第9図		国別図1(第24図	遺構個別図10			
第10図		三面図3(第25図	遺構個別図11			
第11図		国別図2(第26図	遺構平面図9			
第12図		国別図3(第27図	遺構平面図10			
第13図		国別図4(第28図	遺構個別図12			
第14図		西図4(第29図	遺構個別図13			
第15図	退佣作	周別図5($\omega = 1$	(100)			.71	第30図	遺構平面図11	(2 = 1/100)	,	36

第31図	遺構個別図14 (S = 1/60) ·····37	第49図	遺物実測図 8 (S=1/3)56					
第32図	遺構平面図12 (S = 1/100) ······38	第50図	遺物実測図 9 (S=1/3)57					
第33図	遺構個別図15 (S = 1/80) ······39	第51図	遺物実測図10 (S=1/3) ·····58					
第34図	遺構平面図13 (S = 1/100) ······40	第52図	遺物実測図11 (S = 1/3) ·····59					
第35図	遺構個別図16 (S = 1/60) ······41	第53図	遺物実測図12(S = 1/3) · · · · · · · 60					
第36図	遺構平面図14 (S=1/100) ······42	第54図	遺物実測図13(S = 1/3) · · · · · · · 61					
第37図	遺構個別図17 (S = 1/40) ······43	第55図	遺物実測図14 (S = 1/3) ······62					
第38図	遺構平面図15 (S=1/100) ······44	第56図	遺物実測図15 (S = 1/3) ······63					
第39図	遺構個別図18 (S=1/60) ······45	第57図	遺物実測図16 (S=1/3)64					
第40図	遺構個別図19 (S=1/60) ······46	第58図	遺物実測図17(S = 1/3) · · · · · · 65					
第41図	遺構個別図20 (S = 1/60) ······47	第59図	遺物実測図18 (S = 1/3) ······66					
第42図	遺物実測図1 (S=1/3)49	第60図	遺物実測図19(S=1/3) · · · · · · 67					
第43図	遺物実測図 2 (S=1/3)50	第61図	遺物実測図20 (S=1/3)68					
第44図	遺物実測図 3 (S=1/3)51	第62図	遺物実測図21 (S=1/3)69					
第45図	遺物実測図 4 (S=1/3)52	第63図	遺物実測図22(S = 1/3) · · · · · · · 70					
第46図	遺物実測図 5 (S=1/3)53	第64図	遺物実測図23(S=1/3) · · · · · · 71					
第47図	遺物実測図 6 (S=1/3)54	第65図	遺物実測図24(S=1/3) · · · · · · · 72					
第48図	遺物実測図7 (S=1/3)55	第66図	遺物実測図25(S=1/3) ······73					
	表目	次						
第1表	木津遺跡周辺の遺跡一覧表3	第6表	出土遺物観察表 479					
第2表	出土土器の時期と胎土75	第7表	出土遺物観察表 580					
第3表	出土遺物観察表 176	第8表	出土遺物観察表 681					
第4表	出土遺物観察表 277	第9表	出土遺物観察表 782					
第5表	出土遺物観察表 378							
図版目次								
	遺跡近景(南西から)、(北西から)	図版12						
図版 2	調査区全景(1984年度調査区全景)	図版13						
図版 3	S I 1 · 2	図版14						
図版 4	SI 3		SK1 \cdot 2, $4 \sim 6$					
図版 5	SI 3 遺物出土状況		SK5~8, 11·12					
図版 6	SI 4 · 5	図版17						
図版 7	SX1~3	図版18						
図版 8	SX3 遺物出土状況 1		SK15 · 16 · 18 · 19					
図版 9	SX3·SX4 遺物出土状況		SK18~20ほか					
図版10	OD 1	区加21	遺物出土状況ほか					
\(\sigma\) \(\sigma\) 1 = 1 = 1	SB2	阿里	~28 遺物写真					

報告書抄録

ふりがな	まっとうしす;	えまついも	せきぐんい	ち					
書 名	松任市末松遺跡	弥群 I							
副 書 名	一般国道157号	線鶴来バ	イパス改勢	桑工事 に	係る	埋剂	蔵文化財発掘	調査報告	書
巻 次	I								
シリーズ名									
編著者名	柿田祐司、布	尾和史							
編集機関	財団法人石川り	県埋蔵文(上財センタ	_					
所 在 地	〒920−1336	石川県金	沢市中戸町	叮18番地	11 (TE	L 076-229-	-4477)	
発 行 機 関	石川県教育委員	員会・財団	団法人石川	県埋蔵	文化則	けセ	:ンター		
発行年月日	西暦2004年 3 月	月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地		ード 遺跡番号	北緯 (新)	東約(新		調査期間	調査面積	調査原因
こうづいせき木津遺跡	いしかわけん石川県	17028	08012	36度	136		19840521	3000 m²	道路建設
	ー 石川県 まっとうし 松任市	11020	00012	30分	35/		~	8000111	EMER
第1次調査	松仕巾 こうづ 木津			4秒	45利		19841129		
	八年			11/	101		10011120		
第2次調査							19850717	1125 m²	-
							~		
							19851214		
所収遺跡名	種別	_ 主な時代	É 3	<u></u> Eな遺構			主な遺物	J	 特記事項
木津遺跡	集落跡?	弥生時代				弥生	生土器		
	集落跡	古墳時代	党 竪穴刻	建物跡		土	師器・須恵器	Ţ	
			土坑						
	集落跡	古代		建物跡			師器・須恵器	・墨書	
				柱建物的	j r	土	器・石製品		
			土坑溝						
	集落跡?	 近 世				1 田 台	 前系陶磁器		
	木佰咧 (<u> </u>	-			ЛЦ F	19.7下四703.66		

第1章 位置と環境

木津遺跡は石川県松任市木津町に所在し、白山に源を発する手取川により形成された手取川扇状地に立地する。手取川扇状地上においては、古くは縄文時代後期から人々が暮らした痕跡を捉えることができ、松任市旭遺跡や、金沢市米泉遺跡、野々市町御経塚遺跡など、竪穴建物跡や石囲炉といった遺構を伴う集落遺跡が扇端部付近で確認される。また、扇央部東側でも金沢市馬替遺跡や野々市町三納アラミヤ遺跡(81)などのように縄文時代後期の遺物がまとまって出土する例が知られているほか、野々市町三納トヘイダゴシ遺跡(79)、富樫館跡遺跡群のように土器片や打製石斧などが散発的に出土するのみの遺跡も数多く確認されている。このような遺物のみ出土する遺跡は、縄文時代晩期になると西側にも拡がる傾向を示し、以降弥生時代前期にいたるまで、扇状地上で発掘される多くの遺跡で認められるようになる。



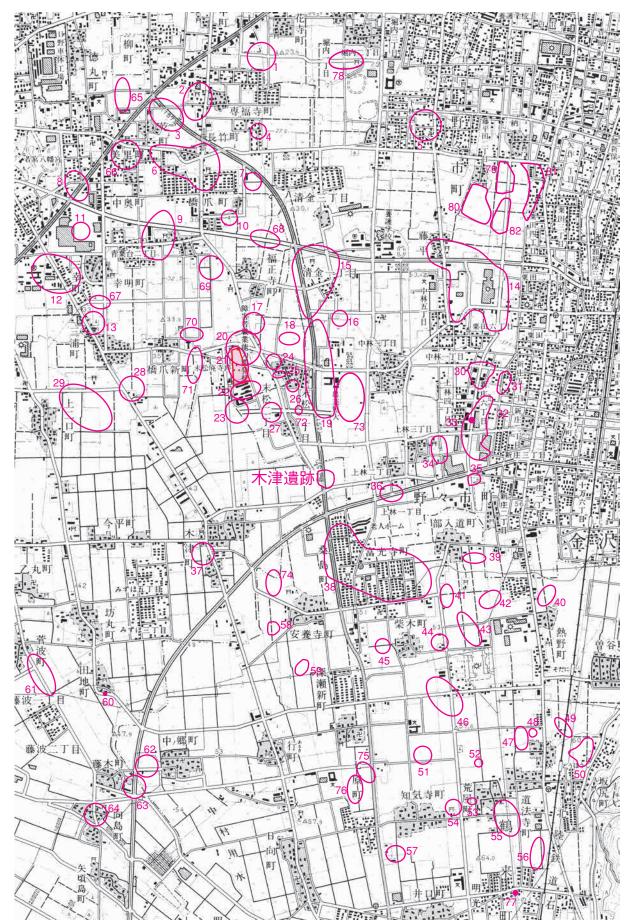
第1図 木津遺跡の位置

遺構を伴う遺跡は乾町遺跡 (3) 下層などごくわずかに認められるのみとなっている。

水田耕作を基盤とする社会形態を志向し始めた弥生時代中期頃になると、周辺の遺跡分布は手取川扇状地扇端部や松任平野沖積地など低地を求め際立った偏りを示す。松任市野本遺跡、八田中ヒエモンダ遺跡、横江古屋敷遺跡、金沢市下安原遺跡、上荒屋遺跡など竪穴建物跡を居住施設とする集落跡を中心に、小規模な遺跡もその周辺で発掘されており、大規模な灌漑を要しない低湿地域での初期稲作農耕のあり方を垣間見せる形となっている。その後、弥生時代後期から古墳時代前期には、低地での集落数や建物数の増加が認められるようになり、松任市旭遺跡や野々市町御経塚シンデン遺跡のような墳墓群も作られるようになった。一方、扇状地扇央部では、野々市町上新庄ニシウラ遺跡(35)や末松廃寺(21)など、居住施設を伴う集落が出現し、小規模ながらも扇状地上を流れる河川と結びついた形での集落の運営が開始されることとなる。ただ、その規模は小さいままで推移したものらしく、古墳時代中・後期・飛鳥時代にいたっても、上林新庄遺跡(32)や上林テラダ遺跡(34)、末松ダイカン遺跡(20)での建物跡数基からなる集落跡や、横穴式石室の基底部が調査された上林古墳(33)などがわずかに見られる程度であり、低地とは対照的な様相を呈していた。

奈良時代直前頃から奈良時代にかけては遺跡の増加と大規模化により、扇状地開発が本格化した時期と捉えられている。これは在地の新興開発領主層の成長とそれに伴う労働力の組織化が扇状地扇央部地域で顕著に進んだことによるものと考えられており、木津遺跡周辺で、さほど距離をおかずに大規模な遺跡群が群在する状況を確認できる。現在も流れる七ヶ用水の名称に準じた水系名を付して整理すると、富樫用水水系では多数の建物跡が検出された下新庄アラチ遺跡(30)と上林新庄遺跡(32)を中心として、上新庄ニシウラ遺跡(35)、下新庄タナカダ遺跡(31)、粟田遺跡(14)などからなる遺跡群があり、郷用水水系では東側に末松廃寺(21)とその周辺で展開する末松ダイカン遺跡(20)、末松福正寺遺跡(17)、末松A遺跡(19)、木津遺跡などが一群をなし、西側には三浦遺跡(12)、幸明遺跡(11)、上二口遺跡(29)が水系単位でまとまった遺跡群を形成する。こうした状況は平安時代にもしばらく継続し、平安時代の中頃から後半にかけて縮小、廃絶していくようである。

その後新たに扇状地扇央部での活動が目立つようになるのは、平安時代の後半からであり、周辺では橋爪ガンノアナ遺跡 (9)、三浦遺跡 (12)、幸明遺跡 (11)、安養寺遺跡 (38)、知気寺遺跡 (51)



第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡(S=1/25,000)

第1表 木津遺跡周辺の遺跡一覧表

番号	名称 木津遺跡	所在地 松任市木津町	現状 水田、道路	時代 弥生~中世	出土品 弥生土器(柴山出村式)、土師器、須恵器、珠洲焼、陶磁器	出土品 1984、85年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
1	不平垣時 田中ノダ遺跡	松任市田中町	水田、坦路	弥生~中世 弥生、古墳	外生主器(宋山出村式)、主脚器、須思器、珠洲規、國磁器 弥生土器、土師器	1984、85年石川県立理蔵文化財センター発掘調査。 1983年松任市教委発掘調査。一部野々市町に広がる。
2	専福寺遺跡	松任市専福寺町	社地、宅地他	中世	五輪塔、仏具(銅製)、花器	
3	乾町遺跡	松任市乾町	水田、道路	縄文~近世	職文土服、來生土器、石製品、本製品、金剛製品、規思別、 上師器、上師員上器 專用號 越前號 白白經 · 青磁 美製熊、 管玉、均玉、玉本成品、10個、非賀石序。所製石序、石廠、配 商系阿超思、越中源厂 明於付、琥珀壹、漆器稅、粉挽日、 茶已、火鉢 網級 位丁、據 石廠、ドリル、環状石斧、石刻 (棒)、岩關(復)、石冠、石玉、石田	1990.91年(社)石川県埋蔵文化財保存協会発掘調査,配石築、土坑総等検出,1992年松任市委発掘調査。
5	高田遺跡 三林館跡	松任市専福寺町 石川郡野々市町下林	水田、宅地 社地	縄文、平安 近世(安土桃山)	打製石斧、土器	
				縄文、古墳、平安、	打製石斧、磨製石斧、縄文式土器、長輪塔、土師器、珠洲焼、	1975年県教委分布調査。1976年県教委発掘調査。1990、91年石川県立埋蔵文化財センターチ
7	長竹遺跡 橋爪遺跡	松任市長竹町 松任市橋爪町	水田	中世、近世 縄文、弥生、中世、	越前焼、灯明皿、磁器 打製石斧、縄文土器(晩期)、弥生土器、青磁、珠洲焼	掘調查。 1990年(社)石川県埋蔵文化財保存協会発掘調查。
8	幸明経塚	松任市幸明町	水田、道路	近世 近世(安土桃山)	経石	西方寺跡と複合。「石川訪古遊記」
8	西方寺跡	松任市幸明町	水田、道路	近世(安土桃山)	五輪塔 須惠器、土師器、緑釉陶器、灰釉陶器、石器、鉄製品、木製	幸明経塚と複合 1992、94、95年松任市教委発掘調査。1999年(財)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。
9	橋爪ガンノアナ遺跡	松任市橋爪町	水田	奈良、平安	品、鉱滓、刀子、焼石、小刀	1999年調查遺構河跡1条、掘建柱建物4棟、土坑2基、溝2条、小穴多数。
10	橋爪松の木遺跡 幸明遺跡	松任市橋爪町 松任市幸明町	水田	中世 奈良、平安	五輪塔、宝篋印塔 須恵器、土師器	1991年松任市教委一部調查。竪穴、掘立柱建物検出。1991、92、93年松任市教委発掘調査。
12	三浦遺跡	松任市三浦町	校地、水田、道路	弥生、古墳、奈良、	土師器、須恵器、施釉陶器、土錘、フイゴ羽口、鉱滓鉄製品	1965、91、92、93年松任市教委発掘調査。1965年県教委発掘調査。1984、88、90、91、95年石川月
13	三浦常在光寺跡	松任市三浦町	水田	平安、中世中世(鎌倉)	土器	立埋蔵文化財センター発掘調査。住居跡、小鍛冶跡等検出。
14	栗田遺跡	石川郡野々市町栗田、中林、本町 5丁目	工場、水田、宅地	縄文、奈良、平安、 中世、近世	縄文土器、石器、打製石斧、須恵器、土師器、刀子、砥石、鉄 滓、銅滓、陶磁器	1989、90、92、93、95、96年(社)石川県埋蔵文化財保存協会、野々市町敦委発掘調査。1989、90、 92、93、95~97、99、2000年野々市町敦委発掘調査。
15	清金アガトウ遺跡	石川郡野々市町上清金	水田、道路	縄文、弥生、奈良、 平安、中世	縄文土器、土師器、須恵器、珠洲焼、鉄製品、打製石斧、鉄 製犂先	1988-90,96年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。(社)石川県埋蔵文化財保存協会発 調査。1995年野々市町敦委発掘調査。
16	末松信濃館跡	石川郡野々市町末松 石川郡野々市町末松・松任市福	宅地	中世		もとは漆跡ありという。1996年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
17	末松福正寺遺跡	正寺町	水田	古墳、奈良、平安	土師器、須恵器、鉄製品	松任市福正寺町にまたがる。1996年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
17 18	福正寺跡 末松B遺跡	石川郡野々市町末松 石川郡野々市町末松	水田	平安、不詳 弥生、奈良	須惠器、五輪塔、宝篋印塔 高杯	1995年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
19	末松A遺跡	石川郡野々市町末松、中林2丁目	校地、水田、道路	縄文、弥生、古墳、 奈良、平安、中世	打製石斧、土師器、須恵器、石器、炭化材	1984~89年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。1992、96、2000年野々市町教委発掘調子 1998年(財) 石川県埋蔵文化財センター発掘調査。
20	末松ダイカン遺跡	石川郡野々市町末松	水田、果樹園、道路	縄文、弥生、古墳、 奈良、平安、中世	縄文土器、弥生土器、鉄製品、石器、須恵器、土師器、宝篋 印塔、五輪塔、鉄製紡錘車	1977年県教委発掘調査。89、95、96年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
21	末松廃寺	石川郡野々市町末松	公園、水田	弥生、古墳、奈良、	銀製和銅開珎、軒丸瓦、平瓦、鴟尾瓦塔、須恵器、土師器、	国指定史跡。史跡公園化環境整備事業完了。1996、97年石川県立埋蔵文化財センター発掘計
22	大館館跡	石川郡野々市町末松	水田、果樹園	平安、中世、近世 平安、中世(室町)	近世陶磁器、石器、鉄製品 土器	查。1966、67年野々市町敦委発掘調查。
23	末松砦跡	石川郡野々市町末松・松任市木 津町	校地	不詳	土師器	松任市木津町にまたがる。
24	古元堂館跡	石川郡野々市町末松	宅地	不詳		もとは濠跡ありという。
25	未松C遺跡	石川郡野々市町末松	宅地、水田、校地	奈良、平安	瓦、土師器、須恵器	1992年野々市町教委発掘調査。
26 27	末松古墳 法福寺跡	石川郡野々市町末松 石川郡野々市町末松	水田 水田	古墳 不詳	五輪塔、宝篋印塔	円墳
28	三浦高麗野遺跡	松任市三浦町	宅地、工場	中世(鎌倉)	五輪塔、宝篋印塔	
29 30	上二口遺跡 下新庄アラチ遺跡	松任市上二ロ町 石川郡野々市町上林・新庄	水田 宅地、道路、水田	古墳、奈良、平安 古墳、奈良、平安	土師器、須恵器、帯金具(銅製巡方) 須恵器、土師器、砥石	1981年石川県立埋蔵文化財センター分布調査、発掘調査。堅穴、掘立柱建物等検出。 1991、92、94、96年野々市町教委発掘調査。
31	下新庄タナカダ遺跡	石川郡野々市町新庄	水田	奈良、平安	須恵器、土師器、石器	1994年野々市町教委発掘調査(区画整理1994/09/22~1994/12/22)。
32	上林新庄遺跡	石川郡野々市町上林・新庄	道路、水田	縄文、古墳、奈良、 平安	縄文土器、石器、須恵器、土師器、鉄製品、石製品	1990、91、93~95年野々市町教委発掘調査。
33	上林古墳	石川郡野々市町上林	道路	古墳(後期)	須恵器	横穴式石室。1991年野々市町教委発掘調査(土地区画整理1991/05/00~1991/09/00)。
34	上林テラダ遺跡 上新庄ニシウラ遺跡	石川郡野々市町上林 石川郡野々市町新庄	道路、水田 道路、体育施設	奈良 古墳、奈良	須恵器、土師器、石器 須恵器、土師器、弥生土器、土製品	1990年野々市町教委発掘調査(土地区画整理1990/06/19~1990/12/14)。 1989年野々市町教委発掘調査。
36 37	上林遺跡 法蓮寺跡	石川郡野々市町上林 松任市木津町	水田、道路 宅地、水田	弥生、平安 不詳	弥生土器、石斧、土師器、石帯、須惠器、鉄製品	1974年県教委発掘調査。旧安養寺遺跡上林地区。1997年野々市町教委発掘調査。
38	柴木遺跡	石川郡鶴来町柴木	畑地	平安(後期)	須恵器、土師器	1974年県教委発掘調査。1991石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
38	安養寺遺跡	石川都鶴来町柴木	畑地	弥生、奈良、平安	須恵器、土師器、緑釉・灰釉陶器、銅銭、漆椀、石帯	1974年県教委発掘調査。1981年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。1988、97年鶴来町事 委発掘調査。
39 40	部入道A遺跡 熱野遺跡	石川郡鶴来町部入道 石川郡鶴来町熱野	水田	奈良、平安 平安、中世		1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
41	部入道B遺跡	石川郡鶴来町部入道	水田	奈良、平安		1990年石川県立埋蔵文化財センター分布調査。1991年熱野遺跡発掘調査となる。
42	部入道C遺跡 新荒屋遺跡	石川郡鶴来町部入道·熱野 石川郡鶴来町新荒屋	水田	奈良、平安 奈良、平安	土師器、須惠器	1990年石川県立埋蔵文化財センター分布調査。1991年熱野遺跡発掘調査となる。 1991年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
44	柴木東遺跡	石川郡鶴来町柴木	畑地、水田	奈良、平安	杯	遺物は鶴来高校保管。
45	柴木D遺跡	石川郡鶴来町柴木 石川郡鶴来町知気寺・柴木・部	水田	奈良、平安	土師器、須恵器、中世陶磁器	旧 柴木B遺跡を含む。1991年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
46	柴木南遺跡		畑地	平安(前期)	須恵器杯・蓋、土師器甕・杯	
	迫法守遺跡	入道	1	of a day and a day		
	道法寺C遺跡	入道 石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町道法寺	水田水田	奈良、平安 平安		1988,90年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
	道法寺C遺跡 道法寺B遺跡	石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町道法寺	水田水田	平安 奈良		1988,90年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
49 50 51		石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町道法寺	水田	平安	須忠器 , 土解器	1988,90年石川県立理蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立理蔵文化財センター発掘調査。
50 51 52	道法寺B遺跡 坂尻遺跡 知気寺B遺跡 荒屋B遺跡	石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町坂 石川郡鶴来町坂気寺 石川郡鶴来町荒屋	水田 水田 水田 水田 水田	平安 奈良 奈良、平安 平安 弥生		
50 51 52 53 54	道法寺B遺跡 坂尻遺跡 知気寺B遺跡 荒屋B遺跡 荒屋集落遺跡 知気寺遺跡	石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町道法寺 石川郡鶴来町遊法寺 石川郡鶴来町坂尻 石川郡鶴来町坂尻 石川郡鶴来町宛屋 石川郡鶴来町宛屋 石川郡鶴来町宛屋 石川郡郷来町宛屋	水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 烟地 水田	平安 奈良 奈良、平安 平安 弥生 平安 平安	須惠器、土簲器 杯	1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
50 51 52 53 54 55	道法寺B遺跡 坂尻遺跡 知気寺B遺跡 荒屋B遺跡 類気寺遺跡 知気寺遺跡 荒屋藤遺跡	石川郡駒米町道法寺 石川郡駒米町道法寺 石川郡駒米町並法寺 石川郡駒米町並反 石川郡駒米町並反 石川郡駒米町充屋 石川郡駒米町充屋 石川郡駒米町充屋 石川郡駒米町充屋 石川郡駒米町充屋 石川郡駒米町充屋 石川郡駒米町充屋	水田 水田 水田 水田 畑地 水田 水田	平安 奈良 奈良、平安 平安 弥生 平安 平安 平安 興文、弥生、古墳	須恵器、土師器 杯 打製石斧、石鏃、弥生土器	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57	道法寺 B 遭勝 坂 原道歸 坂 灰道歸 知気寺 B 遺跡 荒屋 東道跡 荒屋 東海 東京寺道跡 荒屋 連跡 荒屋 連跡 末屋 連跡 末屋 連跡 末屋 連跡 末屋 連跡 末屋 連跡 末屋 連跡 末屋 連跡 末屋 西連跡 井口 B 連跡	在川郡廟來町遊法寺 在川郡廟來町遊法寺 在川郡廟來町遊法寺 在川郡廟來町如法寺 在川郡廟來町如気寺 在川郡廟來町加景 在川郡廟來町加景 在川郡廟來町遊展 在川郡廟來町遊展 在川郡廟來町遊居 在川郡廟來町遊法寺 石川郡廟來町遊法寺 石川郡爾來町遊法寺	水田 水田 水田 水田 水田 畑地 水田 水田 水田 水田	平安 奈良 奈良、平安 平安 弥生 平安 平安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安 栗安	須惠器、土簲器 杯	1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57 58	超法寺 B 遺跡 坡 灰 遊跡 知 安 寺 B 遺跡 別 宋 寺 B 遺跡 飛 縣 B 遺跡 飛 縣 B 遺跡 飛 縣 遺跡 現 宗 南 遺跡 流 縣 西 遺跡 流 縣 西 遺跡 流 縣 西 遺跡 変 寺 南 遺跡 安 貴 寺 B 遺跡 安 貴 寺 B 遺跡 安 貴 寺 B 遺跡	石川郡鶴米町道法寺 石川郡鶴米町道法寺 石川郡鶴米町東近 石川郡鶴米町東近 石川郡鶴米町東近 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋 石川郡鶴米町東京屋	水田 水田 水田 水田 畑地 水田 水田 水田 水田 水田	平安 奈良、平安 奈 安 安 平 秀生、 平 安 平 安 平 安 平 平 安 平 平 安 平 平 安 平 平 安 平 平 安 平 平 安 平 平 安 平 平 安 平 平 安	須恵器、土師器 杯 打製石斧、石鏃、弥生土器	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59	超法令 B 遺跡	在川郡鶴米町遺法寺 石川郡鶴米町遺法寺 石川郡鶴米町遠法寺 石川郡鶴米町東近 石川郡鶴米町東京 石川郡鶴米町東京 石川郡鶴米町東京 石川郡鶴米町東京 石川郡鶴米町東京 石川郡鶴米町東京 石川郡鶴米町東京 石川郡鶴米町東京 石川郡鶴米町東 石川郡鶴米町安 石川郡鶴米町安 石川郡鶴米町安 石川郡鶴米町安 石川郡鶴米町安 長 石川郡鶴米町安 石川郡 石川郡 石川郡 石川郡 石川郡 石川郡 石川郡 石川郡 石川郡 石川郡	水田 水田 水田 水田 水田 烟地 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田	平安 奈良、平安 亭里安 弥生 平安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里安 平安 平安 平安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里安 亭里	須恵器、土師器 杯 打製石斧、石鏃、弥生土器	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57 58	超法令 B 遊游	在用鄉鄉東印道法寺 在川郡鄉東和道法寺 在川郡鄉東和東近 在川郡鄉東和東近 在川郡鄉東和東近 在川郡鄉東和東近 在川郡鄉東和東	水田 水田 水田 水田 州地 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田	平安 奈良 奈平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安	須惠器.土飾器 杯 打製石序.右镞.弥生土器 須惠器	1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1985年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63	超法卡日遊游 板式電路 知気中日遊游 飛尾 日遊游 飛尾 年遊游 短尾等溶遊游 知気中遊游 近は寺南遊游 近は寺南遊游 近は寺南遊游 安養寺日遊游 安養寺日遊游 行成遊游 不同本写寺 御川地古如 青花建跡 飛回 本語 一記 一記 一記 一記 一記 一記 一記 一記 一記 一記	在川郡鶴米町道法寺 石川郡鶴米町道法寺 石川郡鶴米町短法寺 石川郡鶴米町短元 石川郡鶴米町短京 石川郡鶴米町宛屋 石川郡鶴米町宛屋 石川郡鶴米町宛屋 石川郡鶴米町宛屋 石川郡鶴米町宛屋 石川郡鶴米町京屋 石川郡鶴米町安 石川郡鶴米町安 長 石川郡鶴米町安 長 石川郡鶴米町安 長 石川郡鶴米町安 長 石川郡 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水	平安 奈良 平安 奈良 平安 奈良 平安 季安 季安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平	須忠器, 土師器 杯 打製石斧, 石雕, 弥生土器 須忠器 須忠器, 刀子, 銀環	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 市指定史跡、横穴式石室(全長約7 m)。1970年松任市教委発掘調査。 青銅製器化、十一面製資整像。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	超法令 B 遊游	石川郡鶴東町道法寺 石川郡鶴東町道法寺 石川郡鶴東町道法寺 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東屋 石川郡鶴東町東屋 石川郡鶴東町東屋 石川郡鶴東町東屋 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町 石川郡鶴東町 石川郡鶴東町 石川郡鶴東町 石川郡鶴東町 石川郡鶴東町 石川郡鶴東町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田町 石川郡 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水	平安 奈良、平安 平安 奈良、平安 李生 平安 第生 平安 郷文、弥生、古墳 平安 不平安 平安 平安 中世 中世	須惠嘉、土師器 杯 打製石序、石鏃、宛生土器 須惠器、刀子、銀環 珠洲焼 育磁椀・皿、珠洲、越前、鉢、葉、土師器皿、刀子、釘、削鉄、	1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立埋蔵文化財センター発掘調査。 市指定史跡、横穴式石室(全長約7 m)。1970年松任市教委発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	超法令 B 遊游	在川郡鶴米町道法寺 石川郡鶴米町道法寺 石川郡鶴米町短法寺 石川郡鶴米町知気寺 石川郡鶴米町知気寺 石川郡鶴米町知気号 石川郡鶴米町知気号 石川郡鶴米町知気号 石川郡鶴米町知気号 石川郡鶴米町が設置 石川郡鶴米町か設寺 石川郡鶴米町か設寺 石川郡鶴米町か設寺 石川郡鶴米町から 石川郡鶴米町から 石川郡鶴米町から 石川郡鶴米町から 石川郡鶴米町から 石川郡鶴米町から 石川郡鶴米町が 松任市田 松任市田 松任市 田 松任市 田 松 任 田 松 田 田 松 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水	平安 索食具 索食具、平安 率安 率安 率安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平	須惠器、上解器 杯 打製石序、石紙、弥生土器 須惠器 須惠器,刀子、銀環 珠洲焼	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 市指定史跡。梯穴式石室(全長約7 m)。1970年松任市教委発掘調査。 青銅製盤仏、十一面観音座像。 「宝米誌」
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65	超法令 B 遊跡	在川郡鶴米町遺法寺 石川郡鶴米町遺法寺 石川郡鶴米町短法寺 石川郡鶴米町短法寺 石川郡鶴米町短京寺 石川郡鶴米町短京 石川郡鶴米町寛屋 石川郡鶴米町寛屋 石川郡鶴米町寛屋 石川郡鶴米町寛屋 石川郡鶴米町安養寺 松任市田敦町 松任市市後坡町 石川郡鶴米町十ノ郡 松任市南島町 松任市中奥町・長竹町 松任市中奥町・長竹町	水田 水田 水田 水田 水田 畑地 水田	平安 奈良 奈良 奈良 平安 奈生 赤半 平安 赤生 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安	須惠嘉、土師器 杯 打製石序、石廠、弥生土器 須惠嘉、刀子、銀環 球洲焼 青磁椀・皿、珠洲、越南、鉢、葉、土師器皿、刀子、釘、銅銭、砥石 両文土器、弥生土器、勾玉、列質円盤、土師器、珠洲焼、青磁類他	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 市指定史跡、横穴式石室(全長約7 m)。1970年松任市教委発掘調査。 市指定史跡、横穴式石室(全長約7 m)。1970年松任市教委発掘調査。 「活本誌」 2001年松任市教委務を関査を 1993~97年松任市教委務を見、発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68	超法令 B 遊跡 坂灰道跡 知気令 B 遊跡 荒屋 B 遊跡 荒屋 B 遊跡 荒屋 B 遊跡 坂屋 第 遊跡 坂屋 第 遊跡 東口 B 遊跡 佐田 B 世 B 世 B 世 B 世 B 世 B 世 B 世 B 世 B 世 B	在川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東京 石川郡鶴東町東京 石川郡鶴東町東京 石川郡鶴東町東京 石川郡鶴東町東京 石川郡鶴東町東京 石川郡鶴東町東京 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町安養寺 松任市田地町 松任市電波町 石田郡鎮東町中ノ郷 松任市市 松任市中美町 松任市中美町 松任市中美町 松任市中美町 松任市	水田 水田 水田 水田 水田 州地 水田 州地 水田	平安 奈良 奈良 奈良 宗文 平安 李安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平	須惠器、土飾器 杯 打製石序、石鐵、弥生土器 須惠器 須惠器 須惠器,刀子、銀環 珠洲焼 斉磯椀・皿、珠洲、越前、鉢、葉、土師器皿、刀子、釘、網紋、 砥石 縄文土器、宗生土器、勾玉、等質円盤、土飾器、珠洲焼、青 磁類他 須惠器、土飾器、紡錘車	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 - 市指定史跡・梯穴式石室(全長約7m)。1970年松任市教委発掘調査。 - 市指定史跡・梯穴式石室(全長約7m)。1970年松任市教委発掘調査。 - 「宝永誌」 2001年松任市教委員会発掘調査。 1993~97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996,97年松任市教委新発見、発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68	超法令 B 遊跡	石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 大石川郡鶴東町 大石川郡鶴東町 大石川郡鶴東町 大石川郡鶴東町 大石川郡鶴東町 大石川郡鶴東町 大石川郡鶴東町 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡	水田 水田 水田 水田 水田 知地 水田 知地 水田 知地 水田 知地 水田 知地 水田 水田 水田 水田 水田 流路 照地 水田 流路 照地 水田 流路 和田 流路 和田 流路 年 本田 不田 流路 不田 不田 不田 不田 不正 不詳	平安 奈良 奈良 奈良 奈良 李安 李安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平	須惠器、土飾器 杯 打製石序、石镞、弥生土器 須惠器、刀子、銀環 珠洲焼 內磁館、皿、珠洲、越前、鉢、栗、土師器皿、刀子、釘、斜鉄、 城石 礪文土器、弥生土器、勾玉、、列貫円盤、土師器、珠洲焼、青 磁類他 須惠器、土師器、紡錘車 須惠器、土師器、紡錘車 須惠器、土師器、紡錘車 須惠器、土師器、紡錘車	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 市指定史跡、横穴式石室(全長約7 m)。1970年松任市教委発掘調査。 市指定史跡、横穴式石室(全長約7 m)。1970年松任市教委発掘調査。 「活本誌」 2001年松任市教委務を関査を 1993~97年松任市教委務を見、発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68	超法令 B 遊跡	石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 大 佐 石川郡鶴東町東 大 佐 石川郡鶴東町 大 大 石川郡鶴東町 大 大 石川郡 山 大 石川郡 山 大 一 石 川 郡 山 大 一 石 川 郡 山 大 一 石 川 郡 山 大 一 石 川 郡 山 大 一 石 川 郡 山 大 門 工 大 一 石 川 郡 山 大 門 工 大 一 石 川 工 門 共 門 大 一 工 石 川 工 大 り 石 川 工 大 り 石 川 工 大 り 石 川 工 大 り 石 川 工 大 り 石 川 工 り 、 大 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 長 、 一 、 一 、 長 、 一 、 長 、 長	水田 水田 水田 水田 水田 水田 州地 水田 州地 水田	平安 奈良 奈良 奈良 奈良 李安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平	須惠惠、土師器 杯 打製石序、石鏃、弥生土器 須惠器、刀子、銀環 珠洲焼	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 市指定史跡、桃穴式石室(全装約7m)。1970年松任市教委発掘調査。 売解製態化、十一面報音整像。 「宝水誌」 2001年松任市教育委員会発掘調査。 1993~97年松任市教委新発見、発掘調査。 2003年(財)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 2003年(財)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構河跡1条、掘建柱建物4棟土坑2基、湯2条、小穴多数。 1999年(初)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構調除1条、掘建柱建物4棟土坑2基、湯2条、小穴多数。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70	超法令 B 遊跡 型	石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町東北 石川郡鶴東町東北 石川郡鶴東町東加 石川郡鶴東町東加 石川郡鶴東町東加 石川郡鶴東町東加 石川郡鶴東町東加 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町 大石川郡鶴東町 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡 大石川郡	水田 水田 水田 水田 水田 州東 北田 州東 北田 州東 北田 河道路 州東 北田 河道路 不田 河道路 不正地 木田 不詳 不詳 木田 不明 不不詳	平安 奈良 奈良 奈良 奈良 李安 李安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平	須惠器、土飾器 杯 打製石序、石镞、弥生土器 須惠器、刀子、銀環 珠洲焼 內磁館、皿、珠洲、越前、鉢、栗、土師器皿、刀子、釘、斜鉄、 城石 礪文土器、弥生土器、勾玉、、列貫円盤、土師器、珠洲焼、青 磁類他 須惠器、土師器、紡錘車 須惠器、土師器、紡錘車 須惠器、土師器、紡錘車 須惠器、土師器、紡錘車	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1998年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 「海瀬製盤仏、十一面観音座像。 「宝木誌」 2001年松任市教育委員会発掘調査。 1993~97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構開禁社建物4株、川湾をオール地系議、測念、小穴多数。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構部建社建物4株、川湾をオール地系建物2棟、土坑、溝、小穴。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構部建社建物4株、川湾をオール連支建物2棟、土坑、溝、小穴。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構部建社建物4株、川湾をオール地式建物2棟、土坑、溝、小穴。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構施建社建物4株、川湾をオール地式建物2棟、土坑、溝、小穴。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73	超法学 B 遊跡	石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東京 屋 石川郡鶴東町東京 屋 石川郡鶴東町東京 屋 石川郡鶴東町東 石川郡鶴東町東 大 石川郡鶴東町東 大 佐 石川郡鶴東町東 大 佐 石川郡鶴東町東 大 佐 石川郡鶴東町東 大 佐 石 田 郡 田 東 田 東 田 東 田 東 田 大 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	水田 水田 水田 水田 水田 場本田 水田 場本田 水田 場本田 場本田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 湯路 畑地 水田 流路 畑地 木田 流路 畑地 木田 道路 畑地 本 田 道路 本 田 不詳 不詳 木田 不 不詳 不 不 不 不 不 不 不 不 不 不 不 不 不 不 不 不 不	平安 索食良、平安 平安 索食良、平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安	須惠惠,土師器 杯 打製石序,石號,弥生土器 須惠器,刀子,銀環 珠洲焼	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1998年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 「海瀬製懸仏、十一面観音推像。 「資本誌」 2001年松任市教育委員会発掘調査。 1993-97年松任市教委新発見、発掘調査。 2003年似日石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委が発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委が発し、発掘調査。 1999年間月石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1999年調査遺構施柱建物4様、周海をオーツ地点接触域上、北、流、小穴。 1999年(財)石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1999年(財)石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1999年(財)石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1999年(財)石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1999年(財)石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1999年(財)石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1990年野々市町京委発掘調査。
50 51 52 53 54 55 56 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75	超法令 日 選勝	石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町東近 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東京 松任市電戦町 石川郡鶴東町安寺 松任市市 被任市市 大田郡 松任市市 大田郡 大田 大田郡 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	水田 水田 水田 水田 水田 州東 北田 州東 北田 州東 北田 河道路 州東 北田 河道路 不田 河道路 不正地 木田 不詳 不詳 木田 不明 不不詳	平安 索發展 索發展 不安 索發展 平安	須惠惠、土師器 杯 打製石序、石鏃、弥生土器 須惠器、刀子、銀環 珠洲焼	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 「海瀬製盤仏、十一面観音密像。 「宝木誌」 2001年松任市教育委員会発掘調査。 1993~97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 2000年(財)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構調結建柱建物4棟、土坑建議調金、小穴多数。 2000年(財)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構総建柱建物4棟、周清を十つ平地式建物1棟、土坑、溝、小穴。 1999年(田)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構総建柱建物4棟、周清を十つ平地式建物1棟、土坑、溝、小穴。 1999年(田)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構総建柱建物4棟、川清を十つ平地式建物1棟、土坑、溝、小穴。
50 51 52 53 54 55 56 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76	超法令 B 遊跡	在用鄉鄉樂和遊法寺 在用鄉鄉樂和遊法寺 在用鄉鄉樂和遊法寺 在用鄉鄉樂和班茲寺 在用鄉鄉樂和班茲 在用鄉鄉鄉和班茲 在日本鄉鄉鄉和 歷任市前地町 整任市前地町 整任市前地町 整任市前地町 整任市前山町 整任市衛鄉鄉 整任市衛鄉鄉 整任市衛鄉鄉 整任市衛鄉鄉 整任市衛鄉 整任市衛鄉 整任市衛鄉 整任市衛鄉 整任市衛鄉 整任市衛 整任市衛鄉 整任市衛鄉 整任市衛鄉 整任市衛 整任市衛 整任市衛 整任市衛 整任市衛 整任市衛 整任市衛 整任市衛	水田 水田 水田 水田 水田 場本田 水田 場本田 水田 場本田 水田 場本田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 水田 河路 別地 水田 水田 河路 別地 本田 江路 水田 江路 不田 江路 不田 不詳 不 不詳 不 不 詳 不 不 群	平安	須惠器、土飾器 杯 打製石斧、石鐵、弥生土器 刻惠器 初惠器,刀子、旗環 珠洲姚 方磁榜。皿、珠洲、越前、鉢、葉、上師器皿、刀子、釘、刺紋、砥石 縄文土器、弥生土器、与玉、领質円盤、上師器、珠洲姚、青 磁類他 須惠器、土飾器、緑釉陶器、灰釉陶器、石器、金属製品、木 製品、青磁、珠洲线、中近任胸磁器、件片 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1998年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 市指定史跡、様穴式石家(全長約7 m)。1970年松任市教委発掘調査。 「活水誌」 2001年低作市教育委員会発掘調査。 1993-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1993-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1999年(明)石川県理蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構調計算、無途柱建物4棟、周満を十つ平地式建物4棟、上坑、浦、小穴、 1999年(明)石川県理蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構議社建物4棟、周満を十つ平地式建物4棟、上坑、浦、小穴、 1999年(明)石川県理蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構調、小穴。 1996年97年市町教委発掘調査。 1994年の分布調査で五歳が出土 1998年97年前末教養所発見、発掘調査。 1994年の分布調査で五歳が出土 1998年前末教育系元五歳が出土
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78	超法学 B 遊跡	在川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町東北 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 松任市郡 石川郡鶴東町東京 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松田 松任市郡 松田 松田 松田 松田 松田 松田 松田 松田 松田 松田	水田 水田 水田 水田 烟地 水田 烟地 水田 水田 烟地 水田 水田 烟地 水田	平安 索良及 索食及 平安 索食及 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平	双惠器、上解器 杯 打製石序、石旗、弥生土器 刻惠器 須惠器,刀子、銀環 珠洲焼 青磁碗。皿、珠洲、越南、鉢、葉、上解器皿、刀子、釘、銅鈸、 既石 興文土器、常生土器、勾玉、卵質円盤、上解器、珠洲焼、青 磁類態 須惠器、上解器、紡錘車 須惠器、上解器、紡錘車 須惠器、上解器、紡錘車 須惠器、上解器、統一 東土器、内型、原物陶器、石器、全属製品、木 製品、青磁、珠洲炭、中亚世陶磁器、骨片 朱生土器、上解器、郑忠器、製塩土器 等生土器、上解器、須惠器、製塩土器 等生土器、土解器、須惠器、製塩土器	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1998年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 「海瀬製懸仏、十一両観音推像。 「資水誌」 2001年松任市教育委員会発掘調査。 1993-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1993-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発し、発掘調査。 1996-97年松任市教委新発し、発掘調査。 1999年四月川県町蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構施建柱建物4棟、周清を計立地に振った。 1999年四月石川県町蔵文化財センター発掘調査。 1999年四月石川県町蔵文化財センター発掘調査。 1999年四月山川県町蔵文化財センター発掘調査。 1999年の方布調査を指摘音など財センター発掘調査。 1994年の方布調査で五輪居出土 1998年の方布調査で五輪居出土 1998年の末衛表、表掘調査。 八日市新樹人、新光明団地敷地で一部租機。 1998年の持備以、新光明団地敷地で一部租機。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 70 71 72 73 74 75 76 77	超法令 B 遊跡	在用應動來可說法寺 在用應動來可說法寺 在用應動來可說法寺 在用應動來可說法寺 在用應動來可說法 在用應動來可就是 在用應動來可就是 在用應動來可就是 在用應動來可就是 在用應動來可就是 在用應動來可就是 在用應動來可就是 在用應動來可就是 在用應數來可就是 在用應動來可就是 在用應數來可如 發達 於任市內 然在由應來可 依任市內 在用應數率可 在用應數率可 在用應數率可 在用。 在用應數率可 在用。 在用 在用 在用 在用 在 在 在 在 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	水田 水田 水田 水田 水田 州北田 水田 州北田 水田 州北田 州北田 州北田 州北田 州北田 州北田 州北田 州北田 州北田 州北	平安 奈良、平安 平安 新生、古墳 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平古墳 中世 中世 中世 赤生、古墳 平安 平古墳 中世 中世 赤生、古墳 平安 中世 中世 赤生、古墳 平安 古墳 中世 赤生、古墳 平安 古墳 中世 赤生、古墳 平安 中世 赤生、古墳 平安 中世 赤生、古墳 赤生、古墳 赤生、古墳 赤生、古墳 赤生、古墳 赤生、古墳 赤生、古墳 赤生、古墳 赤生、中世 赤生 中世 赤生 中世 十二 十二 十	須惠器、土飾器 杯 打製石斧、石鐵、弥生土器 刻惠器 初惠器,刀子、旗環 珠洲姚 方磁榜。皿、珠洲、越前、鉢、葉、上師器皿、刀子、釘、刺紋、砥石 縄文土器、弥生土器、与玉、领質円盤、上師器、珠洲姚、青 磁類他 須惠器、土飾器、緑釉陶器、灰釉陶器、石器、金属製品、木 製品、青磁、珠洲线、中近任胸磁器、件片 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1998年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 「海瀬製盤仏、十一面観音座像。 「宝木誌」 1993~97年怪任前教育者員会発制調査。 1993~97年怪任前教育者見、発掘調査。 1996、97年保任市教委新発見、発掘調査。 1996、97年保任市教委新発見、発掘調査。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構副建柱建物4株。周清をおり999年(明石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構副建柱建物4株。周清をおりず地式建物1棟、土坑、溝、小穴。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構副建柱建物4株。周清をおつ平地式建物1棟、土坑、溝、小穴。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構副・小穴。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構調、小穴。 1999年(日)石川県埋蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構調、小穴。 1999年(日)石川県埋蔵文民財センター発掘調査。1999年調査遺構調・小穴。 1999年の月石川県埋蔵文民財センター発掘調査。 1994年の分布遺産を発掘調査。 1994年の分布遺産を発掘調査。 1994年の分布遺産を発掘調査。 1994年の分布遺産を充動部長・1994年の分布遺産を充動部出土 1998年前末町教委新発見、発掘調査。 八日市新保式、新光明15地敷地で一部組壊。
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79	超法令 B 遊跡	在川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町遺法寺 石川郡鶴東町東北 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 石川郡鶴東町東原 松任市郡 石川郡鶴東町東京 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松任市郡 松田 松任市郡 松田 松田 松田 松田 松田 松田 松田 松田 松田 松田	水田 水田 水田 水田 烟地 水田 烟地 水田 水田 烟地 水田 水田 烟地 水田	平安 索良及 索食及 平安 索食及 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平安 平	須惠器、土飾器 杯 打製石斧、石鐵、弥生土器 刻惠器 初惠器,刀子、旗環 珠洲姚 方磁榜。皿、珠洲、越前、鉢、葉、上師器皿、刀子、釘、刺紋、砥石 縄文土器、弥生土器、与玉、领質円盤、上師器、珠洲姚、青 磁類他 須惠器、土飾器、緑釉陶器、灰釉陶器、石器、金属製品、木 製品、青磁、珠洲线、中近任胸磁器、件片 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器 弥生土器、上飾器、郑思器、数组土器	1990年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1998年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 1988年石川県立知蔵文化財センター発掘調査。 (三水志) 2001年松任市教育委員会発掘調査。 1993~97年松任市教委新発見、発掘調査。 1993~97年松任市教委新発見、発掘調査。 2003年(附7石川県理蔵文化財センター発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 1996、97年松任市教委新発見、発掘調査。 1999年四月の石川県理蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構凝症柱建物4様、周滞をオールに基本機会、小穴多数。 1999年内7日川県理蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構凝症柱建物4様、周滞をオールに基本機会、小穴多数。 1999年内7日川県理蔵文化財センター発掘調査。1999年調査遺構滅を建物4様、周滞をオールに基本機会の1994年の7日川県型蔵文化財センター発掘調査。 1994年の7日川川県型蔵文化財センター発掘調査。 1994年の7日川川県型蔵文化財センター発掘調査。 1994年の7日川川県型蔵文化財センター発掘調査。 1994年の7日川川県型蔵文化財センター発掘調査。 1994年の7日川県型蔵文化財センター発掘調査。 1994年の7日川県型蔵文化財センター発掘調査。 1994年の7日川県型蔵文化財センター発掘調査。 1994年の7日開発の東京長、発掘調査。

などが認められる。

中世の集落に関しては状況が明らかなものは少なく、近年の発掘調査により、三浦遺跡 (12)、野々市町の三納ニショサ遺跡 (82) や三納トヘイダゴシ遺跡 (79)、粟田遺跡 (14) など、掘立柱建物跡や竪穴状遺構を組成する集落跡が検出されている事例が散見されるのみとなる。

第2章 調査の経緯

第1節 調査に至るまで

国道157号線は、野々市町から鶴来町の区間で家屋が続き道幅も狭く、きついカーブの箇所も多かったため、交通の混雑や安全確保を図る必要があった。昭和45年度に「鶴来バイパス」の計画線調査が着手され、昭和49年度に事業化がなされた。鶴来バイパスとは、松任市乾町~石川郡鶴来町白山町までの延長13.2kmをいう。そして昭和52年度に工事着手となり、鶴来バイパス関連の埋蔵文化財発掘調査では、「白山町遺跡」「安養寺遺跡」等が行われている。昭和55年度から昭和58年度までに鶴来町白山町から安養寺町までの区間が暫定2車線供用されている。本調査は加賀産業道路から一般国道8号線に接続するおよそ3kmの工事に伴うものである。

第2節 第1次調査

建設省北陸地方建設局金沢工事事務所(現 国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所)の依頼を受け、昭和59年5月21日より現地調査に着手している。当初の依頼面積は1000㎡である。その範囲は調査区内を斜めに横切る用水までであった。その後8月21日に事業の進捗を図るためとし、用水の北側2000㎡の追加依頼があり合計3000㎡の発掘調査となった。遺構の測量には調査区3000㎡を対象とし、空中写真測量が行われている。主な遺構としては、当初の1000㎡の範囲からは竪穴建物が、追加部分の2000㎡からは掘立柱建物跡が検出されている。遺物は弥生・古墳・古代・中世・近世と出土している。

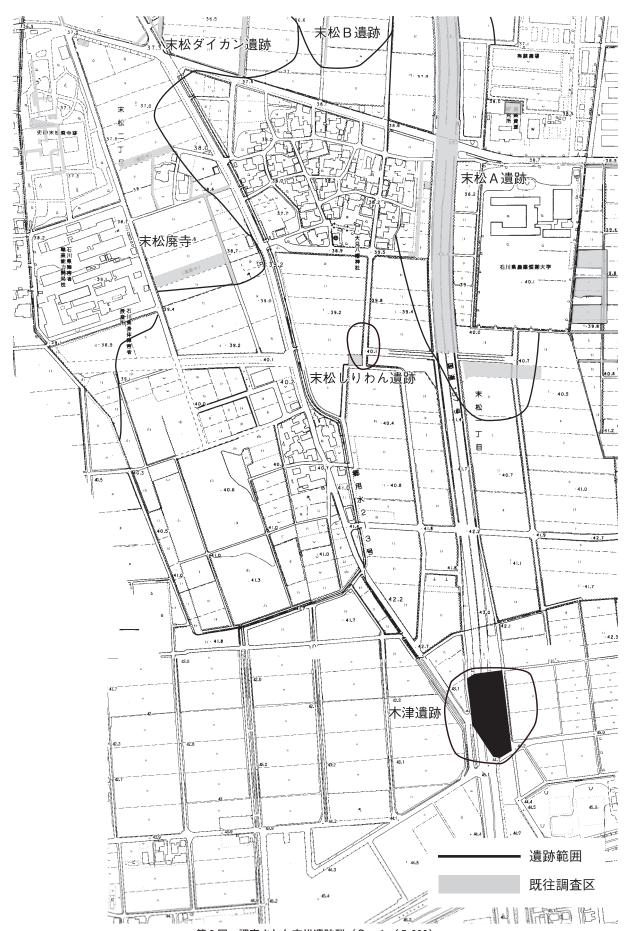
第3節 第2次調查

第1次調査と同じく依頼を受け、昭和60年7月17日より現地調査に着手している。依頼当初の面積は6000㎡であった。依頼のあった範囲は第1次調査の北側部分等であった。

その後、調査依頼区域の遺構等の残存状態が良くなく、試掘調査を実施して調査区域の決定をし、 発掘調査区の変更をする旨の協議が行われた。そして、昭和59年度調査の北側部分1125㎡(木津遺跡 第2次調査)と2600㎡(末松A遺跡第1次調査)とその間のトレンチ調査975㎡に変更となった。

遺構の測量にはヘリコプターによる空中写真測量が行われており、トレンチ調査部分を除いた範囲を対象として行われている。

検出された主な遺構は、第1次調査区から延びる掘立柱建物跡等があるが、北側へ行くほど遺構が 疎らになっている。



第3図 調査された末松遺跡群 (S=1/5,000)

第3章 調査の概要

第1節 グリッドの設定

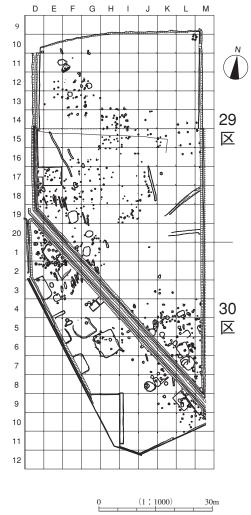
発掘調査区には、工区のセンター杭を縦軸としてそこから横軸を設定し、5 mグリッドを組んで調査が行われている。工区の名称である29区、30区を大グリッドとし 5 mグリッドを小グリッドとしている。この工区ごとの名称は、同じ事業で発掘調査された末松 A 遺跡でも踏襲されている。小グリッドは南北方向を数字、東西方向をアルファベットとしている。北に向かって北西の杭がその小グリッドの名称となる。

第2節 第1次調査

30区および29区の15ライン以南が調査範囲となる。竪穴建物跡、掘立柱建物跡、土坑、溝等が確認されている。それらの時期は、竪穴建物が古墳時代後期から奈良時代前半頃までと考えられ、掘立柱建物は、古墳時代後期以降平安時代前期頃までと考えられる。D・E17グリッドでは下層の調査が行われており、ピット等の遺構と弥生土器が確認されている。

第3節 第2次調査

29区の14ライン以北が調査範囲となる。掘立柱建物跡のほか、土坑が確認されている。北側に向かって遺構が希薄となり、遺跡は途切れると判断されている。



第4図 グリッド設定図

第4章 遺構と遺物

第1節 遺 構

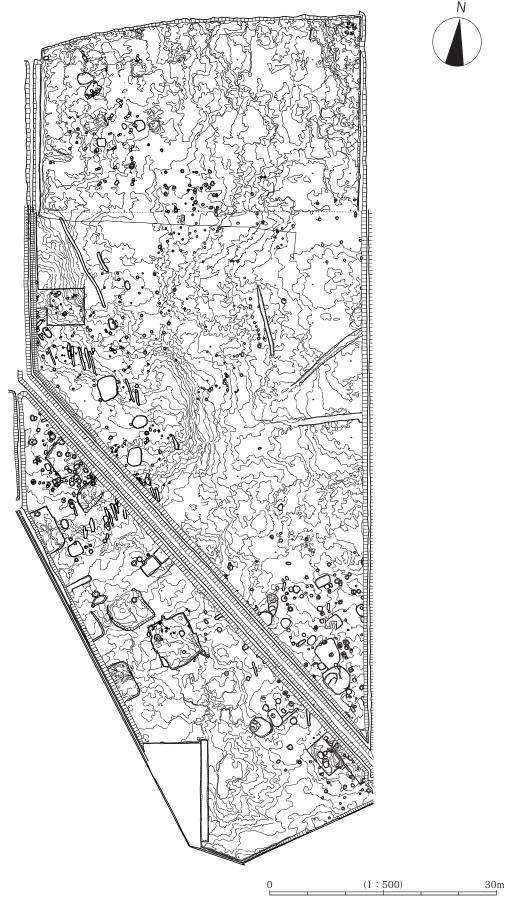
第1次調査および第2次調査を合わせて、検出された主な遺構は、竪穴建物跡 5 棟、掘立柱建物跡 6 棟、土坑20基、溝16条、ピット多数等である。建物跡の棟数については当然のことながら復元しえた数である。また掘立柱建物跡は、調査時の段階では5棟復元されていたが、SB 6 とした 1 棟を図上復元した。さらに復元することも可能ではあったが、調査時の所見を優先しそれ以上の建物跡の復元はあえてしなかった。それぞれの時代については、それらの遺構から出土する遺物の年代観によって決定した。ただし、掘立柱建物跡については柱穴と考えられるピットからの出土遺物がほとんどないため、包含層遺物による場合もある。

以下竪穴建物跡、落ち込み状遺構、掘立柱建物跡、土坑、溝の順に遺構の説明を行う。

竪穴建物

調査時、竪穴建物として認識されていたのは5棟である。そのほか、SX3・4などの落ち込み状遺構として捉えられているものも竪穴建物の可能性が高いと考えられるので、この項で報告する。

- SI1 (第7・9・42図) 30 L 9 で検出されている。規模は調査区を斜めに横切る用水のため不明である。東西方向1辺は約6.6mを測る。深さは約20cmである。平面形態は方形である。主柱穴となるようなピットは見当たらない。図化した出土遺物には1がある。須恵器杯B蓋であり、II3期(田嶋1988、以降特に断らない限り〇期は田嶋編年による)と考えられる。
- SI2 (第7・9・42図) 30 L 9 で検出されている。SI1 と切り合うが、新旧関係は不明。図化した出土遺物には $2\cdot3$ がある。3 の土師器甕は混入と考えられる。2 の須恵器杯B蓋は、SI1 出土のものよりやや後出的な様相をもちⅢ期と考えられる。竪穴の規模は、SI1 と同じく用水のため不明である。東西方向の 1 辺は約4.5mを測る。深さは約20cmである。平面形態は方形である。主柱穴となるようなピットは見当たらない。第7図中に描き入れたラインにピットが並ぶことから、竪穴外に柱穴が並ぶタイプとも考えられる。
- SI3 (第16・18・42・43図) 30H6で検出されている。SI3P $1\sim3$ のピットがあるが主柱穴とは考えがたい。規模は長辺約3.9m、短辺約3.3mを測る。深さは約40cmである。平面形態は方形である。貼床が検出されている。多数の遺物が出土しているが、古墳時代中期頃と I 1 期頃の二時期と考えられる。この竪穴建物に付くのは I 1 期の遺物であろうか。
- SI 4 (第16・17・43図) 30F6で検出されている。調査区外に延びているため全形は不明である。平面形態は方形になると考えられる。深さは約25cmを測る。 $22\sim29$ の遺物が出土している。 $22\sim25$ は6世紀代の遺物と考えているが、 $26\sim28$ は5世紀代、29は弥生時代と考えられる。竪穴建物の帰属時期は5ないし6世紀代と考えられるが、決定はできない。
- SI5 (第16・17図) 30F5で検出されている。竪穴建物の壁周溝のみ検出されている。調査区外に延びるためその全形については不明である。壁周溝の深さは約10cmである。時期については不明である。



第5図 遺構全体図

落ち込み状遺構

- SX1 (第20・21図) 30F 2 で検出されている。長軸約3.6m、短軸約2.8mを測る。深さは約30cmである。平面形態は方形に近いが、調査区を斜めに横切る用水にまで延びるようで全形は不明である。
- **SX2** (第20・21・52図) 30C 2 で検出されている。調査区外に延びているため全形は不明である。調査区内では長軸約5.9mを測る。深さ約25cmである。 $117\sim120$ の遺物が出土している。118のような弥生時代末頃の遺物も混じるが、 $119\cdot120$ は I 1 期の遺物と考えている。
- SX3 (第23・25・51) 30E1で検出されている。調査区を斜めに横断する用水にまで延びているためその全形と規模は不明である。深さは約20cmである。遺構内にピットがあり柱穴となると考えられるが竪穴建物となるか判然としない。可能性はあろう。 $102\sim116$ の遺物が出土している。 $114\sim116$ は V2期頃の遺物と考えられる。 $102\sim113$ は5世紀後半代と考えられる。竪穴建物とすれば、5世紀後半代であろう
- **SX 4** (第16・19・52図) 30F 5 で検出されている。長軸約約5.0m、短軸約4.6mを測る。深さは約20cmである。堆積土中には、炭化物や焼土ブロック等が含まれている。 $121\sim132$ の遺物が出土している。5世紀代の時期と考えられる。おそらく竪穴建物になると考えている。

掘立柱建物跡

- SB1 (第14・15図) 30K4~L5にかけて検出されている。 1×2 間の側柱建物である。柱穴の中心を測り、梁裄約3.0m×桁裄約3.4mである。平面積は約10mである。建物の主軸方位は、東に約40°振っている。中央にある長軸約2.1m、短軸約1.2mを測る方形の土坑もこの建物に属すると考えられる。建物の時期については不明である。周辺の遺構や包含層の出土遺物からみると古代前半と考えられる。
- SB2 (第27・28図) 29F16~H18にかけて検出されている。 2×4 間の総柱建物である。柱穴の中心を測り、梁裄約4.8m、桁裄約約9.9mである。平面積は約47㎡である。建物の主軸方位は西へ約15°振っている。その時期については、柱穴から遺物が出土していないようで判然としない。
- SB3 (第30・31図) 29L14~M16にかけて検出されている。第 $1\cdot2$ 次調査と2ヵ年に渡って調査された。調査区外に延びている可能性もあるが、 2×3 間の総柱建物として報告する。柱穴中心を測り、梁裄約7.9m、桁裄約4.9mである。平面積は約39㎡である。桁裄の中間部分が約3.3mと広くなる建物構造をもっている。建物の主軸方位は西へ約16°振っている。建物方位からはSB2と同じ頃の建物と推測できる。
- SB4 (第34・35図) 29F12~G14にかけて検出されている。建物の北西側の柱穴が検出されていないが、 2×4 間の総柱建物として報告する。2つずつ柱穴が並んであることから1回の建て替えが考えられる。古いほうが柱穴中心を測り、梁裄約4.4m、桁裄約8.5mである。新しいほうは梁裄約4.5m、桁裄8.6mである。平面積はそれぞれ約37㎡、約39㎡となる。やや拡張されるようだがそれほど規模は変わらない。建物の主軸方位は西へ約11°振っている。
- SB5 (第32・33図) 29H13~I16にかけて検出されている。これもSB2と同じく2ヵ年に渡って調査されている。ピットが多数検出されており、複数の建物が立つ可能性はあるが、ここでは 2×3 間の総柱建物に東西に庇が付き、北側に塀がある状態を復元した。庇部分を入れると梁裄約6.0m、桁桁約8.4mを測る。平面積は約50mである。建物の主軸方位は西へ約13°振っている。
- SB6 (第10·11図) 30K7で検出されている。この掘立柱建物は図上復元したもので調査時には認

識されていない。調査区内を流れる用水により全景は不明であるが、 1×2 間か 2×2 間の総柱と考えられる。梁裄約3.4m、桁裄約4.2mを測る。平面積は約14m となる。建物の主軸方位は東西方向を基準とし北方向に約38 能っている。周辺の遺構および包含層から出土している遺物をみると $\square \sim V$ 期の間に収まるものと考えられる。

その他 掘立柱建物は、復元した数以上にあったと考えられる。SB1周辺にあるピット群も柱穴であると考えられ、 $2\cdot3$ 棟の建物があったと推測している。またSX3周辺にも多数のピットがあり柱穴もあると考えられるので、 $2\cdot3$ 棟の建物があったと推測している。

SB3~5の時期については明確にしがたいが、包含層の出土遺物をみると $V\sim W$ 期のものが多く、掘立柱建物が側柱ではなく総柱となっていることから、W期の建物かもしれない。

土 坑

SK1 (第 $8 \cdot 9 \cdot 44$ 図) 30 J 8で検出されている。長軸約2.9m、短軸約2.3mを測る。深さは約40cm である。平面形態は隅丸方形である。 $30\sim40$ の遺物が出土している。 III 期を中心とした時期と考えられる。

SK 2 (第 $8 \cdot 9$ 図) 30 J 8で検出されている。長軸約2.4m、短軸約1.4mを測る。深さは約20cmである。土坑内にあるピットの深さは、約50cmとなる。平面形態は方形である。図化できるような遺物は出土していない。

SK3 (第16・18・45図) 30F5で検出されている。平面形態はかなり不定形だが、長軸約2.3m、短軸約1.0mを測る。深さは約40cmである。断面形態は方形を呈する。41の遺物が出土している。

SK 4 (第20・21・45図) 30E 3 で検出されている。長軸約1.3m、短軸約0.8mを測る。深さは約25 cmである。平面形態は楕円に近い。42の遺物が出土している。

SK 5 (第 $10 \cdot 12 \cdot 46$ 図) 30L 7 で検出されている。長軸約3.5m、短軸約3.3mを測る。深さは約30cmである。平面形態は隅丸方形である。 $43\sim 46$ の遺物が出土している。 $\mathbb{II} \sim \mathbb{IV} 1$ 期と考えられる。

SK 6 (第10・12・46図) 30L 6 で検出されている。長軸約3.6m、短軸約2.7mを測る。深さは約25 cmである。平面形態はやや不定形な形を呈するが、隅丸方形と考えられる。 $48\sim52$ の遺物が出土している。SK 5 より出土している遺物よりも古く II $3\sim11$ 期と考えられる。 $47\cdot53$ の出土遺物は SK $5\cdot6$ どちらの遺構に属するは不明であるが、時期を考えると SK 5 に付くと考えられる。

SK7 (第10・13・47図) 30L7で検出されている。長軸短軸とも約0.9mを測る。深さは25cmである。平面形態は方形である。54の遺物が出土している。古墳時代後期の甕と考えられる。

SK8 (第 $10 \cdot 13$ 図) 30K6で検出されている。長軸約1.4m、短軸約0.9mを測る。深さは約30cmである。平面形態は隅丸方形である。図化できるような遺物は出土していない。

SK9 (第 $10 \cdot 13$ 図) 30L5で検出されている。全形は明らかとなっていないのでその規模については不明だが、平面形態は方形になると考えられる。短辺となると考えられる長さは約1.6mを測る。深さは約20cmである。図化できるような遺物は出土していない。

SK10 (第10・13・47図) 30M 5 で検出されている。調査区外に伸びるため全形は不明である。平面形態は隅丸方形と考えられる。深さは約25cmである。55の遺物が出土している。

SK11 (第10・13図) 30 K 5 で検出されている。直径約1.3 m を測る。深さは約30 cm である。平面形態は円形を呈する。図化できるような遺物は出土していない。

SK12 (第 $10 \cdot 13 \cdot 47$ 図) 30 J 5 で検出されている。長軸約3.0m、短軸約1.2mを測る。深さは最も深いところで約60cmである。不定形な平面形態を呈する。 $56 \cdot 57$ の遺物が出土している。

SK13 (第23・24図) 30G1で検出されている。長軸約2.4m、短軸約1.8mを測る。深さは約10cmである。図化できるような遺物は出土していない。

SK14 (第23・24・47図) 29G20で検出されている。長軸約2.0m、短軸約1.5mを測る。深さは約25 cmである。平面形態は楕円形に近い。 $58\sim60$ の遺物が出土している。IV期を中心とした時期と考えられる。そのほか図化はされていないが、鞴の羽口が出土している。

SK15 (第23・24・47図) 29F19で検出されている。長軸約3.0m、短軸約2.5mを測る。深さは約15 cmである。平面形態は隅丸方形である。 $61\sim66$ の遺物が出土している。 I 期を中心とした時期と考えられる。その規模や焼土等から竪穴建物である可能性もある。

SK16 (第27・29・47図) 29F17で検出されている。長軸約1.5m、短軸約0.8mを測る。深さは約40 cmを測る。平面形態は方形を呈する。 $67\cdot68$ の遺物が出土している。68が混じりであると考えられる。67の時期をとれば中世 I-II期と考えられる。

SK17 (第27・29図) 29G17で検出されている。長軸約1.2m、短軸約0.65mを測る。深さは約25cm である。平面形態は、崩れてはいるがもともと方形であったと考えられる。図化されている遺物はない。SB2の内部にあり付属施設の可能性もある。SK16およびP56とも形態が似通っており、同様な性格を有しているかもしれない。想定しうる性格の一つに土坑墓が考えられる。

SK18 (第36・37・48図) 29E11で検出されている。長軸約2.2m、短軸約1.4mを測る。深さは約30 cmである。平面形態はかなり形が崩れているが、隅丸方形と考えられる。 $69\sim72$ の遺物が出土している。遺物の時期は $V1\sim VI1$ と考えられる。

SK10 (第34·35図) 29F13で検出されている。一辺約1.1mの方形を呈する。SB14と関連する遺構の可能性もある。いわゆる竪穴状遺構と考えられる。

SK20 (第36・37・48図) 29F11で検出されている。長軸約2.1m、短軸約1.5mを測る。深さ約20cmである。平面形態はかなり不定形である。73~78の遺物が出土している。時期はVII期と考えられる。石が土坑中からかなりの量検出されていることから、遺構の性格の一端を示すものと考えられる。

溝

- SD1 (第20図) 30F3で南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。
- SD2 (第20図) 30F2・3で南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。
- **SD3** (第20図) 30G $2 \cdot 3$ で南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。SD1 $\cdot 2$ お よび周辺の南北方向に検出されている溝群は、畠の畝溝と考えられる。その時期については不明であるが、包含層出土遺物からおそらく古代と考えられる。
- **SD4** (第20図) 30G2で南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。これも畠の畝溝と考えられる。
- **SD5** (第23図) 29H20~30H1にかけて南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。
- SD6 (第23図) 29G19~G20にかけて南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。
- SD7 (第27図) 29F18~F19にかけて南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。
- **SD8** (第27図) 29F18~F19にかけて南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。
- **SD9** (第27図) 29E18~E19にかけて南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。
- **SD10** (第27・52図) 29E18~E19にかけて南北方向に検出されている。133の遺物が出土している。
- SD11 (第27図) 29E18で南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。SD7~11は南北方向に並ぶ溝群であり、その性格として畠の畝溝と考えられる。

SD12 (第27・32図) 29E14~29F17にかけて北西から南東方向にかけて検出されている。図化されている遺物はない。

SD13 (第27・32図) 29F16で北西から南東方向にかけて検出されている。図化されている遺物はない。SD14とほぼ平行に並ぶので、関連性が考えられる。

SD14 (第26図) 29J17~J18にかけて南北方向に検出されている。図化されている遺物はない。この溝に沿って並ぶピットがあり、関連性が考えられる。

SD15 (第26図) 29M18~K19にかけて北東から南西に向けて検出されている。図化されている遺物はない。

SD16 (第22図) 29K20~M20にかけて東西方向に検出されている。図化されている遺物はない。

そのほかの遺構等

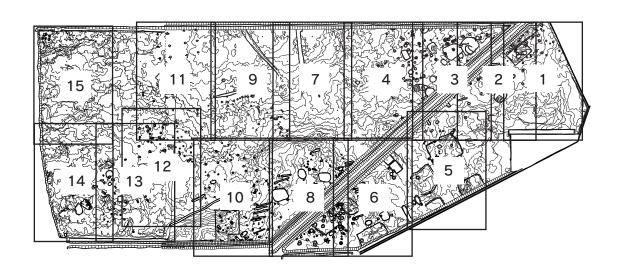
P11 (第16·18·49図) 30F5で検出されている。直径約0.9mを測る。平面形態は円形である。83 の遺物が出土している。

P36 30K 6 で検出されている。直径約1.0mを測る。平面形態は円形である。88の遺物が出土している。Ⅲ期頃と考えられる。

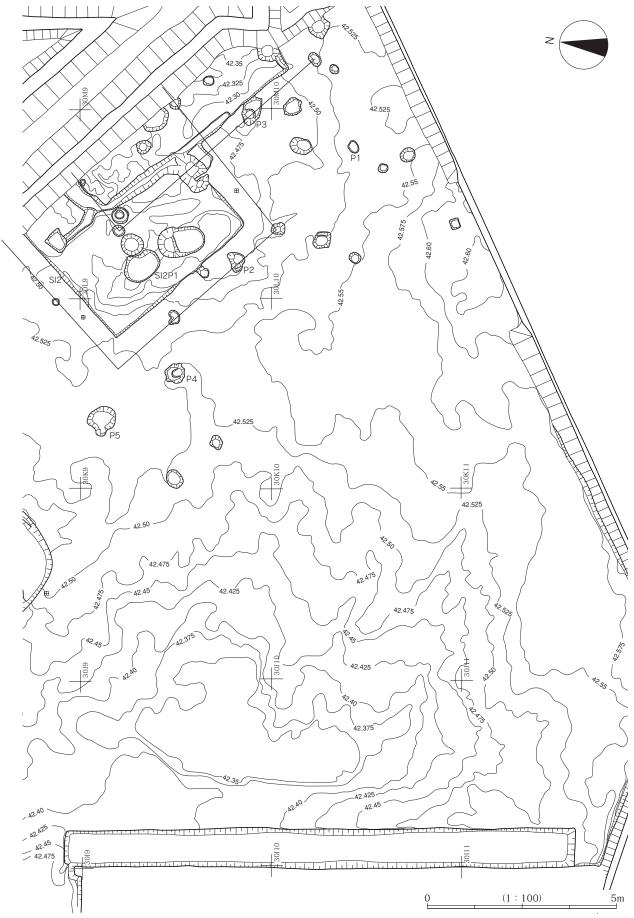
P39 30K3で検出されている。長軸約0.5m、短軸約0.4mを測る。平面形態は方形である。90の遺物が出土している。

P56 (第27・29図) 29D18で検出されている。長軸約1.6m、短軸約0.8mを測る。深さは約25cmである。平面形態は隅丸方形を呈する。土坑の項でもふれたが、SK16・17と似通っており、土坑墓という可能性も考えられる。

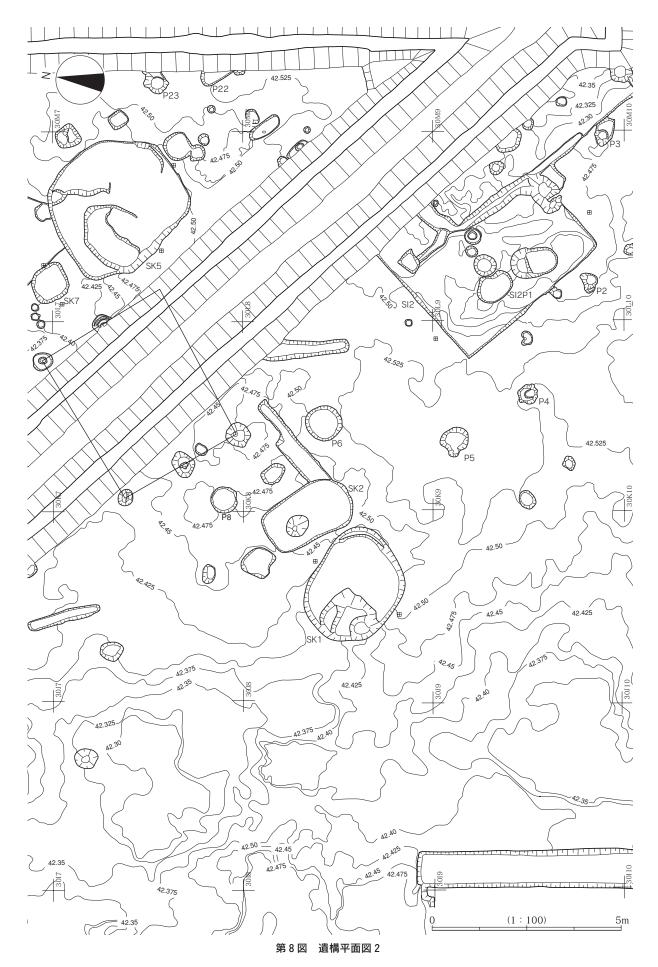
下層確認トレンチ(第27・29図) D・E17に設定されている。このグリッドから弥生時代後期後半 ~ 末の遺物が一定量出土したことからトレンチが入れられたものとみられる。ピット等が確認されて おり、この時期の集落があった可能性もある。

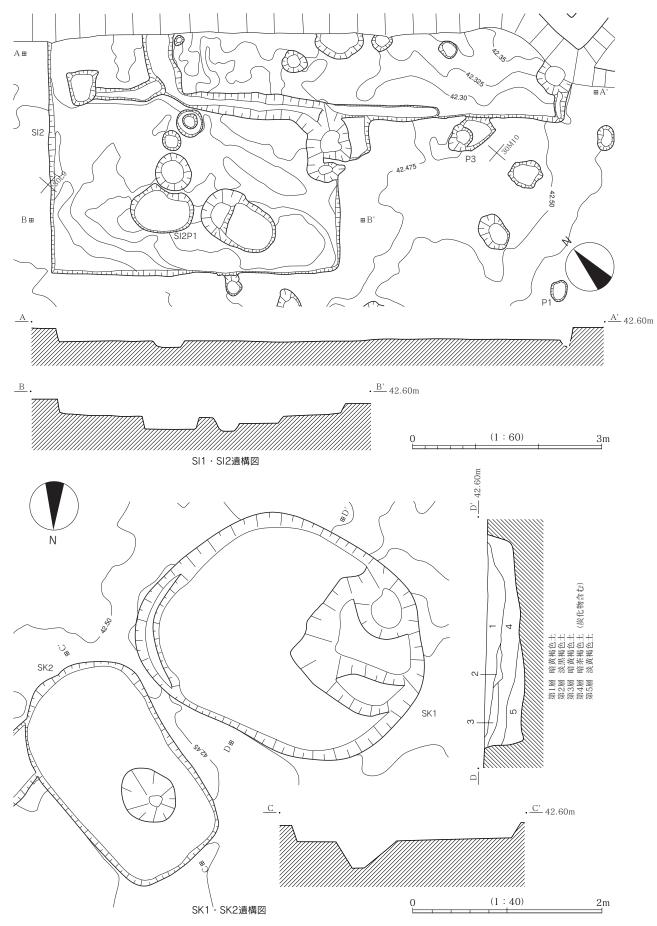


第6図 遺構平面図分割範囲図

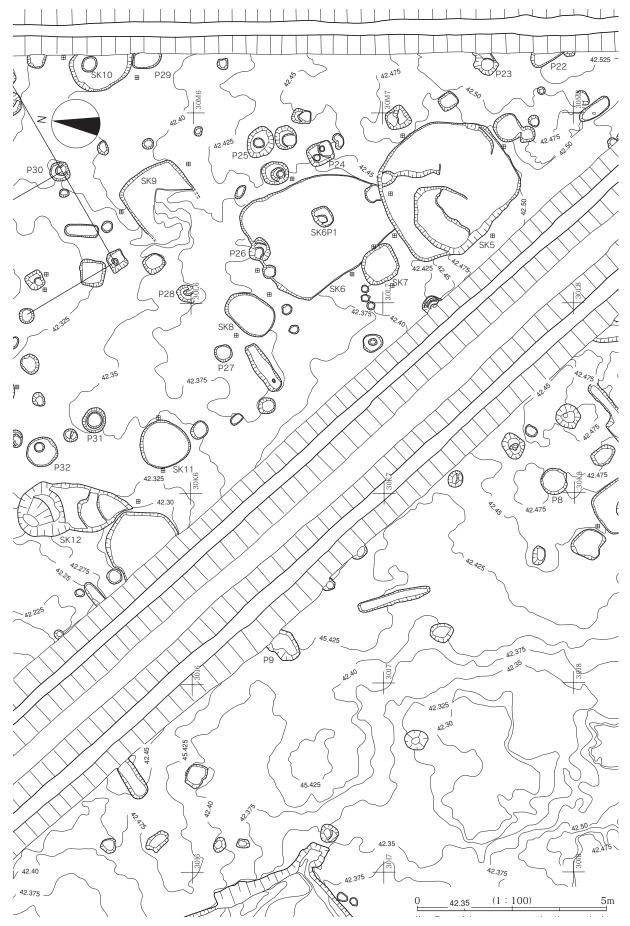


第7図 遺構平面図1

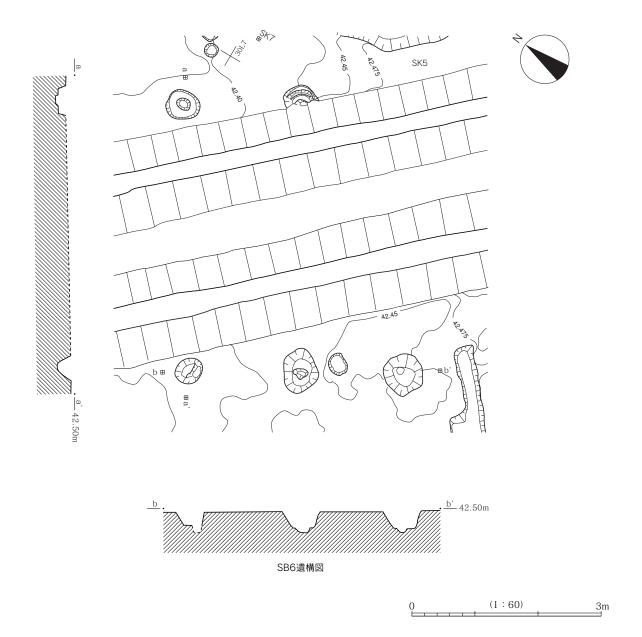


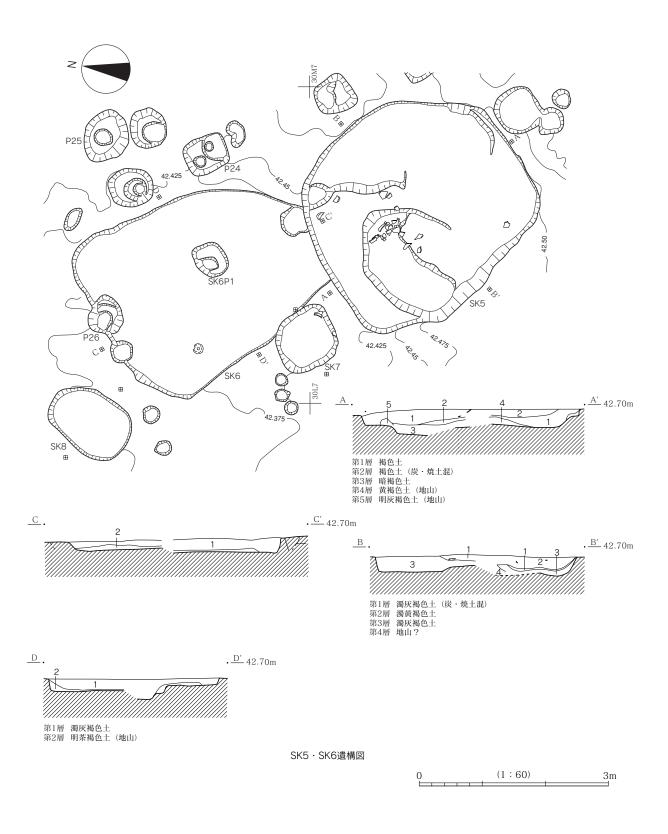


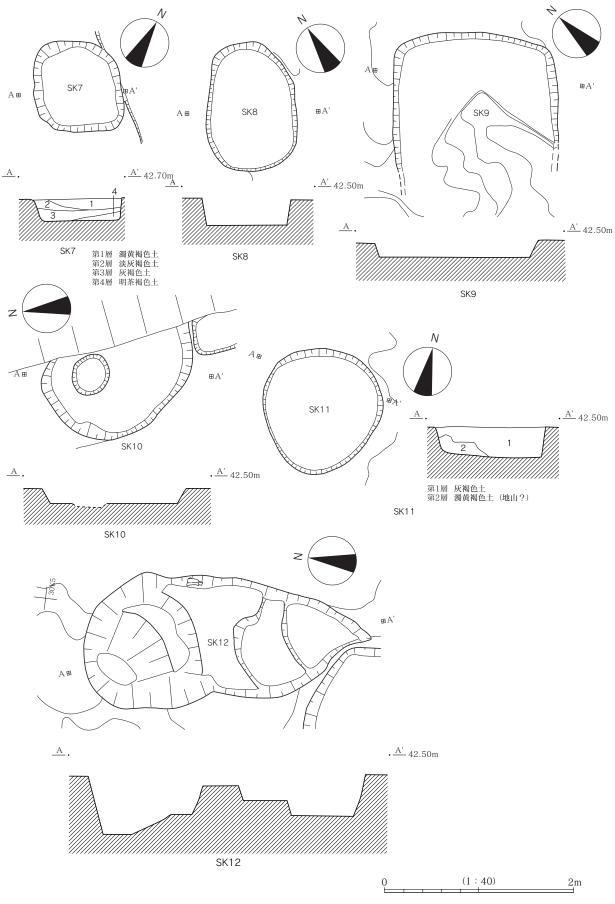
第9図 遺構個別図1



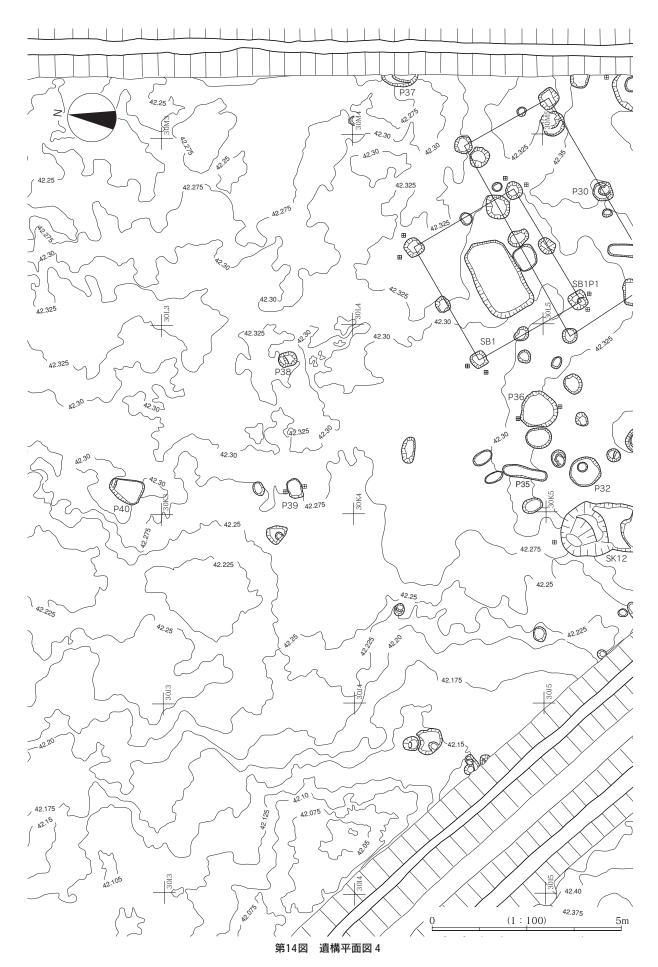
第10図 遺構平面図3

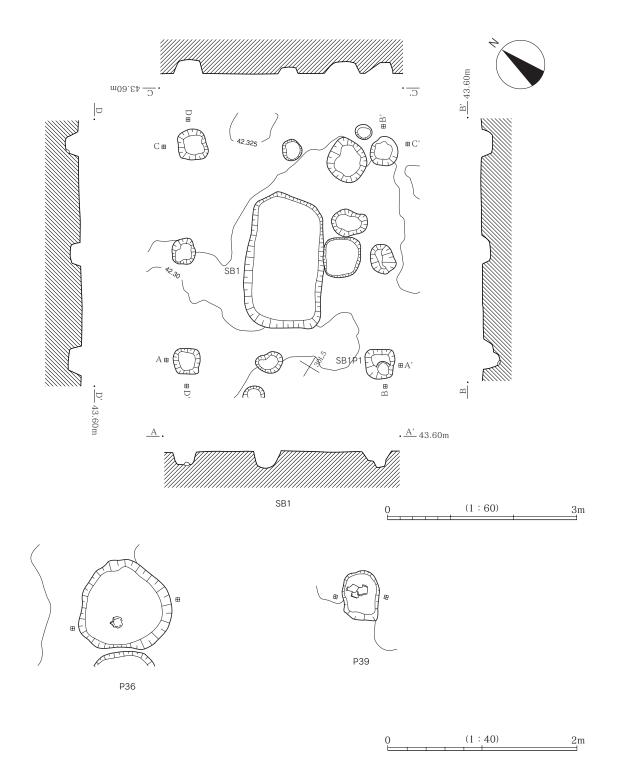


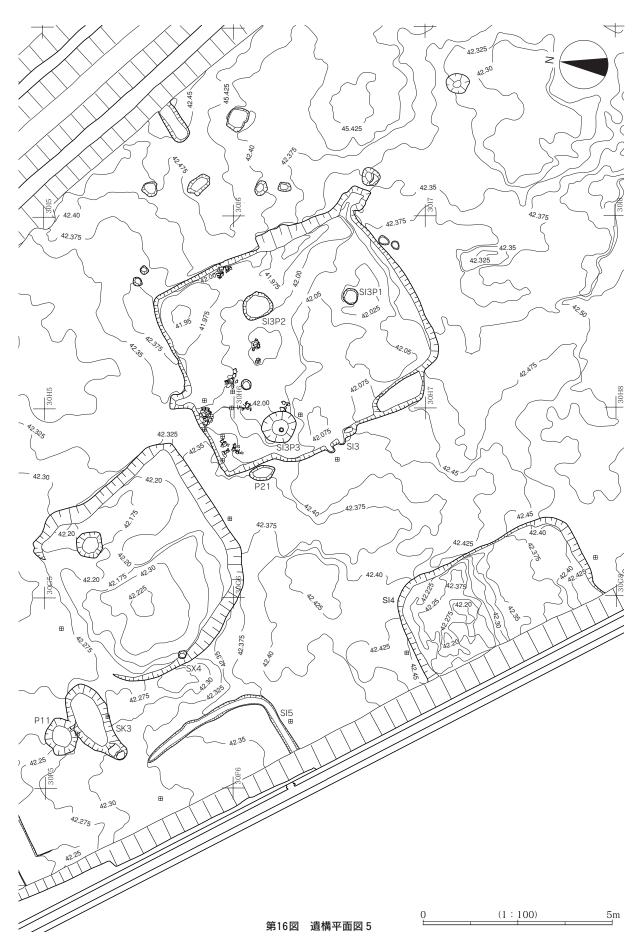


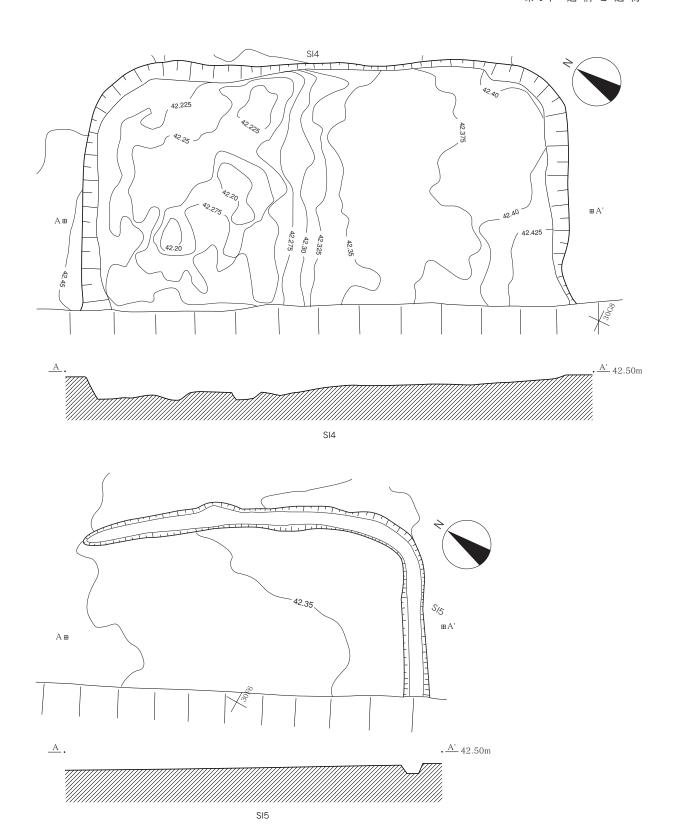


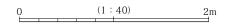
第13図 遺構個別図4



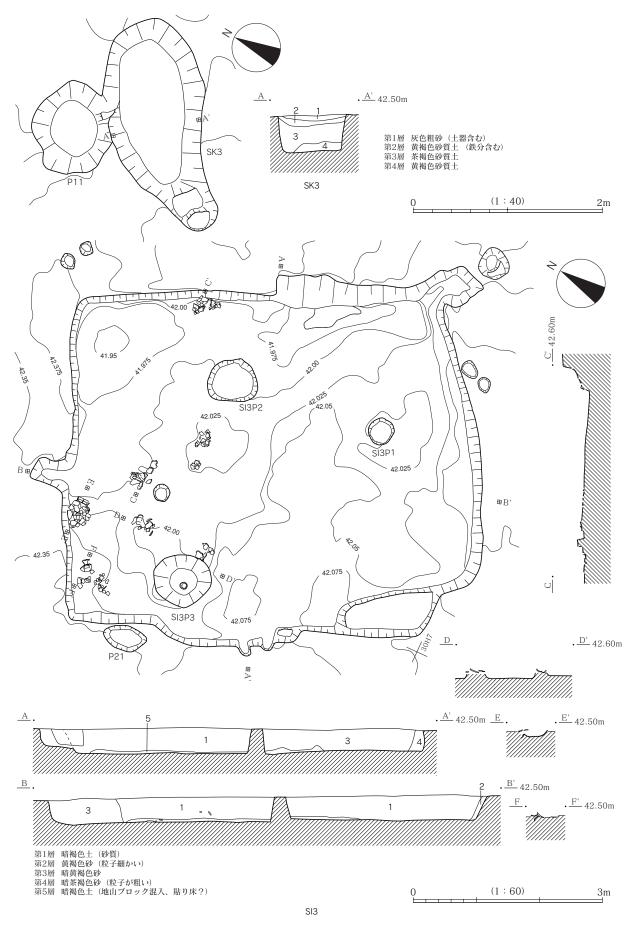




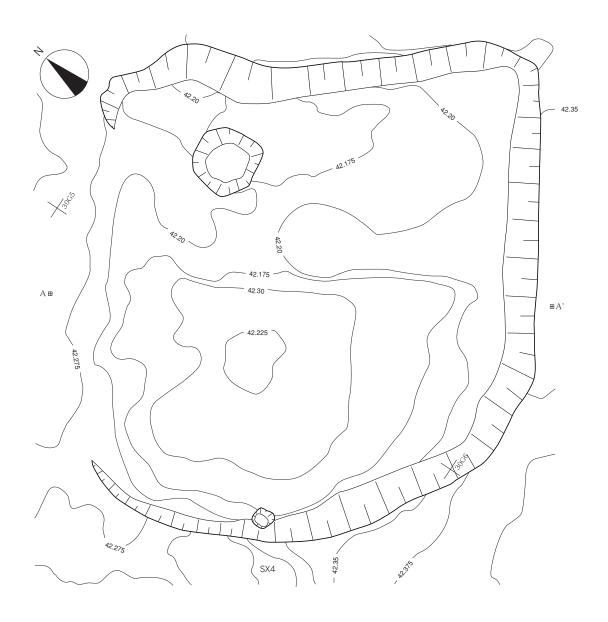


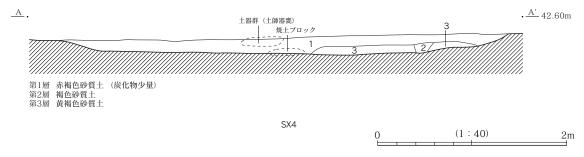


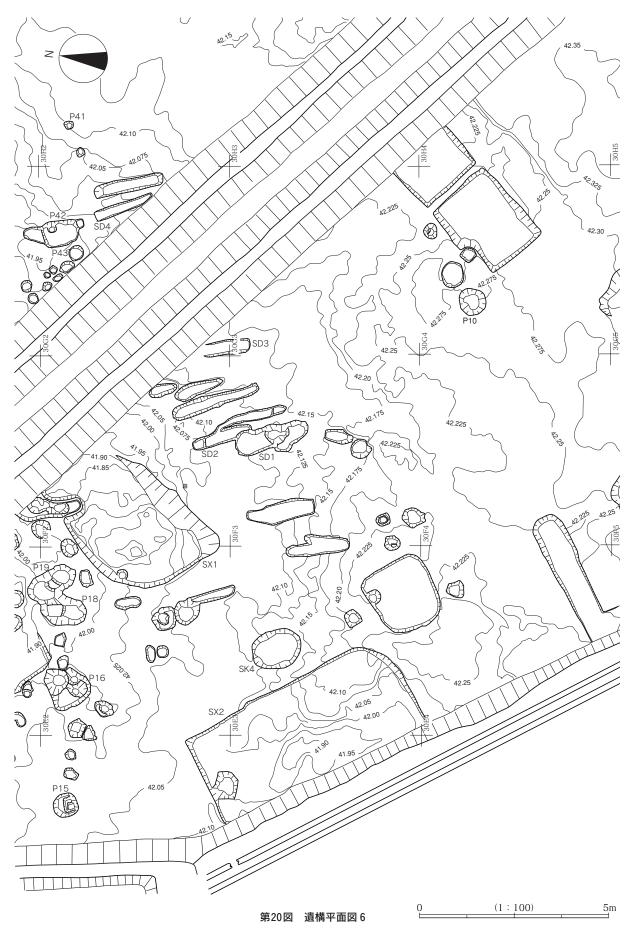
第17図 遺構個別図6

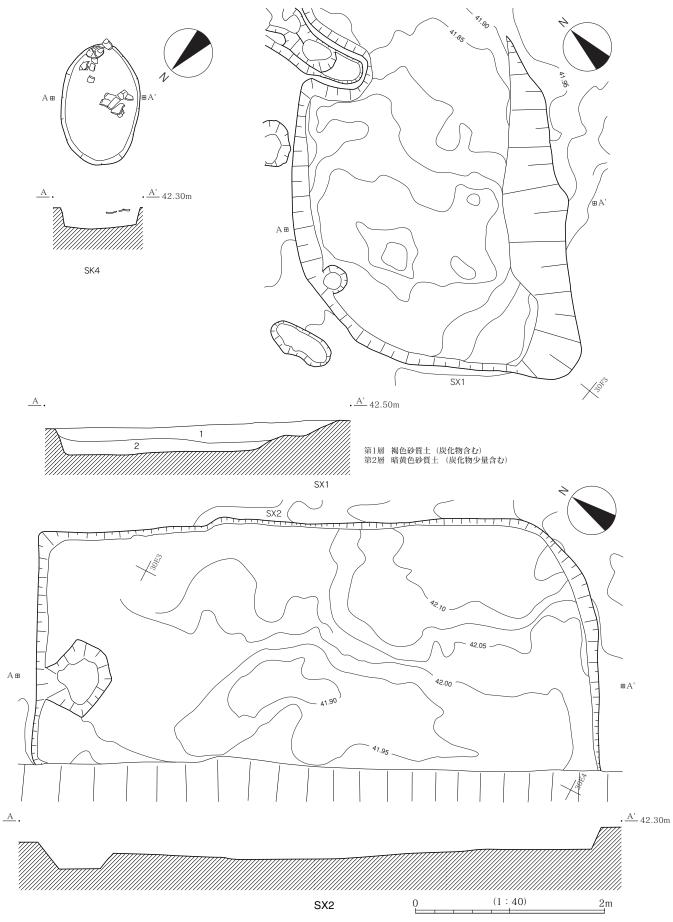


第18図 遺構個別図7

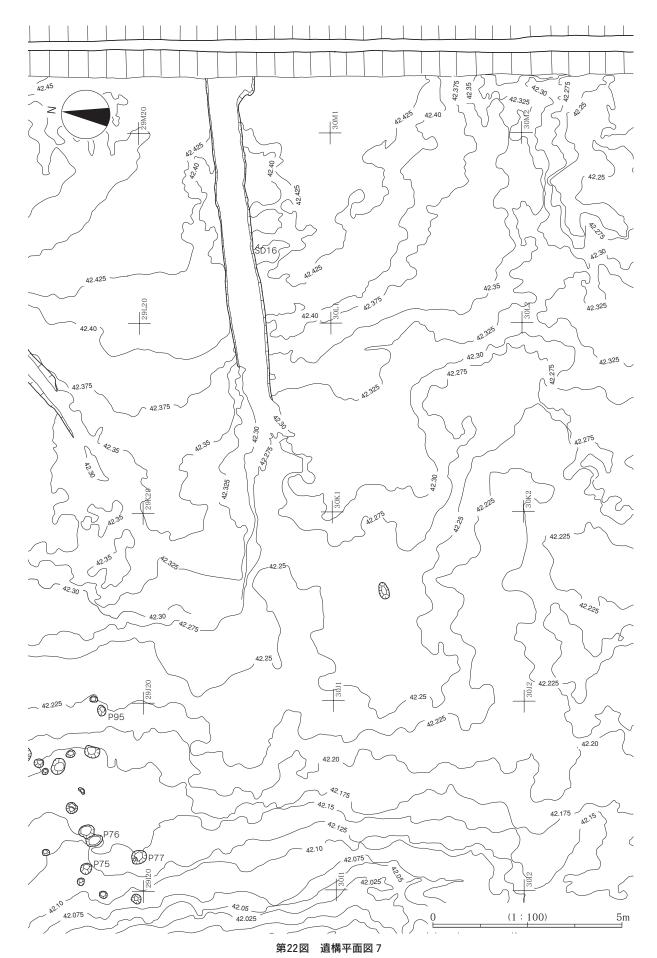




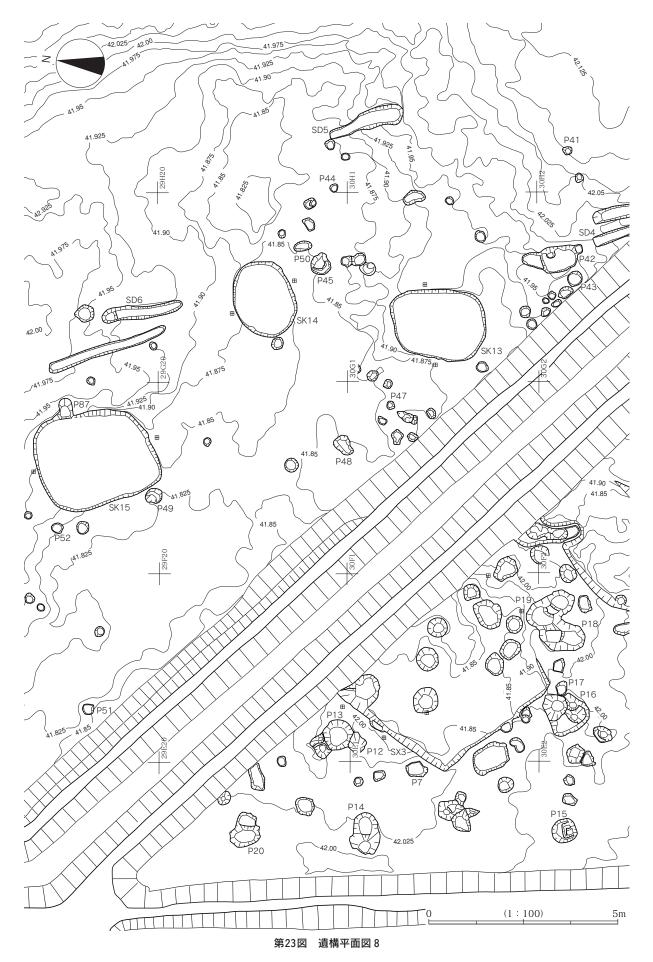




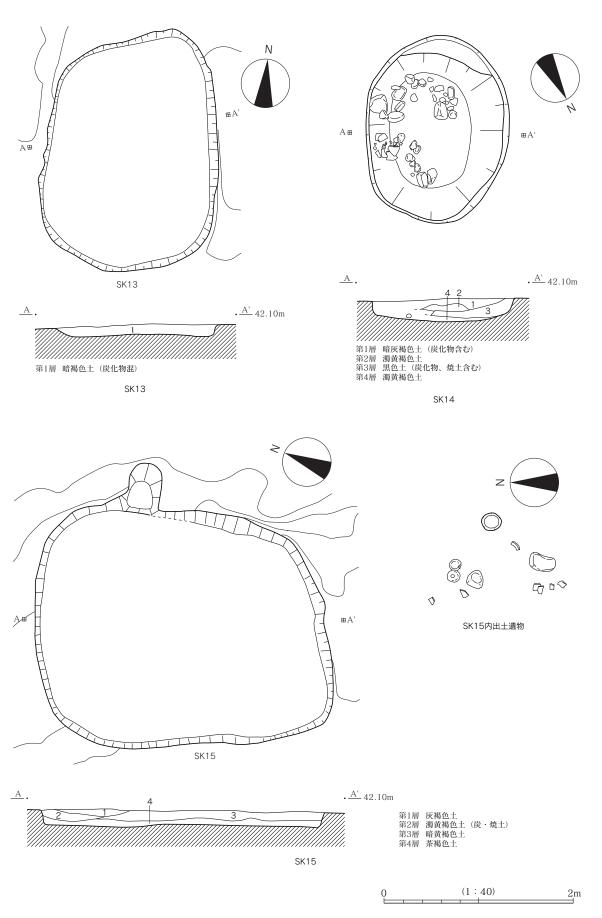
第21図 遺構個別図9



-28-

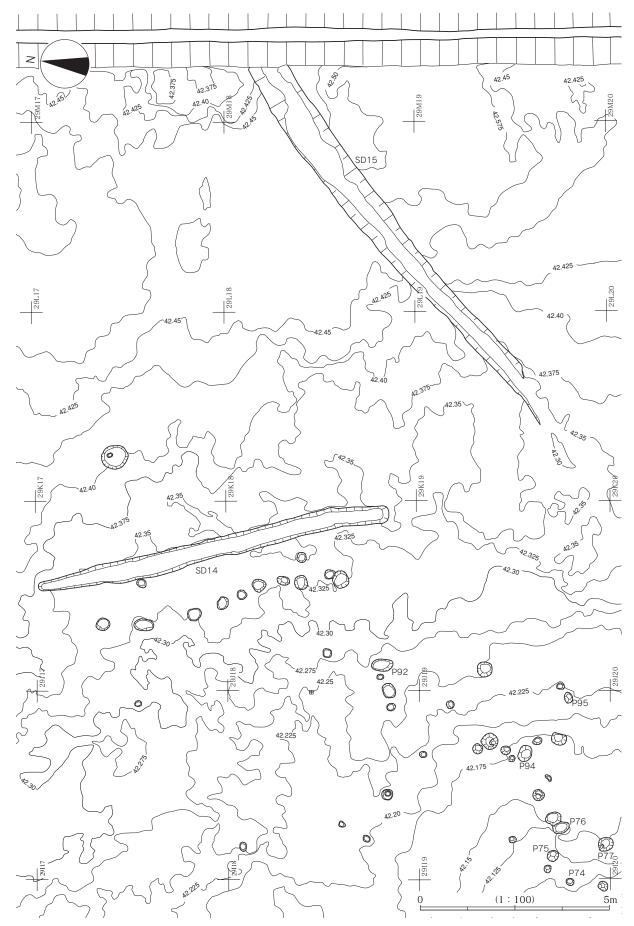


-29-

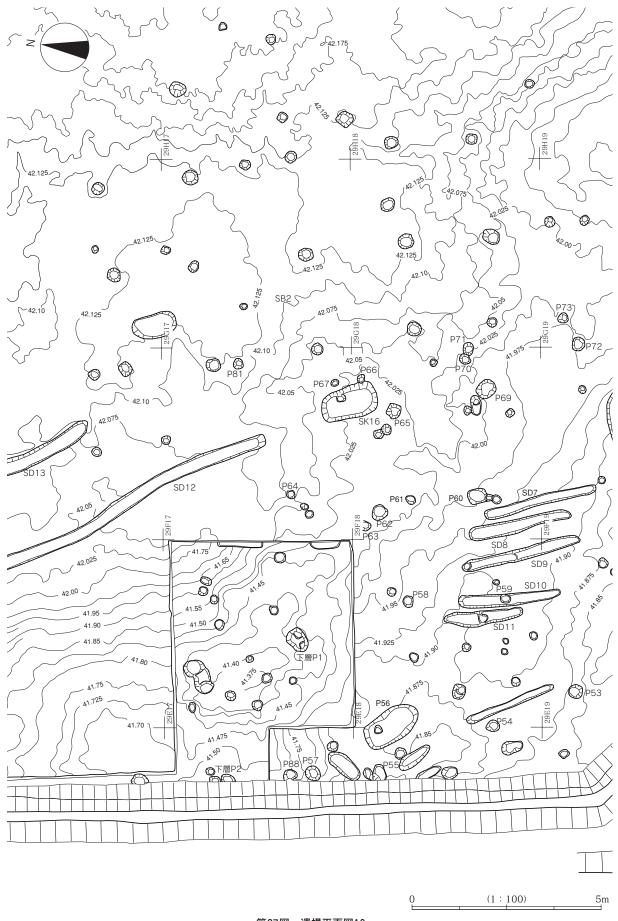


第24図 遺構個別図10

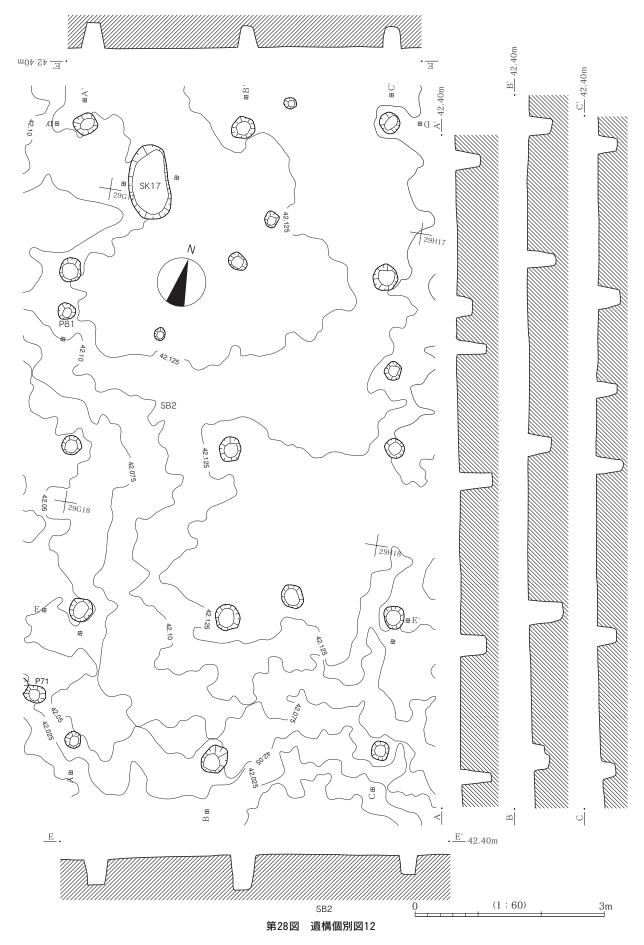




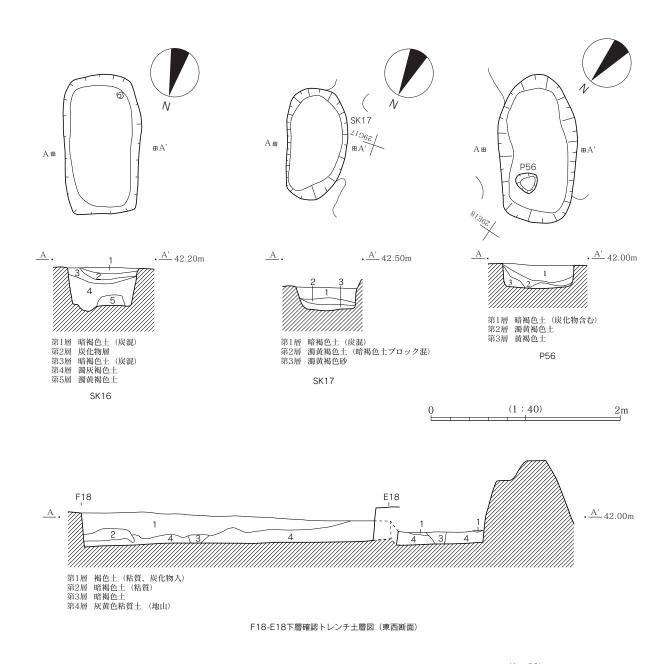
第26図 遺構平面図9



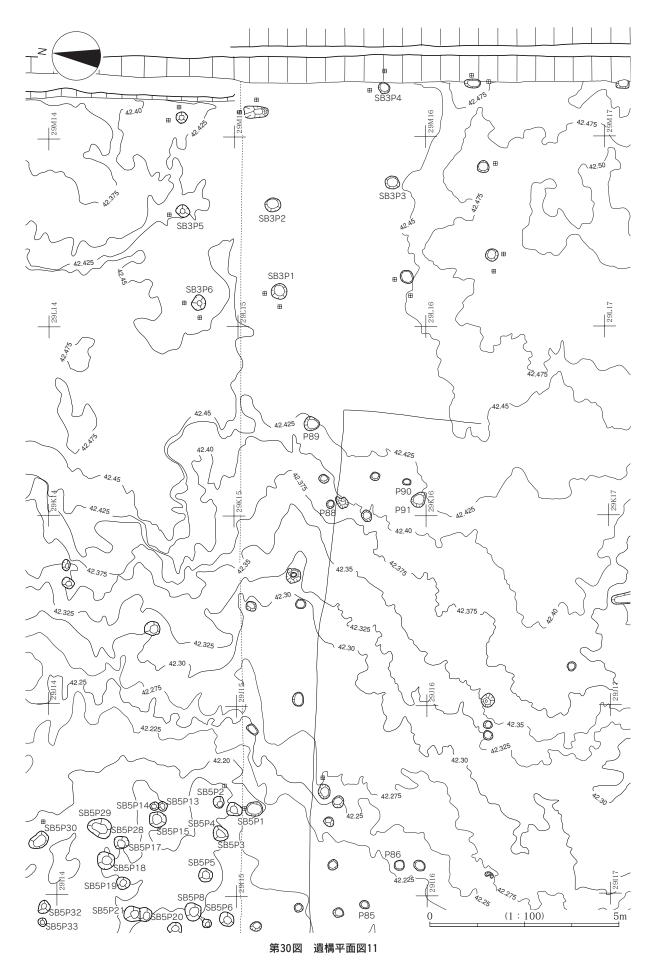
第27図 遺構平面図10



-34-



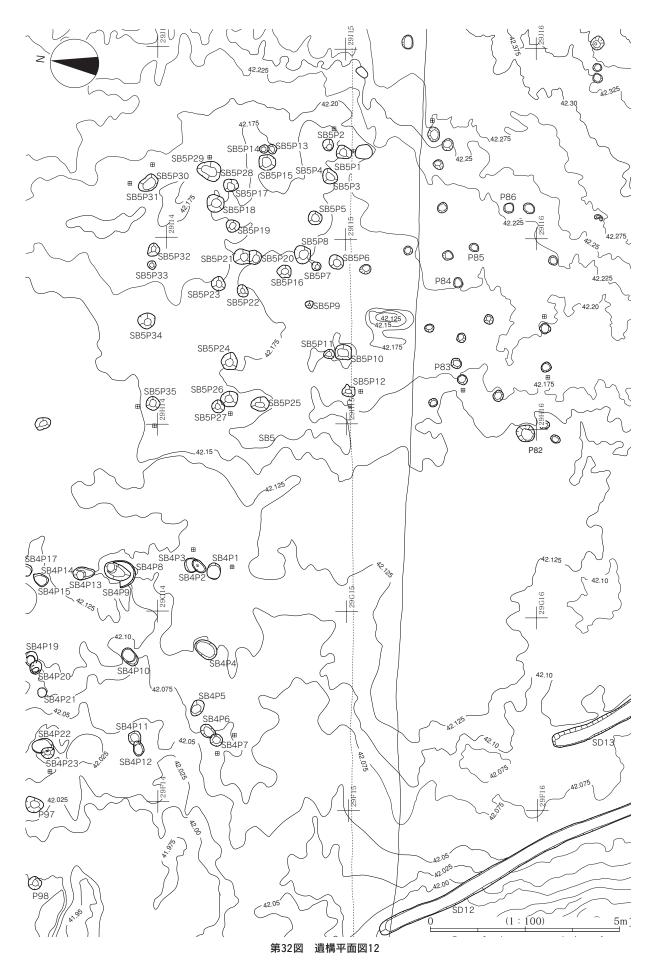
0 (1:60) 3m

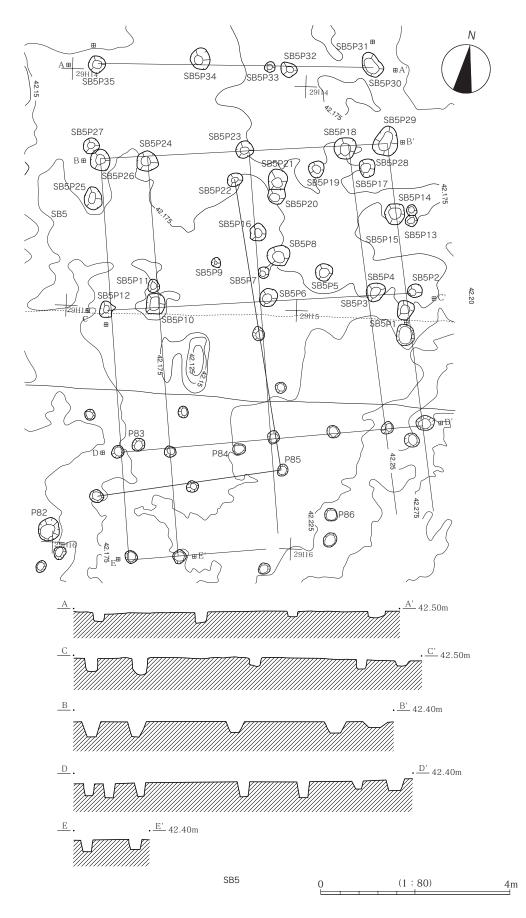


-36-

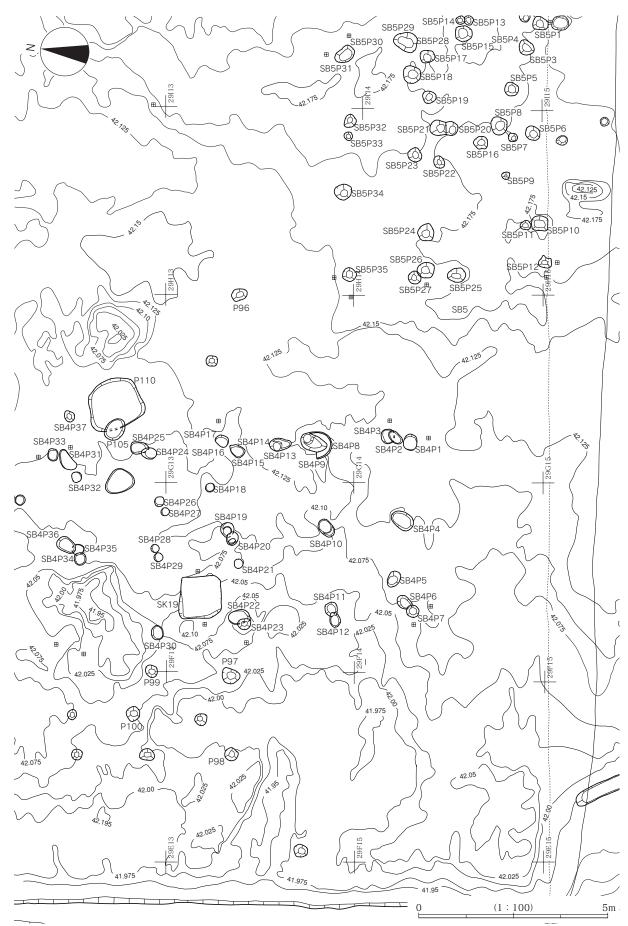


第31図 遺構個別図14

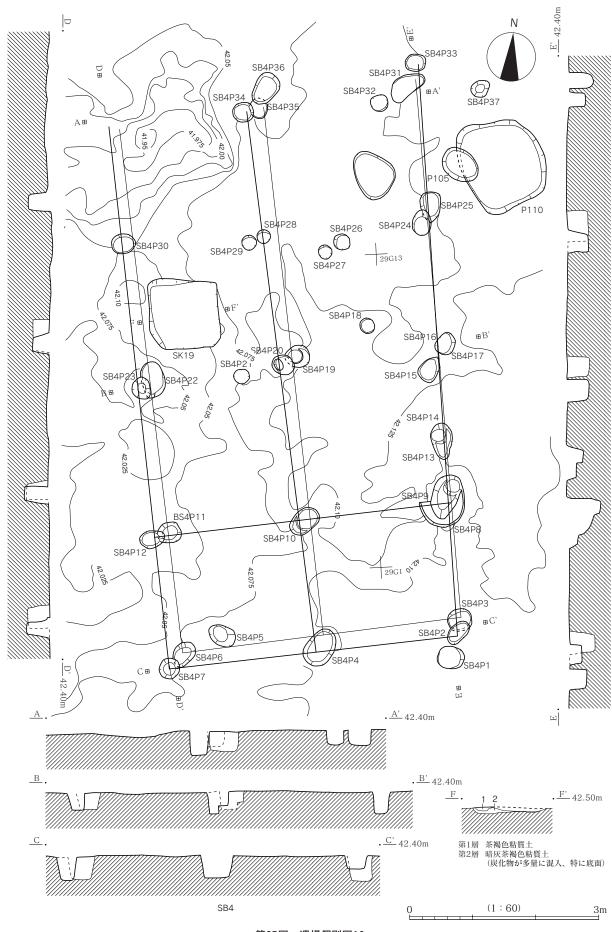




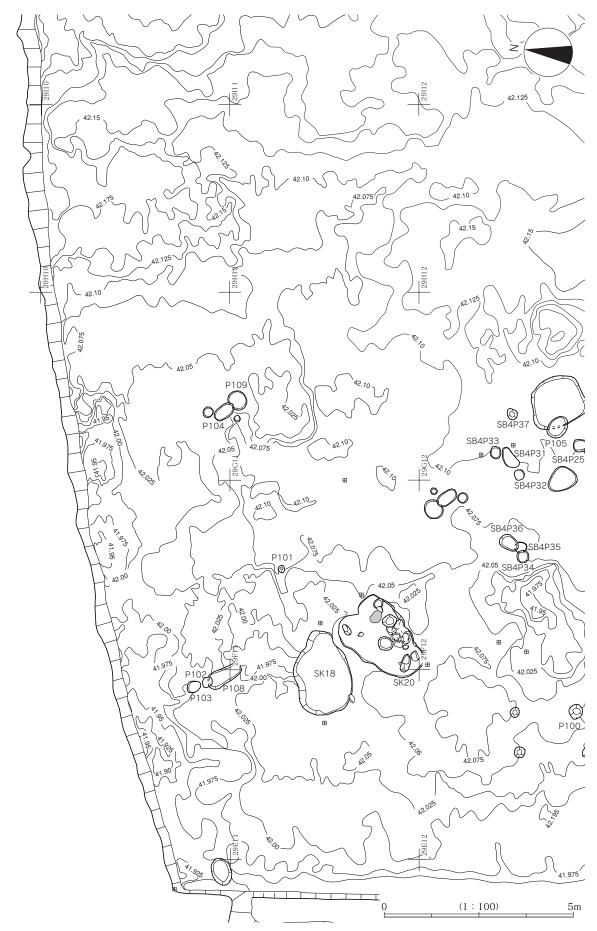
第33図 遺構個別図15



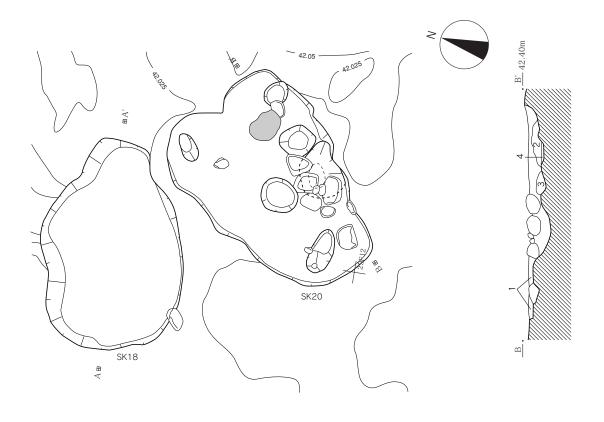
第34図 遺構平面図13

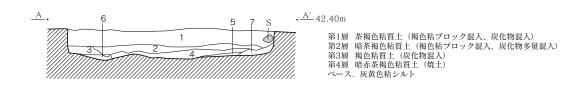


第35図 遺構個別図16

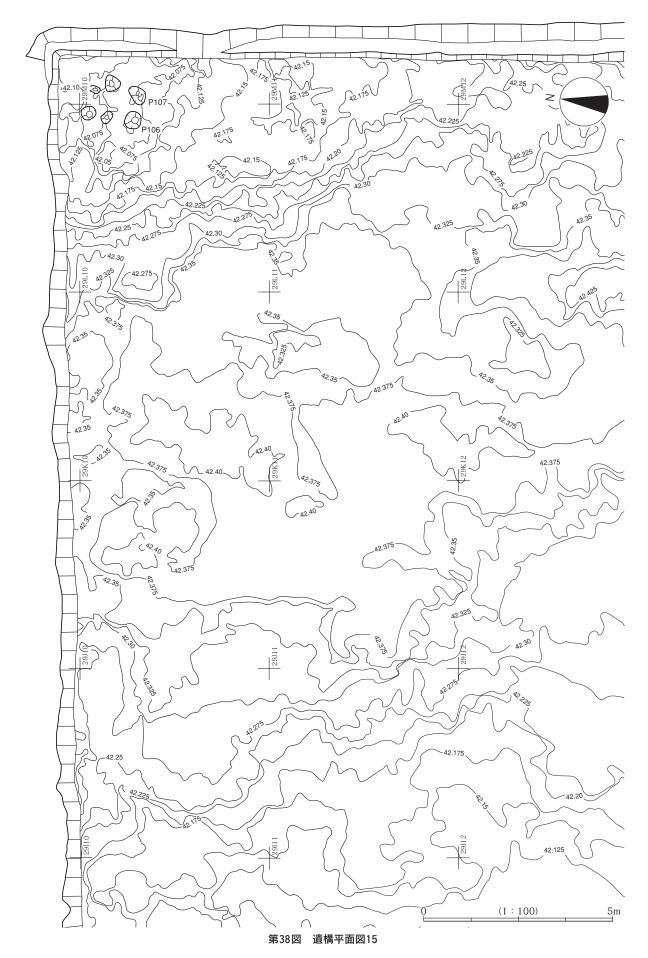


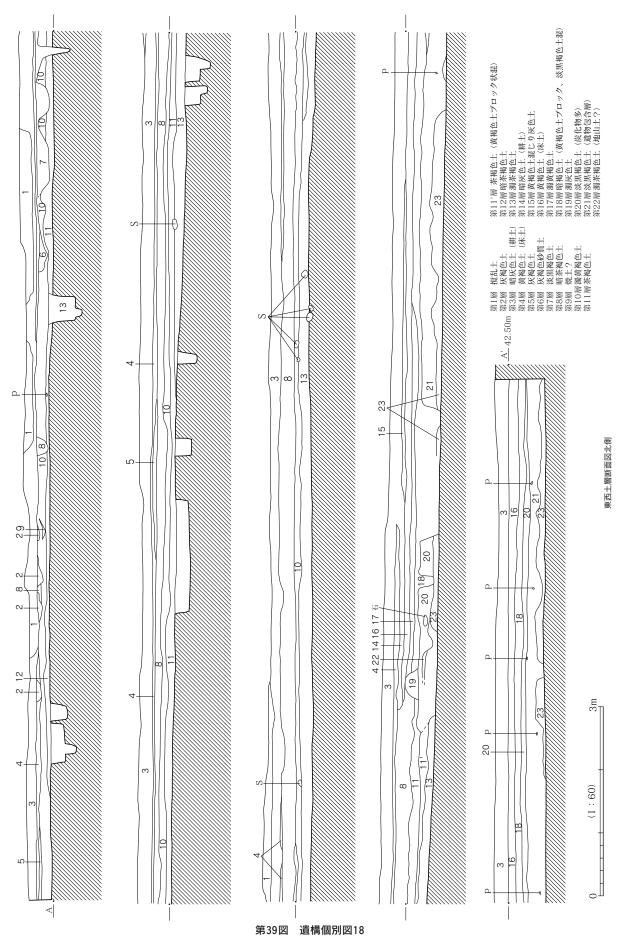
第36図 遺構平面図14

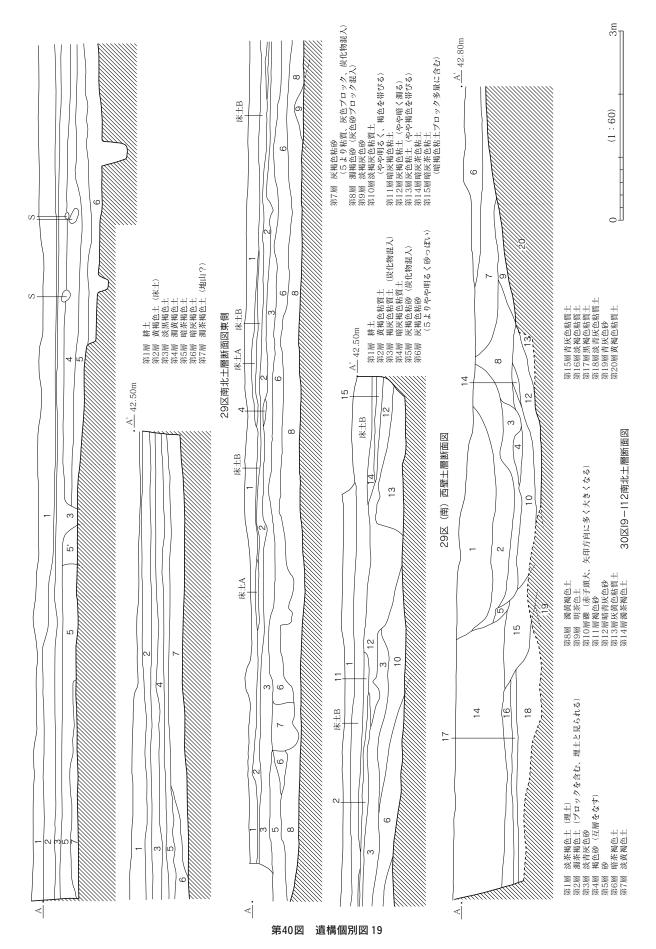


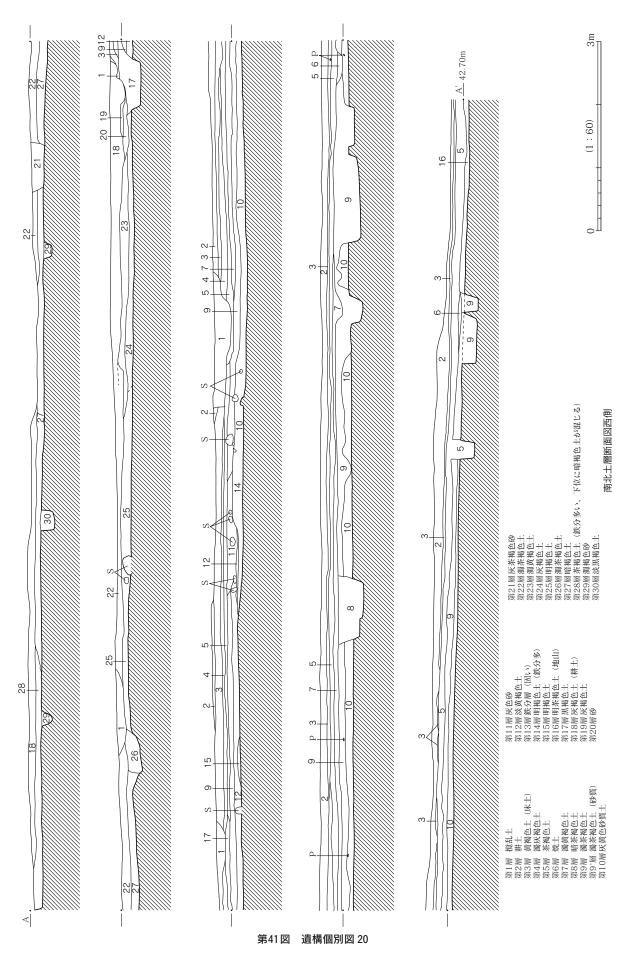


0 (1:40) 2m









-47-

第2節 遺 物

弥生時代から近世までの遺物が出土している。時期ごとに粗密があり、また全く遺物の出土がない 時代もある。ここでは遺構外から出土した遺物のうち時代ごとに特記すべきものを述べる。

弥生時代の遺物

弥生時代後期後半から末の遺物が一定量出土している。D・E17で下層確認トレンチが設定されているが、その部分からの出土が特に多いようである。他に170・171のような弥生時代前期と考えられる赤塗りをした条痕文壺が出土している。なお胎土中には多量の海面骨針を含んでいる。

古墳時代の遺物

古墳時代中期頃を中心とした遺物が $F\cdot G4\sim 6$ といったところにまとまって出土している。これはSX4等との関連が考えられる。古墳時代後期の遺物はそれほど目立たず、須恵器の出土は無いようである。

古代の遺物

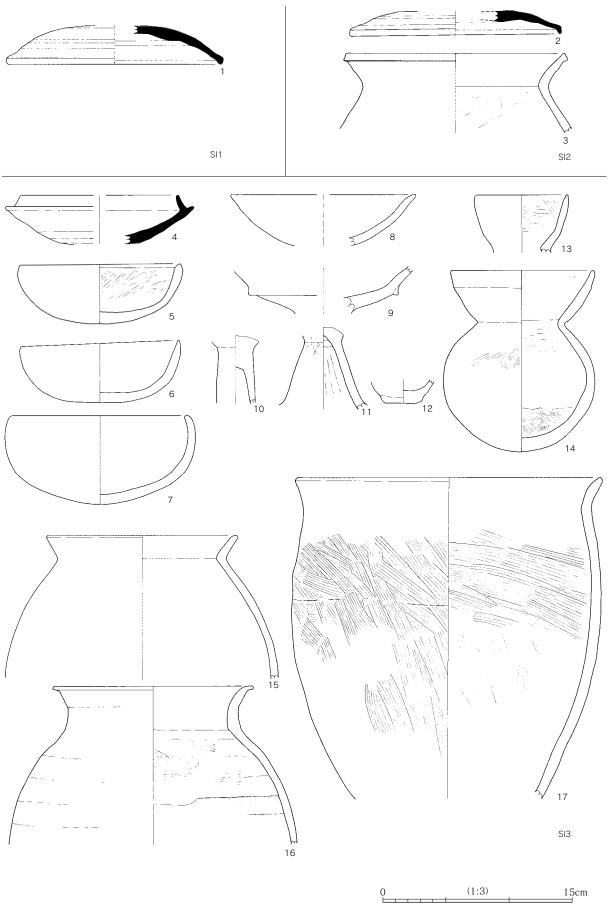
I1期と考えられる遺物から出土している。それほど包含層からの出土量は多くない。 $I2 \sim II2$ 期 にあたる遺物の出土はなくなり、再びみられるようになるのは II3期からである。その後は途切れず VI2期頃まで続く。 E17からは、暗文のある赤彩土師器杯が出土している。

中世以降の遺物

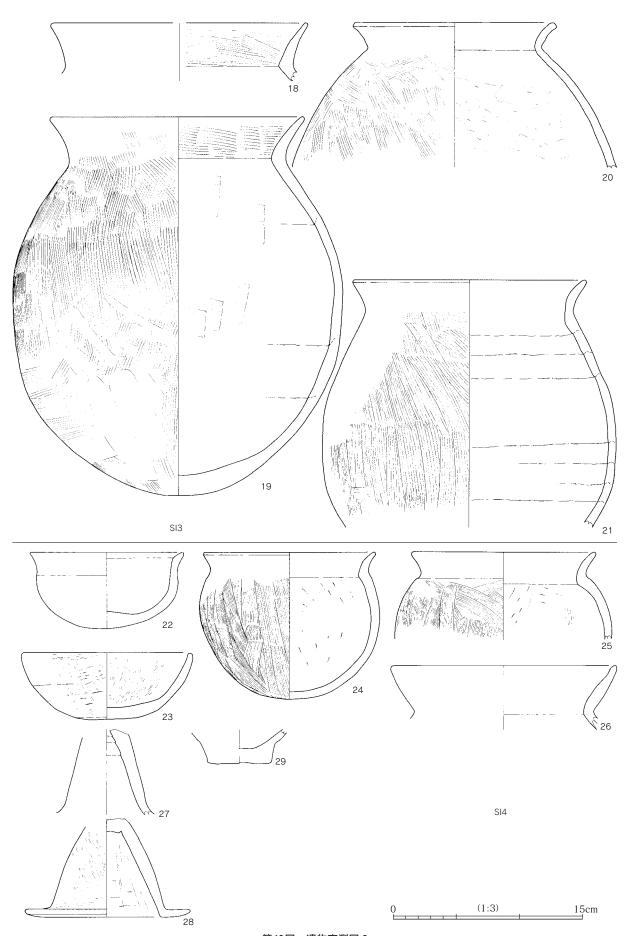
中世前半と考えられる遺物は、174・262・263・317などの土師器があげられる。その後は続かないようで、378~388などの中世後半以降近世・近代の遺物が散発的に出土しているようである。

その他

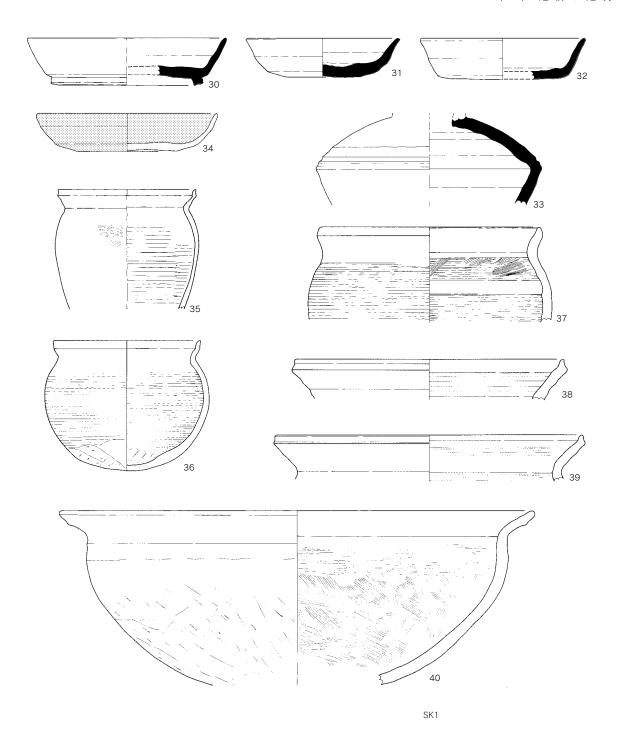
E・F16~18からは鉱滓や鞴羽口が出土している。



第42図 遺物実測図1

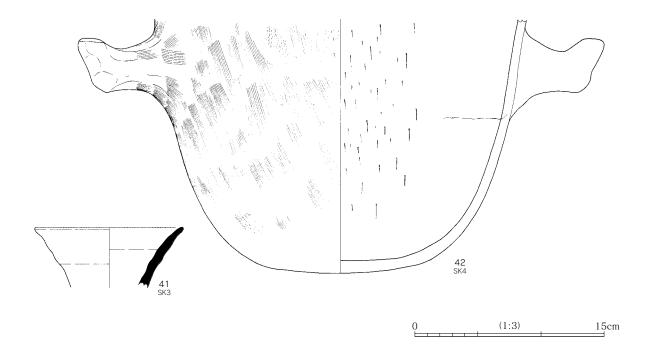


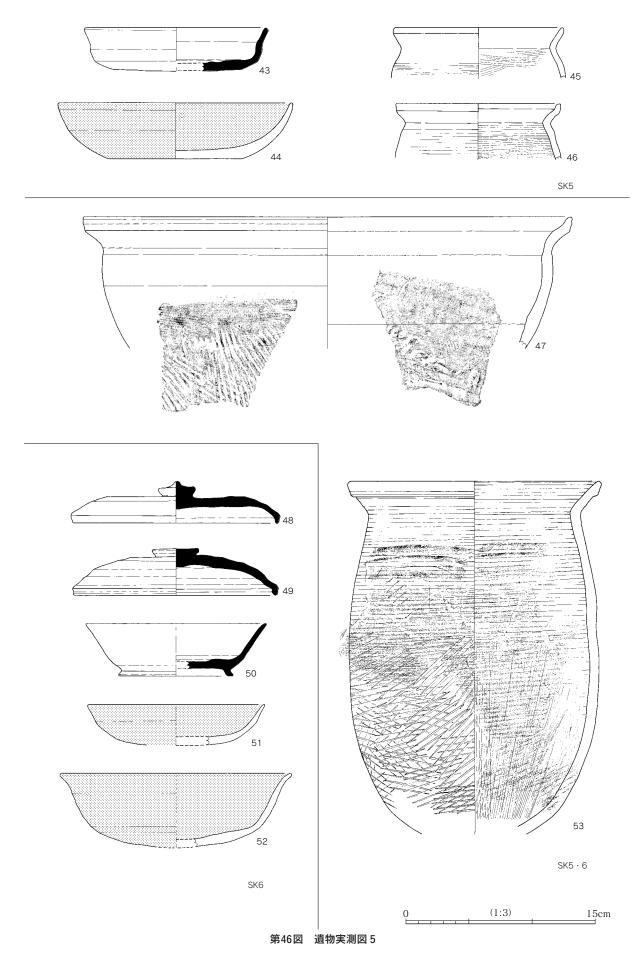
第43図 遺物実測図2

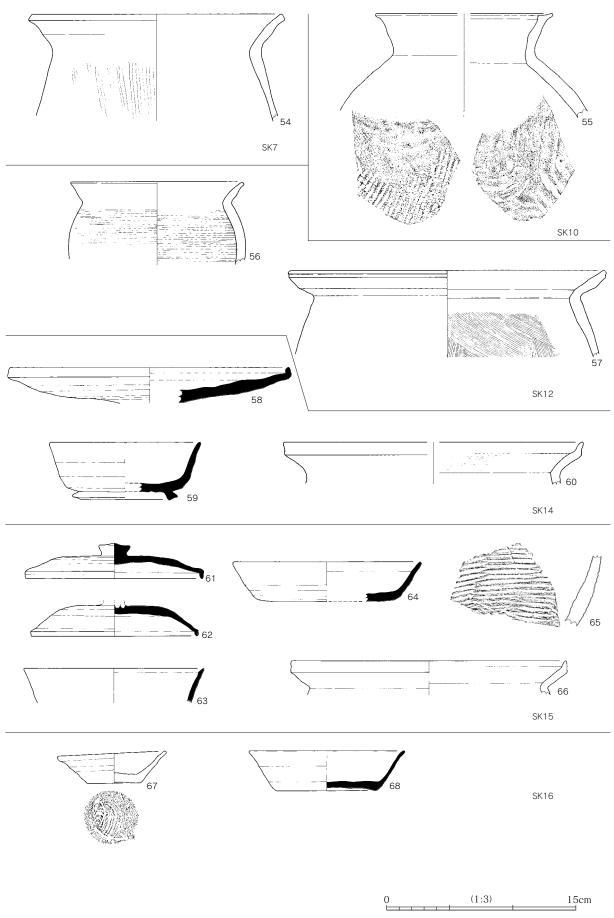




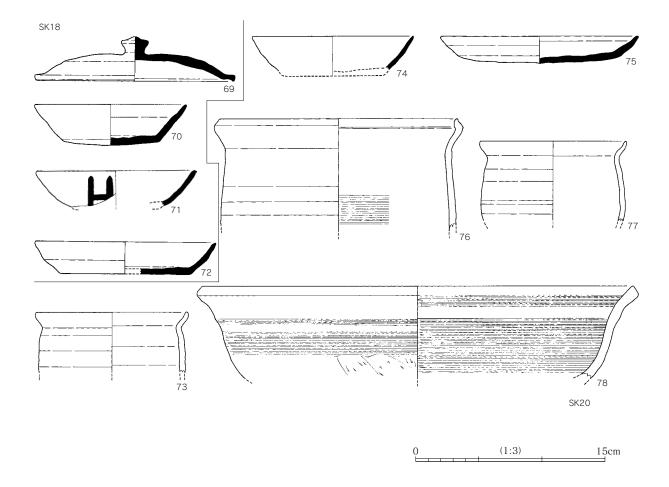
第44図 遺物実測図3

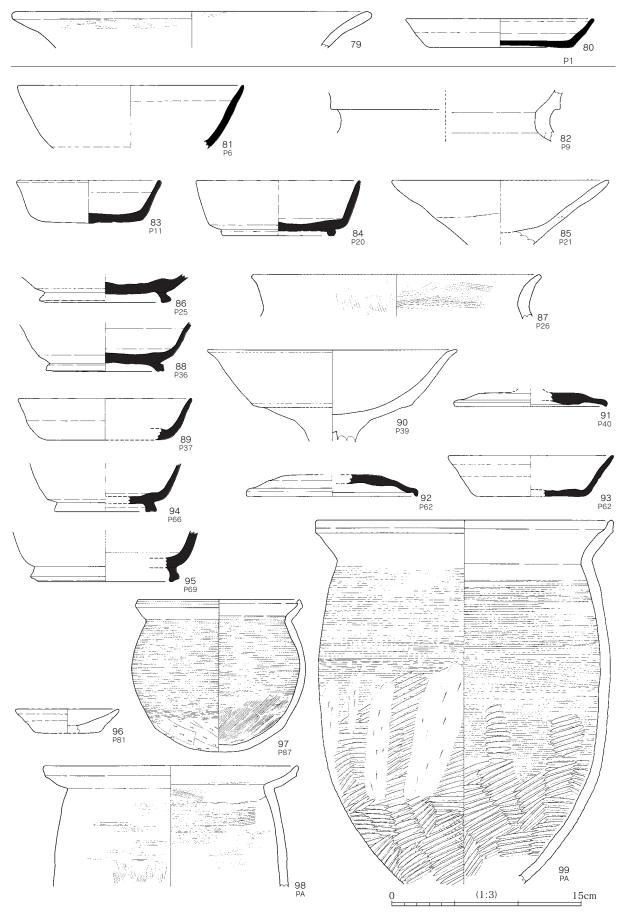




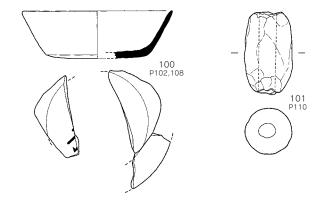


第47図 遺物実測図6

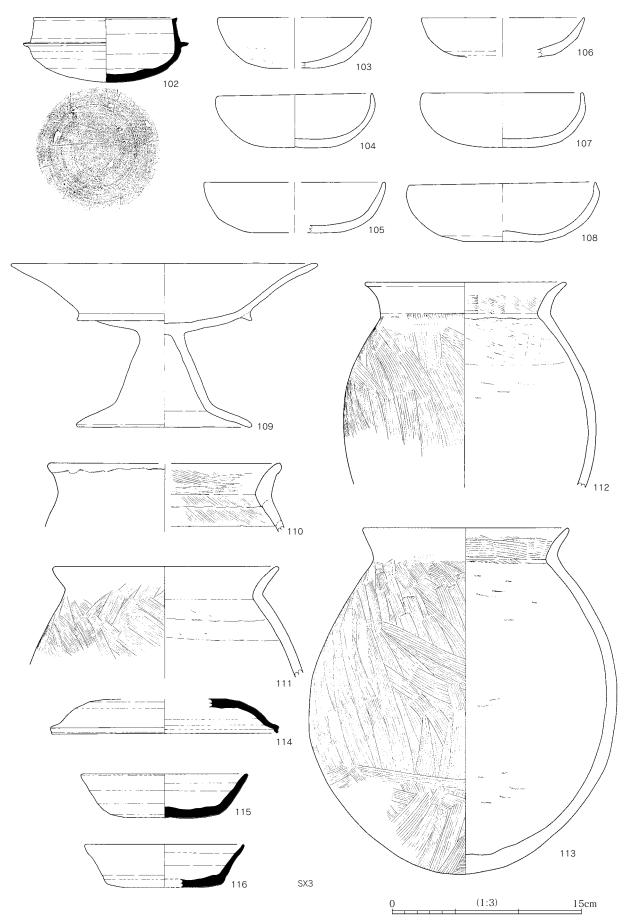




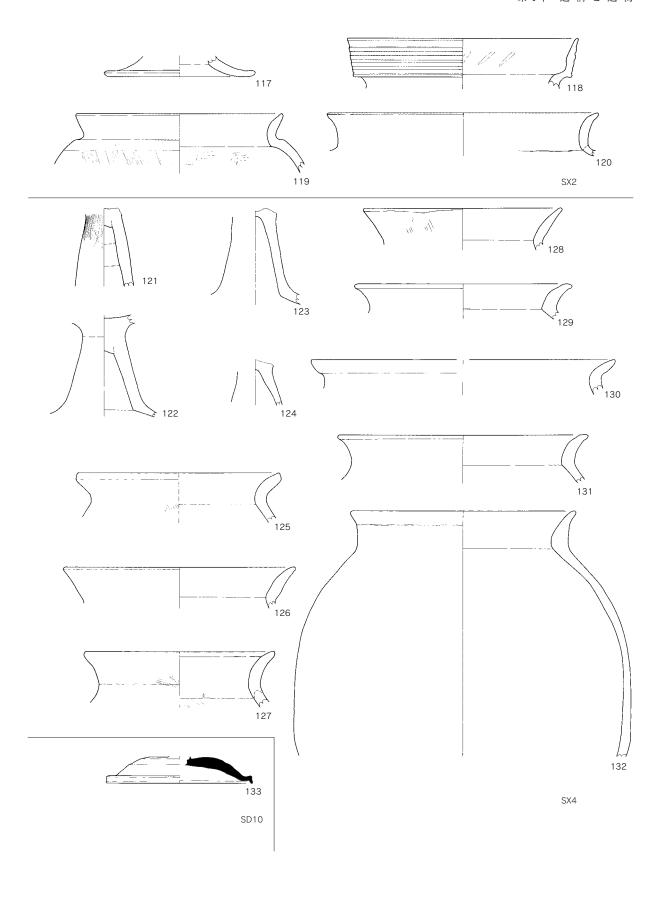
第49図 遺物実測図8



0 (1:3) 15cm



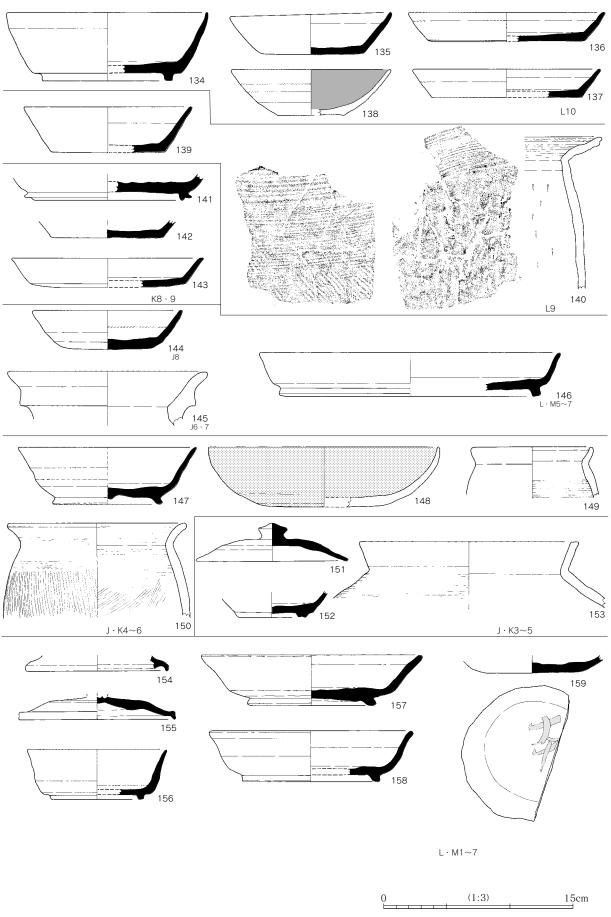
第51図 遺物実測図10



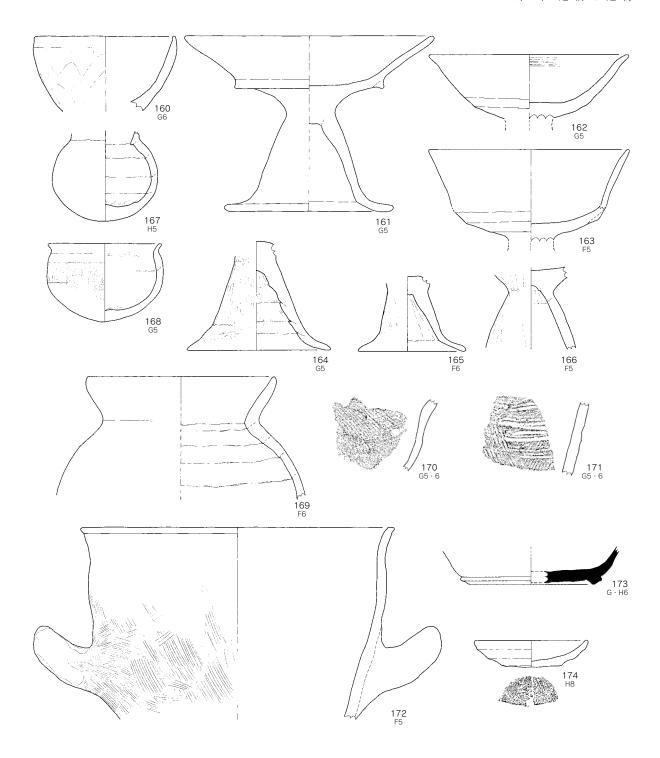
第52図 遺物実測図11

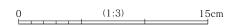
(1:3)

15cm

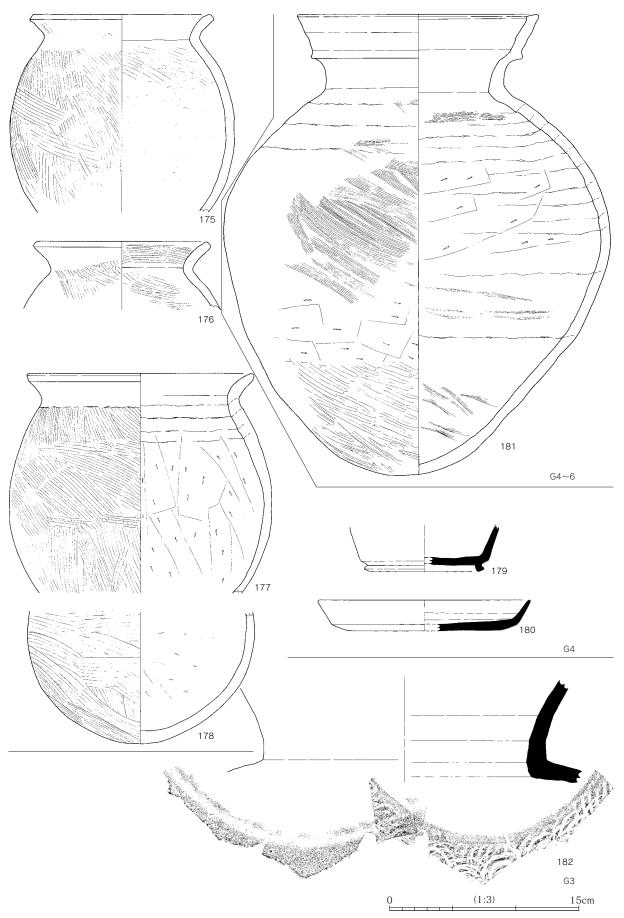


第53図 遺物実測図12

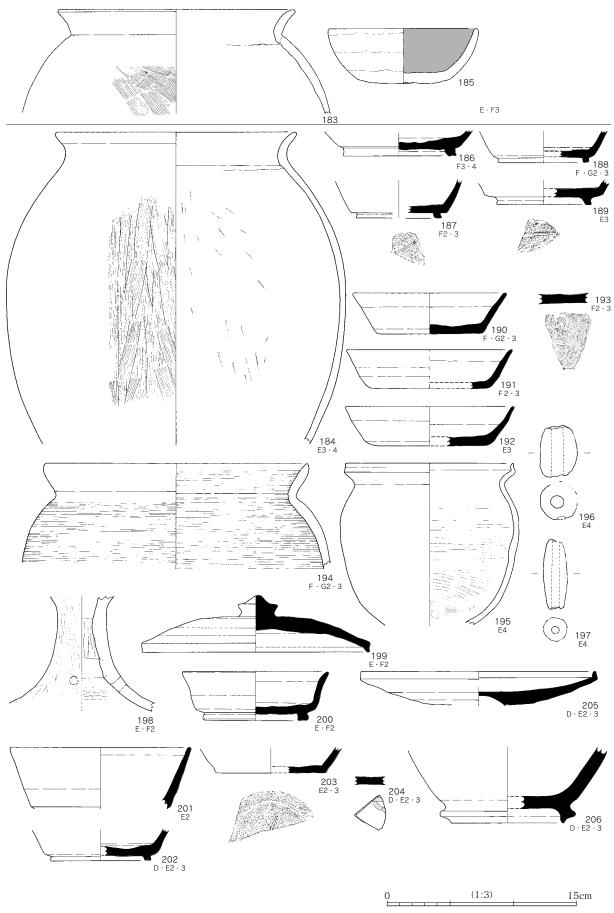




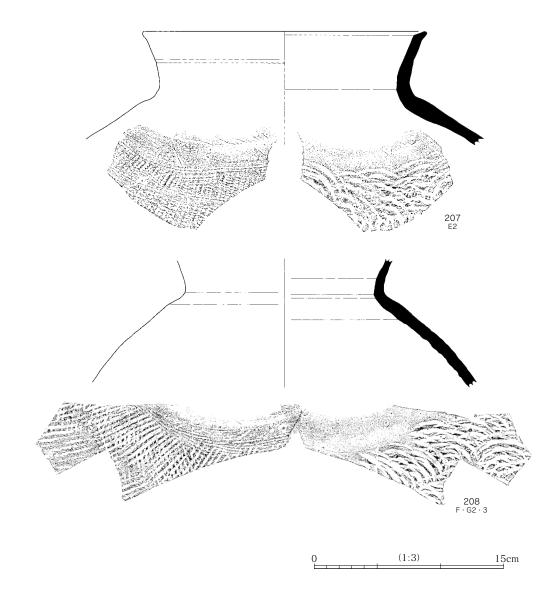
第54図 遺物実測図13

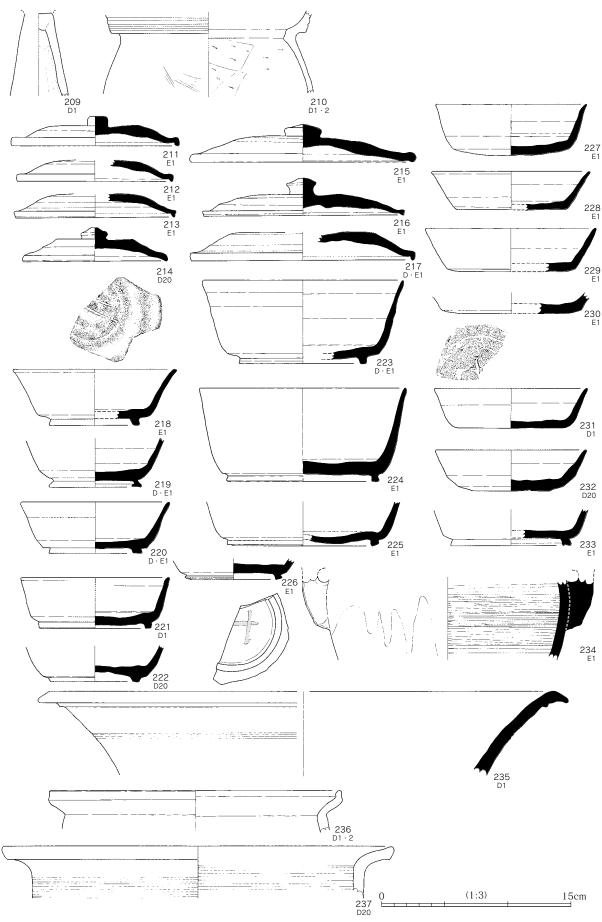


第55図 遺物実測図14

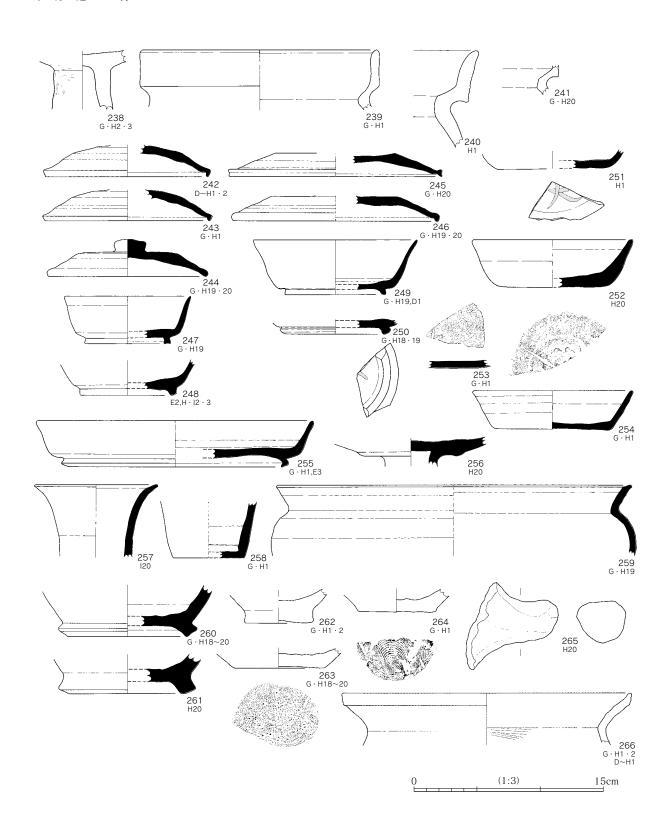


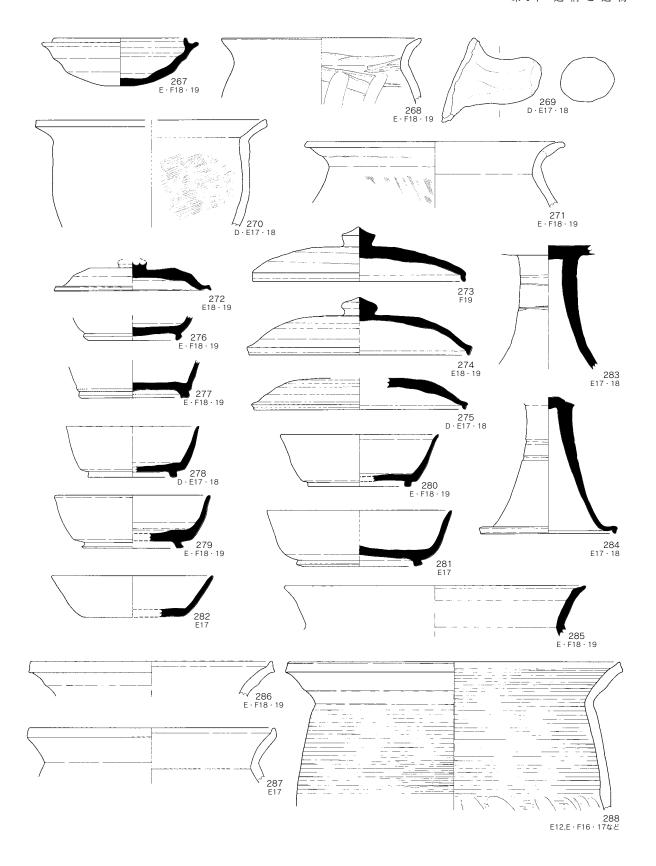
第56図 遺物実測図15





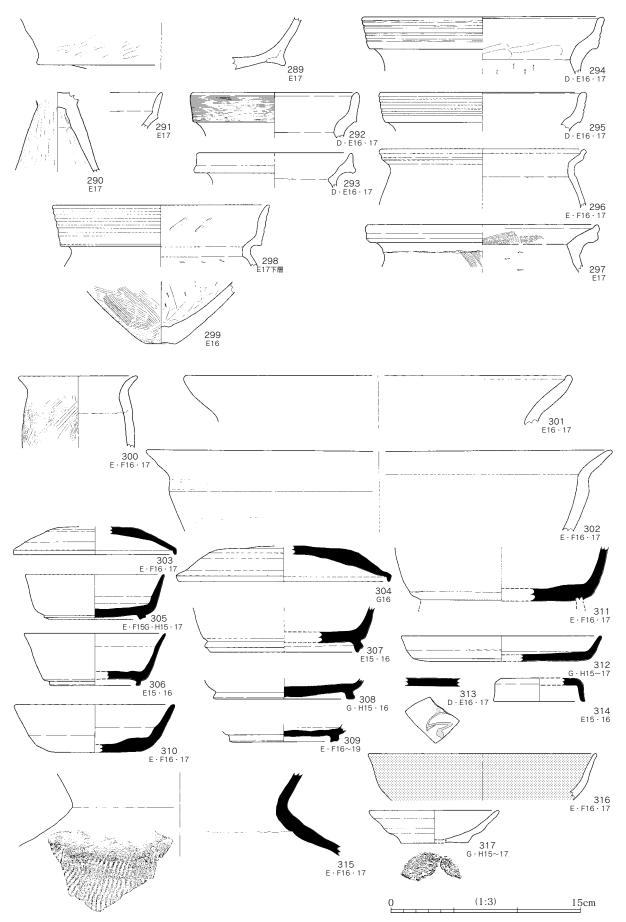
第58図 遺物実測図17



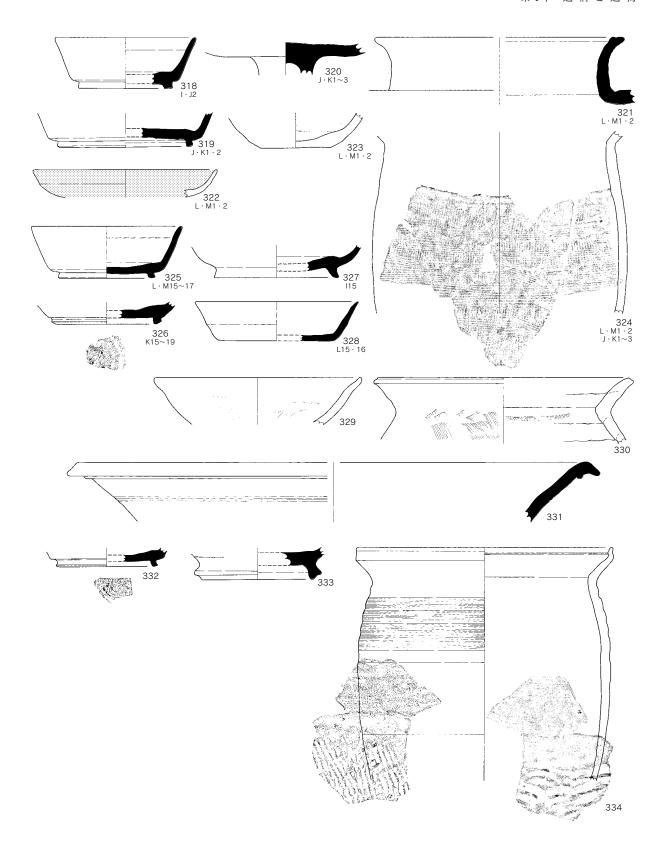


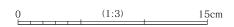


第60図 遺物実測図19

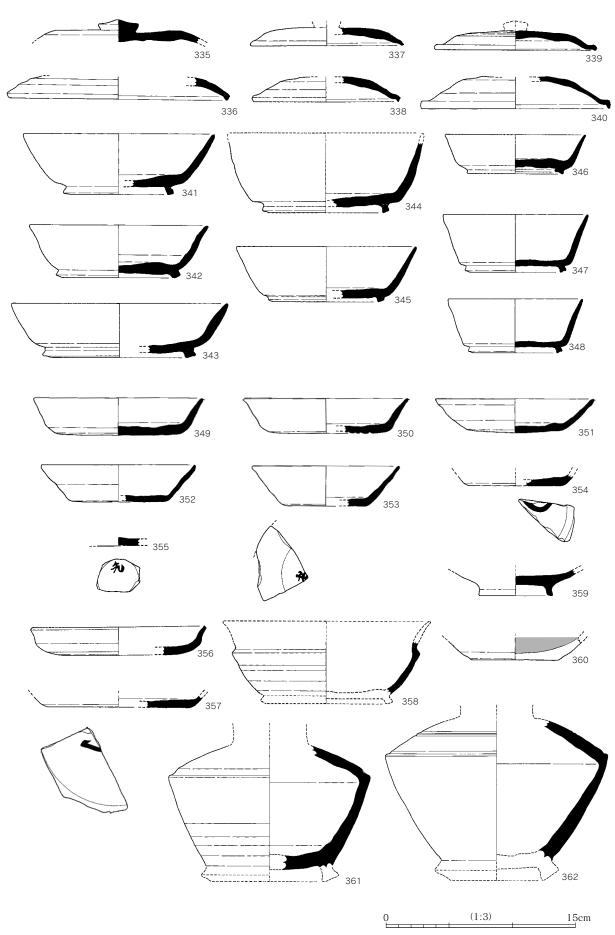


第61図 遺物実測図20

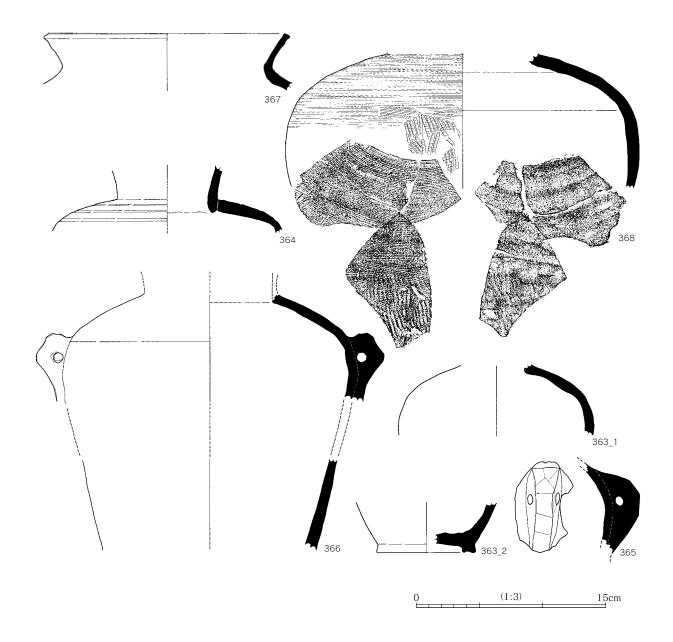


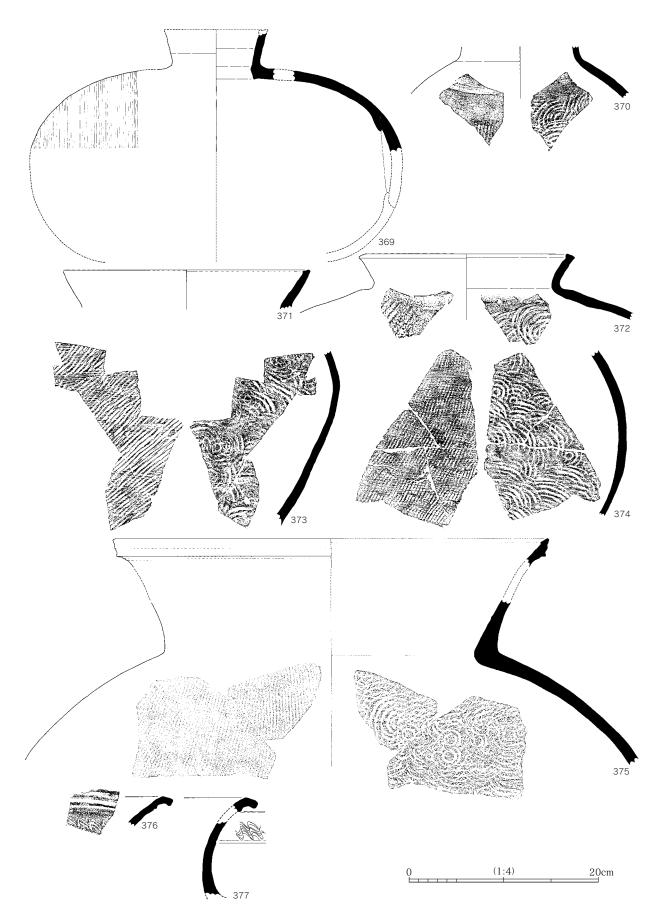


第62図 遺物実測図21

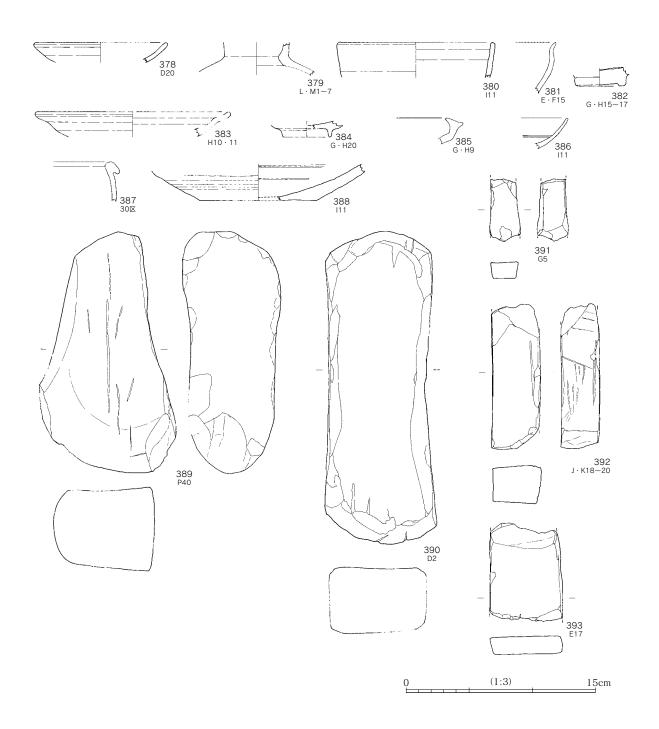


第63図 遺物実測図22





第65図 遺物実測図24



第3節 土器の胎土分類と分析

胎土の分類

須恵器の胎土をA~G・Xの8タイプに分けた。Aは南加賀、Bは能美、Cは末、Dは高松押水、Eは羽咋、Fは鳥屋、Gは非在地、Xは観法寺の各窯跡群産(北陸古代土器研究会1988)の須恵器と考えている。観法寺窯の製品については、窯跡群の調査が無く詳細については不明な点が多いが、表採された資料が指江遺跡の発掘調査報告書(大西2002)で報告されており、その中で「胎土中に海面骨針を含む資料が多い点、断面が赤色化している資料が多い点」が胎土の特徴としてあげられている。また、観法寺窯周辺で観法寺ジンヤマ窯跡他確認調査が2002年度に当埋蔵文化財センターで行ったが、そのとき採集された須恵器を参考に分類した。観法寺窯跡はⅠ1期から開窯し末窯が開窯すると考えられる(出越1989)Ⅲ期まで生産が行われていたと考えられる。

土師器については、胎土中に海綿骨針が含まれているか否かを基準に大きく2つに分けた。海面骨針を含んでいるものをa類、含まないものをb類とした。また砂粒をほとんど含まないものを1、中量含むものを2、多量に含むものを3とした。砂粒の粒径によってさらに細分することも可能ではあったが、類別が多くなり判断しにくいこともあり、細別しなかった。

須恵器の供給について

II3期以降須恵器の産地別に供給の割合がどのように変化していくかについてみてみる。II3期からとしたのは、I1期から木津遺跡では在地の須恵器もみられるようになるが、古代の集落が継続的に営まれるようになるのはII3期以降と考えられ、以降VI期までの資料が豊富だからである。

II3~Ⅲ期の奈良時代前半期では南加賀窯の製品が多く、次いで能美窯の製品が多い。末窯に分類できる胎土のものも一定量を占め、高松窯と分類できるものもあり、ほぼ最初の段階からこの地域に供給する須恵器窯跡の製品が出揃っているといえる。IV期になると能美窯が南加賀窯と並ぶようになり、V期以降能美窯の製品を主体として供給されていると考えられる。ただし圧倒的な割合を示すものはなく、すべての供給領域の縁辺にあたっているような様相を呈している。この割合は、供膳具と貯蔵具をまとめている。供膳具・貯蔵具に分けて示すと、II~IV期においては、南加賀の供膳具・貯蔵具とも全体に占める割合は高い。V期以降は能美窯・高松窯の供膳具の比率が高くなっている。また貯蔵具も能美窯のものの比率が高くなる。

それでは時期ごとの詳細な割合をみてみる。II 期では南加賀で39%、能美窯23%、末窯15%である。 観法寺窯と考えられる製品も15%あり、残り8%を高松窯が占める。末窯と比定したものは開窯時期 を考えると難しく、観法寺窯としたものに含まれる可能性がある。

Ⅲ期では南加賀窯61%、能美窯21%、末窯11%、高松窯7%となる。Ⅱ期と比べてそれほど大きな変化はない。南加賀窯製品の80%は供膳具である。

Ⅳ期では南加賀窯40%、能美窯40%、末窯6%、高松窯13%、鳥屋窯1%となる。この期になって能 美窯の割合が増え、南加賀と肩を並べる。末窯・高松窯はⅢ期とそれほど割合は変わらない。

V期では南加賀窯19%、能美窯35%、末窯10%、高松35%となる。能美窯が南加賀窯を逆転する。 また高松窯の比率も増え、能美窯と同じ割合となる。いずれも供膳具の割合が高いが、能美窯のほう が若干貯蔵具の比率が高い。 VI期では南加賀窯29%、能美窯43%、高松窯29%となる。この期になり末窯の製品はみられなくなる。土師器については末窯産とみられるものがあり、須恵器生産が終了しても供給領域内にあるといえる。資料点数も少なくなりこの期が古代においての木津遺跡の終焉と考えられる。この期における貯蔵具はほとんどみられない。

土師器の産地

古墳時代の土師器には、海面骨針が含まれているものが多い。弥生時代前期の条痕文壺にも多量に含まれている。古代になると海面骨針の含まれているものはほとんど無くなる。これは、集落周辺で生産されていたものが、須恵器の窯場の周辺で焼かれるようになるという変化に伴うと考えられる。

仮に、海面骨針が含まれているものを在地産とすると弥生時代末の土器は、他所からの搬入品であるとも考えられる。

第2表 出土土器の時期と胎土

時期				須瓦	思惠				小計			土部	市器			네, 크L	스크
时别	А	В	С	D	Е	F	G	Н	小町	a 1	a 2	a 3	b1	b2	b3	小計	合計
弥生前期									0			2				2	2
弥生後期									0			2		4	4	10	10
弥生末									0					3	3	6	6
古墳前期									0	1	2				1	4	4
古墳中期							1		1	18	7		6	9	7	47	48
古墳後期									0	1	3		1	2	6	13	13
I	2								2	1	2		1	6	7	17	19
II	5	3	2	1				2	13				1	5	9	15	28
Ш	17	6	3	2					28				1	7	10	18	46
IV	38	38	6	12		1			95					1	3	4	99
V	9	17	5	17					48				1	2	1	4	52
VI	2	3		2					7	2						2	9
中世I									0	1			1	2		5	5
中世II									0				1			1	1
合計	73	67	16	34	0	1	1	2	194	24	15	4	13	41	51	148	342

※表中の数値は実測した遺物点数

第3表 出土遺物観察表1

## 2015 19 19 19 19 19 19 19	万 。			山上,멶	彻餓笨	1 1												
2 2 3 高原学 野田 19 30 10 10 10 10 10 10 10	図番 番号		実測	種別	器種	調査	大グ リッド	グリッド	遺構	層位		器高 (mm)	底径 (mm)		色調		時期	備考
1	\vdash																	
1																		外摩耗の為調整不明、内ナデ・ケ
## 1																		外ケズリ、歪み著しい為径がはっ
## 6 0 2 1.03	42	5	293	土師器	椀	第1次	30区	Н6	SI3P3	/8	131	48			橙色	a1	I 1	外ハケ調整後ミガキ、内斜方向の
22 7 300 上藤等	42	6	32	土師器	椀	第1次	30区	Н6	SI3		128	49			にぶい橙色	b3	I 1	
42 9 40 1 部帯 浜杯 河北 300 16 813 瀬上 1	42	7	300	土師器	椀	第1次	30区	Н6	SI3P5	眉	140	70			橙色	b2	I 1	外ケズリ後ナデ、内強いナデ
## 15	42	8	42	土師器	高杯	第1次	30区	H6	SI3						橙色	a 1	5世紀中葉	
2	42	9	46	土師器	高杯	第1次	30区	H6	SI3	層					橙色	b 2	5世紀中葉	内ミガキ、内面内黒?
## 1 2	42	10	45	土師器	高杯	第1次	30区	Н6	SI3	層					にぶい褐色	a1	5世紀中葉	
20 12 47 上野田 千つ 15 15 15 15 15 15 15 1	42	11	43	土師器	高杯	第1次	30区	Н6	SI3	層					橙色	a1	5世紀中葉	外縦方向のミガキ、内面成形時に 出来た工具端部痕
42 14 26 上海路 世 田元 301 H6 S13 瀬上 132 H6 田元 301 H6 S13 瀬上 132 田元 132 田元 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	42	12	47	土師器	手づくね	第1次	30区	Н6	SI3				30		淡黄橙色	a1	5世紀中葉	
## 12 28 上部部 型 利1次 30K 16 Si3 編 12 14 列政院性 小切 50KUM 17 列政院性 17 30 上部部 関 利1次 30K 16 Si3 編 12 15 25 列	42	13	41	土師器	壺	第1次	30区	Н6	SI3		74				橙色	b 2	5世紀中葉	
22 16 32 上野部 乗 新北次 30K 16 S13 層世下 159 に広い機色 15 11 12 12 17 17 18 15 15 15 15 15 15 15	42	14	296	土師器	壺	第1次	30区	H6	SI3		112	144			明黄橙色	不明	5世紀中葉	
42 15 220 上部器 東東 第1次 30K 16 S13 原型上 159 に広い機色 13 11 分割発光子、内部ケンタ、内部 17 11 12 12 13 13 14 上部器 東 第1次 30K 16 S13 原型上 17 に広い機色 12 11 11 11 11 11 11 11	42	15	31	土師器	魙	第1次	30区	Н6	SI3		152				明赤褐色	不明	I 1	外内摩耗著しい、外面煤付着
18 44 上的器 型 割1次 30以 16 Si3 水面 246 にぶい極色 a2 117 接合値 25 117 25 25 25 25 25 25 25 2	42	16	320	土師器	甕	第1次	30区	Н6	SI3		159				にぶい橙色	ь3	I 1	口縁ヨコナデ、内7~8条の荒いハ ケ調整後ナデ、内細かいハケメ、 輪積み痕、外約2cm幅の輪積み痕
13	42	17	302	土師器	甕	第1次	30区	Н6	SI3	床面	246				にぶい橙色	a 2	I 1?	□縁ヨコナデ、内ハケ、外ハケメ、 接合痕
43	43	18	44	土師器	甕	第1次	30区	Н6	SI3						にぶい橙色	a 2	I 1	外ヨコナデ、内ハケメ (単位8~9 条?)
43 20 323 上肺器 美 郭江次 301 16 S13 床面2 162 技政費性 53 11 外面銀付着 43 21 317 上肺器 美 第1次 301 67 S14 加土 122 56 上赤砂磨 53 11 外面銀付着 53 11 小離移成 株土 株田町町 122 56 上赤砂磨 53 11 小離移成 株土 134 上北 136 上北 137 上北 137 上北 137 上北 138 上北 上北 上北 上北 上北 上北 上北 上	43	19	311	土師器	甕	第1次	30区	Н6	SI3	床面	200	293			橙褐色	b1	I 1	口縁ハケ調整後ヨコナデ、外ハケ メ・ケズリ・ナデ、内へラ状工具 によるナデ・幅の広いヘラ状工具 による強いナデ、最大胴径264mm、 外面煤状のもの付着、巻き上げ痕
43 21 317 上師器 美 第1次 301K 16 S13 整面① 194 上記2 194 上記2 194 上記2 195 上部器 外 第1次 301K 17 S14 別	43	20	323	土師器	甕	第1次	30区	Н6	SI3	床面2	162				浅黄橙色	b3	I 1	外ナデ・ハケ、内ナデ・ケズリ、 外面煤付着
43 22 29 上前帝 身 和1次 30区 G7 SI4 厨 122 56 色 色 1 5世紀代 外ヨナア、外部からに発 43 24 295 上前帝 小茂 第1次 30区 G7 SI4。	43	21	317	土師器	甕	第1次	30区	Н6	SI3	壁面①	194					b3	I 1	外ヨコナデ後ハケメ(約1.5~2mm 幅)、輪積み痕、粘土幅約1mm、器 面摩耗、外面煤付着
43 24 295 上師器 小悪 第1次 30区 G7 SK4 13.0 5.3 4.9 にぶい極色 b2 6世紀後年 外、カキ・ケスリ、内にあった。 137 117 にぶい極色 b3 6世紀代 外、カキ・ケスリ、内にあった。 146 4.5×2	43	22	291	土師器	鉢	第1次	30区	G7	SI4		122	56				a 1	6世紀代	外ヨコナデ、外部分的に煤付着
43 24 295 土師器 小養 第1次 30区 G7 SI4 ① 137 117 にぶい橙色 b3 6間紀代 デ・ケズリ、外面部分的に 43 25 36 上師器 選 第1次 30区 G7 SI4 優土 檀色 b2 6世紀後半 外ヨコナデ、ハケメ、内ヨ 43 26 37 上師器 選 第1次 30区 G7 SI4 優土 超色 自色 a2 5世紀代? 内摩耗激しい 43 28 34 上師器 高杯 第1次 30区 G7 SI4 優土 131 にぶい橙色 a1 5世紀代? 内摩託微しい 43 28 34 上師器 高杯 第1次 30区 G7 SI4 優土 131 にぶい橙色 a1 5世紀代? 内戸料激しい 43 28 34 上師器 高杯 第1次 30区 G7 SI4 優土 131 にぶい橙色 a1 5世紀代? のライン のライ	43	23	38	内黒土器	椀	第1次	30区	G7			13.6	5.3	4.9		にぶい橙色	b 2	6世紀後半	外ミガキ・ケズリ、内ミガキ
43 25 36 上牌器 数 第1次 30区 G7 4、SX2 30区 G7 S14 数土 180 標色 a 2 5世紀代字 内摩耗激しい 内摩耗激しい 43 27 33 上牌器 高杯 第1次 30区 G7 S14 数土 131 にぶい種色 a 1 5世紀代字 内摩耗激しい 43 28 34 上牌器 高杯 第1次 30区 G7 S14 数土 131 にぶい種色 a 1 5世紀市字 のミガキ、内ケズリ 43 29 35 第生土器 並 第1次 30区 G7 S14 数土 156 37 108 灰色 A II	43	24	295	土師器	小甕	第1次	30区	G7		1	137	117			にぶい橙色	b3	6世紀代	外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナ デ・ケズリ、外面部分的に煤付着
43 26 37 土締器 悪 第1次 30区 G7 SI4 覆土・ 180 橙色 a2 5世紀代? 内摩耗激しい 43 27 33 土締器 高杯 第1次 30区 G7 SI4 覆土・ 131 にぶい橙色 a1 5世紀代? 内容耗激化? 43 28 34 土締器 高杯 第1次 30区 G7 SI4 覆土・ 131 にぶい橙色 a1 5世紀代? 内容耗流中のますキーのますキーのますキーのますキーのますキーのますキーのますキーのますキー	43	25	36	土師器	甕	第1次	30区	G7		1	146				橙色	b 2	6世紀後半	外ヨコナデ、ハケメ、内ヨコナデ
43 27 33 土卵器 高杯 第1次 30区 G7 Sl4 層 目 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	43	26	37	土師器	甕	第1次	30区	G7		_	180				橙色	a 2	5世紀代?	内摩耗激しい
43 28 34 土神器 高朴 第1次 30以 G7 S4 数土 131 にぶい橙色 a1 5世紀刊半 のミガキ、内ケズリ 43 29 35 弥生土器 壺 第1次 30以 J8 SK1 数土下 RB 156 37 108 灰色 A Ⅲ	43	27	33	土師器	高杯	第1次	30区	G7	SI4						橙色	b 1	5世紀代?	
43 29 35 弥生土器 壺 第1次 30区 G7 S14 層 51 にぶい橙色 a3 弥生後期 外面煤付着	43	28	34	土師器	高杯	第1次	30区	G7	SI4				131		にぶい橙色	a 1	5世紀前半	外斜方向の細かいミガキ・横方向 のミガキ、内ケズリ
44 30 262 須恵器 杯B身 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層 156 37 108 灰色 A II 44 31 27 須恵器 杯A 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層 130 32 103 3 灰色 A N1 44 32 28 須恵器 長頸瓶 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層 130 32 103 3 灰色 A N1 44 32 28 須恵器 長頸瓶 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層 130 32 103 3 灰色 A III~NI 44 34 26 土師器 杯 第1次 30区 J8 SK1 覆土 109 赤橙色 b2 III~NI 原産・ 外内ロクロナデ、ハケ、内内・ 44 35 298 土師器 小甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 117 103 にぶい黄橙色 b3 III~NI 外カキメ・ケズリ、内カキメ・ケズリ、内カキメ・ウズリ、内カキメ・ラスナー・ 44 36 318 土師器 長川震 第1次 30区 J8 SK1 覆土 1176 にぶい黄橙色 b3 III~NI 外カス・ショコナ	43	29	35	弥生土器	壺	第1次	30区	G7	SI4				51		にぶい橙色	a 3	弥生後期	外面煤付着
44 31 27 須恵器 杯A 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層 130 32 103 3 灰色 A №1 44 32 28 須恵器 杯A 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層 130 32 103 3 灰色 A №1 44 33 25 須恵器 長頸瓶 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層層 KE	44	30	262	須恵器	杯B身	第1次	30区	J 8	SK1	覆土下	156	37	108		灰色	А	Ш	
44 32 28 須惠器 杯A 第1次 30区 J8 SK1 層 130 32 103 3 灰色 A IV1 44 33 25 須惠器 長頸瓶 第1次 30区 J8 SK1 覆土下	44	31	27	須恵器	杯A	第1次	30区	J 8	SK1		122	30	88	3	灰色	A	IV1	
44 33 25 須恵器 長頸服 第1次 30区 J8 SK1 層 灰色 A Ⅲ~N1? 44 34 26 土師器 杯 第1次 30区 J8 SK1 覆土 142 30 78 浅黄橙色 b2 Ⅲ~N 摩耗激く調整不明、両面赤 44 35 298 土師器 小甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 109 赤橙色 b3 N°? 外内口クロナデ、ハケ、内 44 36 318 土師器 小甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 117 103 にぶい黄橙色 b3 Ⅲ° 外カキメ・ヨコナデ、内カハケメ・ヨコナデ、内カハケメ・ヨコナデ、内カハケメ・ヨコナデ、内カバケメ・ヨコナデ、内カバケメ・ヨコナデ、内カイン・メ・ショコナデ、内カバケメ・ヨコナデ、内カイン・メ・ショコナデ、カロデ・カロデ、カロデ・カロデ、カロデ・カロデ・カロデ、カロデ・カロデ・カロデ、カロデ・カロデ・カロデ・カロデ・カロデ・カロデ・カロデ・カロデ・カロデ・カロデ・	44	32	28	須恵器	杯A	第1次	30区	J 8	SK1	層	130	32	103	3	灰色	А	IV1	
44 34 26 上脚器 外 第1(X) 30区 J8 SK1 層 142 30 78 (改責権色 b2 Ш~N 摩耗激く調整不明、両面亦 44 35 298 土師器 小甕 第1(X) 30区 J8 SK1 覆土 1109 赤橙色 b3 N? 外内ロクロナデ、ハケ、内 44 36 318 土師器 売 第1(X) 30区 J8 SK1 覆土 117 103 にぶい黄橙色 b3 Ⅲ~N 外カキメ・ラコナデ、内カ・ハケメ・ヨコナデ、内カ・ハケメ・ヨコナデ、内カ・ハケメ・ヨコナデ、内カ・ハケメ・ヨコナデ、内カ・アメ・カコナデ、内カ・アメ・カコナデ、内カ・アメ・カロ・カー・ア・カロ・カロ・カー・カロ・カー・カロ・カー・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・カロ・	44	33	25	須恵器	長頸瓶	第1次	30区	Ј8	SK1	層					灰色	А	I II ~ I V1?	
44 35 298 土師器 小甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 109 赤橙色 b3 N? 外内ロクロナデ、ハケ、内 44 36 318 土師器 小甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 117 103 にぶい黄橙色 b3 Ⅲ? 外カキメ・ケズリ、内カキ 44 37 24 土師器 甕? 第1次 30区 J8 SK1 覆土 176 にぶい黄橙色 b3 Ⅲ~N! 外カキメ・ヨコナデ、内カイハケメ・ヨコナデ、内カゲハケメ・ヨコナデ、内カゲハケメ・ヨコナデ、内カゲノ・ヨコナデ、内カゲノ・ヨコナデ、内カゲノ・カキメ 44 39 30 土師器 長胴甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 242 にぶい黄橙色 b3 Ⅲ~N! 外内ロクロナデ、内カキメ 44 40 309 土師器 鍋 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層 378 浅黄橙色 b3 II3? 外ナデ・ケズリ、内ナデ・外面原付着 45 41 19 須恵器 瓶 第1次 30区 E3 SK4 ② 橙褐色 b3 I1 外ハケ川野発ナデ、内ケズデ、外媒状のもの付着	44	34	26	土師器	杯	第1次	30区	J 8	SK1		142	30	78		浅黄橙色	b2	$III \sim IV$	摩耗激く調整不明、両面赤彩
44 37 24 土師器 甕? 第1次 30区 J8 SK1 覆土 176 にぶい黄橙色 b3 Ⅲ~N1? 外カキメ・ヨコナデ、内カハケメ・ヨコナデ、内カハケメ・ヨコナデ、内カゲメ・ヨコナデ、内カゲメ・ヨコナデ、内カゲメ・ヨコナデ、内カゲメ・ヨコナデ、内カゲメ・ヨコナデ、内カゲメ・ヨコナデ、内カゲメ・ヨコナデ、内カゲメ・コロナデ、内カキメ 44 38 29 土師器 長胴甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 下層 242 にぶい黄橙色 b3 Ⅲ~N 外内ロクロナデ、内カキメ 44 40 309 土師器 鍋 第1次 30区 J8 SK1 覆土下層 378 浅黄橙色 b3 Ⅲ3? 外ナデ・ケズリ、内ナデ・外面煤付着 45 41 19 須恵器 瓶 第1次 30区 F5 SK3 覆土 116 明灰色 X 113~Ⅲ? 外へか調整後ナデ、内ケズデ、、外煤状のもの付着 45 42 322 土師器 把手付護 第1次 30区 E3 SK4 ② 橙褐色 b3 11 外ハケ調整後ナデ、内ケズデ、、外煤状のもの付着			-							覆土								外内ロクロナデ、ハケ、内カキメ
44 38 29 土師器 長胴甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 下層 242 にぶい橙色 b3 Ⅲ~Ⅳ 外内ロクロナデ、内カキメ 44 39 30 土師器 長胴甕 第1次 30区 J8 SK1 覆土 下層 242 にぶい黄橙色 b3 Ⅲ~Ⅳ 外内ロクロナデ、内カキメ 44 40 309 土師器 第1次 30区 J8 SK1 覆土 下層 378 浅黄橙色 b3 Ⅲ3? 外ナデ・ケズリ、内ナデ・外面原標計画 45 41 19 須恵器 瓶 第1次 30区 F5 SK3 覆土 116 明灰色 X Ⅲ3~Ⅲ? 外内面自然釉 45 42 322 土師器 把手付護 第1次 30区 E3 SK4 ② 橙褐色 b3 11 外、ケア調整後ナデ、内ケズデ、、外媒状のもの付着												103						外カキメ・ヨコナデ、内カキメ・
44 49 30 土師器 長脚甕 第1次 30区 J8 SK1 層 242 にふい真他目 b3 川~Ⅳ 外内ロクロチア、内カギメ 44 40 309 土師器 鍋 第1次 30区 J8 SK1 選上下層 378 浅黄橙色 b3 川3? 外ナデ・ケズリ、内ナデ・ケズリ、内ナデ・ケズリ、内内原付着 45 41 19 須恵器 瓶 第1次 30区 F5 SK3 製土 116 明灰色 X 川3~Ⅲ? 外内面自然軸 45 42 322 土師器 把手付護 第1次 30区 E3 SK4 ② 橙褐色 b3 11 外ハケ調整後ナデ、内ケズデ、、外媒状のもの付着	44	38	29	土師器	長胴甕	第1次	30区	J 8	SK1	覆土	214				にぶい橙色	b3	III ~ IV	外内ロクロナデ、内カキメ
44 40 309 土脚器 鍋 第1次 30区 J8 SK1 層 378 浅黄橙色 b3 II3? 外面煤付着 45 41 19 須恵器 瓶 第1次 30区 F5 SK3 覆土 116 明灰色 X II3~II? 外内面自然軸 45 42 322 土師器 把手付號 第1次 30区 E3 SK4 ② 橙褐色 b3 I1 外ハケ調整後ナデ、内ケズデ、、外煤状のもの付着	44	39	30	土師器	長胴甕	第1次	30区	Ј8	SK1		242				にぶい黄橙色	b3	III ~ IV	外内ロクロナデ、内カキメ
45 42 322 土師器 把手付號 第1次 30区 E3 SK4 ② 橙褐色 b3 I1 外ハケ調整後ナデ、内ケズデ、外煤状のもの付着	44	40	309			第1次	30区		SK1		378					b3	II3?	外ナデ・ケズリ、内ナデ・ハケ、 外面煤付着
45 42 322 土脚器 把手付獲 第1次 30区 E3 SK4 ② 優褐色 b3 11 デ、、外煤状のもの付着	45	41	19	須恵器	瓶	第1次	30区	F5	SK3	覆土	116				明灰色	Х	II3~Ⅲ?	
46 43 20 須恵器 杯A 第1次 30区 L7 SK5 145 34 102 灰褐色 A Ⅲ?	45	42	322	土師器	把手付甕	第1次	30区	E3	SK4	2					橙褐色	b3	I 1	
	46	43	20	須恵器	杯A	第1次	30区	L7	SK5		145	34	102		灰褐色	А	Ⅲ?	

第4表 出土遺物観察表2

h	4 表	ا ٢	山上思	物観察	衣 2												
図番 番号	報告番号	実測	種別	器種	調査	大グ リッド	グリッド	遺構	層位	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	重焼き	色調	胎土 分類	時期	備考
借亏 46	銀写 44	316	土師器	杯	第1次	30区	L7	SK5	(1)	186	44	105	-5	赤橙色	万規 b2	Ⅲ?	外内赤彩、ミガキ
46	45	21	土師器	小甕	第1次	30区	L7	SK5	•	134	44	100		にぶい黄橙色	b3	Ⅲ?	摩耗のため調整は不明瞭
46	46	23	土師器	小甕	第1次	30区	L7	SK5		131				にぶい黄橙色	b3	Ⅲ?	外内ヨコナデ・カキメ
									mr I								Ⅲ外カキメ・ヨコナデ・タタキ、
46	47	22	土師器	鍋	第1次	30区	L7	SK5·6	覆土	388				にぶい橙色	b3	Ⅱ?	内ハケ・タタキ・ヨコナデ・ケズリ
46	48	13	須恵器	杯B蓋	第1次	30区	L7	SK6	覆土	165	33			暗灰色	В?	Ⅲ?	外ヨコナデ・ケズリ、内ヨコナデ
46	49	12	須恵器	杯B蓋	第1次	30区	L7	SK6	覆土上	162	32			淡灰色	А	Ш	外ヨコナデ・ケズリ、内ヨコナデ
40	43								層	102	32			极风已	А		The state of the s
46	50	255	須恵器	杯B身	第1次	30区	L7	SK6		141	41	90		灰白色	A	II3	外内ロクロナデ
46	51	314	土師器	杯	第1次	30区	L7	SK6		141				赤橙色	b1		外内とも赤彩、ミガキ、摩耗のた
																	めミガキ単位不明
46	52	313	土師器	杯	第1次	30区	L7	SK6		164	59			浅黄橙色	b 2	II3	外内ミガキ、外面ミガキ単位不明、
46	53	307	土師器	長胴甕	第1次	30区	L7	SK5·6		202				にぶい橙色	b3	II3期	外内面赤彩 外カキメ・タタキ、内ハケ
47	54	14	土師器	変	第1次	30区	L7	SK7		203				橙色	a 3	古墳時代	外ヨコナデ・ハケメ、内不明
47	55	15	須恵器	横瓶	第1次	30区	M5	SK10		119				暗灰色	A	II ?	内外自然釉、同心円B類
47	56	18	土師器	小甕	第1次	30区	J 5	SK12		135				淡橙褐色	b3	II2?	外内ロクロナデ・カキメ
																	外ヨコナデ・ケズリ、内ハケメ・
47	57	17	土師器	甕	第1次	30区	J 5	SK12		252				淡橙褐色	b 2	II2?	ヨコナデ、近江系
47	58	1	須恵器	高坏	第1次	29区	G20	SK14		225				灰色	А	IV	外ケズリ、内ヨコナデ
47	59	271	須恵器	杯B身	第1次	29区	G20	SK14		117	45	69		灰色	A	N1	外自然釉
47	60	2	土師器	長胴甕	第1次	29区	G20	SK14		238				浅黄橙色	b3	IV?	外内ナデ・ハケ
47	61	4	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	F19	SK15	1	142	28			灰色	A	W1?	外自然釉
47	62	3	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	F19	SK15	2	133			0	灰色	A	W1?	外自然釉
47	63	7	須恵器	杯B身	第1次	29区	F19	SK15		143	0.4	100	2	灰色	C ?	IV?	/1 r'- 44 Sh
47	64	5 11	須恵器 土師器	杯A 長胴甕?	第1次	29区	F 19 F 19	SK15 SK15		149	31	108		灰色 淡橙褐色	A	Ⅲ ?	外自然釉
47	65 66	6	土師器	長胴甕?	第1次	29区	F 19	SK15 SK15		218				淡恒梅巴 浅黄橙色	b3	IV?	
47	00	б	工即裔	長胴 纜	第1次	2912	F 19	2112	覆土上	218				(人)	D 3	p世 I - II	
47	67	8	土師器	小皿	第1次	29区	F 17	SK16	圏 圏	87	25	42		淡黄色	b 2	1?	底面糸切り
47	68	9	須恵器	杯A	第1次	29区	F 17	SK16	/11	124	31	79		淡灰色	В	V1	外自然釉
48	69	6	須恵器	杯B蓋	第2次	29区	E ·F11	SK18	覆土	160	35	10	2 b	灰色	A	V1	21 FI MOIH
48	70	7	須恵器	杯A	第2次	29区	E ·F11	SK18	覆土	120	32	267		灰オリーブ色	A	V2	
48	71	8	須恵器	杯A	第2次	29区	E •F11	SK18	覆土	126				灰色	D	V2~VI1	体外墨書
48	72	9	須恵器	盤A	第2次	29区	E •F11	SK18	覆土	143	25	175		くすむ灰色	D	VI 1	D地域の小型皿
48	73	10	土師器	小甕	第2次	29区	E •F11	SK18	覆土	120				褐色		VI1?	
48	74	1	須恵器	杯A	第2次	29区	F11	SK20	覆土	128				灰オリーブ色	В	VI1	
48	75	2	須恵器	盤A	第2次	29区	F 11	SK20	覆土	158	22	139		灰(緑)色	A	VI1	戸津30号前後
48	76	3	土師器	長甕	第2次	29区	F11	SK20	覆土	188				褐色	a 1	VI1	海綿少量
48	77	4	土師器	小甕	第2次	29区	F 11	SK20	覆土	115				橙色	a 1	VI 1	海綿少量
48	78	5	土師器	鍋	第2次	29区	F 11	SK20	覆土	344				褐色	?	VI1?	Hele's and
49	79	87	土師器	高坏	第1次	29区	E-17	下層P1	下層9	28	- 00	100	0	淡黄橙色	a1	弥生 20	外内ミガキ
49	80	74 80	須恵器 須恵器	無台盤高台杯	第1次	30区	L 10 K 8	P1 P6		148 178	23	100	3	灰色	B A·B	V2 II3期?	外面降灰 外面降灰
49	82	86	土師器	回口作 壺	第1次	不明	不明	P9		1/0				暗灰~灰色 淡黄橙色	b3	古墳前期	外ヨコナデ、内ヨコナデ・摩耗
									覆土上								Jraco J Crisca J J Arti
49	83	294	須恵器	杯A	第1次	30区	F5	P11	層	113	34	102		淡灰色	Α	IV2	
49	84	267	須恵器	杯B身	第1次	29区	D20	P 20	,,,,	129	44	89		灰白色	С	IV2古	
49	85	84	土師器	高坏	第1次	30区	G6	P21		171				明黄橙色	b 2	5世紀後?	外ヨコナデ、内ヨコナデ
49	86	78	須恵器	杯B身	第1次	30区	L6	P 25				92		明灰色	?	II 3	
49	87	83	土師器	甕	第1次	30区	L6	P26		228				淡橙色	b3	5世紀代?	外内ハケ後ナデ、内面赤彩?
49	88	73	須恵器	杯B身	第1次	30区	K5	P36				92	1	明灰色	В	Ⅲ?	
49	89	79	須恵器	杯A	第1次		M4	P37		136	23	96	3	明灰色	D?	IV1	外面降灰
49	90	321	土師器	高坏	第1次	30区	К3	P39		198				にぶい赤褐色	a1	古墳前期	内ミガキ、外摩耗の為調整不明
49	91	81	須恵器	杯B蓋	第1次	30区	K2	P40		120			0.5	灰色	D	V1	BA F
49	92	77	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	F18	P 62		134	70	00	2B	灰色	В?	IV2新	降灰
49	93	75 281	須恵器 須恵器	杯A	第1次	29区	F 18	P 62 P 66		130	72	88 78		淡灰色	В	V2 N1?	
49	94	76	須思器 須恵器	杯B身	第1次	_	F 18	P 69				10.6		灰色 明灰	A ?	IV1?	
49	95 96	82	須思裔 土師器	高台杯	第1次	29区	F 18	P 69		81	19	52			b 2	中世Ⅰ-Ⅲ	外内ロクロナデ
49		02			241(V					01		32			υZ		外ヨコナデ・カキメ・ケズリ、内
49	97	305	土師器	小甕	第1次	不明	不明	P87		133	121			にぶい褐色	b3	II3~Ⅲ?	ヨコナデ・ハケメ
							_									"	外ヨコナデ・カキメ・ハケメ、内
49	98	85	土師器	長胴甕	第1次	29区	F 19	PΑ		200				淡黄褐	b3	II3期?	ヨコナデ・ハケメ、外スス付着
49	99	308	土師器	長胴甕	第1次	29区	F19	PΑ		238				にぶい橙色	b3	II3?	近江系?
								P102				64-					
50	100	12	須恵器	杯A	第2次	29区	E 10	P108	覆土	120	38	317		灰 (緑)	С	V2	外底墨書
50	101	13	土製品	土錘	第2次	29区	G12	P110	覆土	65	38			浅黄橙	?	古代?	海綿少量、75.9 g
51	102	49	須恵器	杯身	第1次	30区	E1	SX3		114	52	97		明灰色	G	T K 23	ヘラ記号有り
51	103	66	土師器	椀	第1次	30区	E1	SX3						にぶい橙色	a 1	5世紀後半	
51	104	_	土師器	椀	第1次	30区	E1	SX3		127	43			橙色	a 2	5世紀後半	底面親指大の凹み
51	105	67	土師器	椀	第1次	30区	E1	SX3						淡黄橙色	b1	5世紀後半	外内面摩耗・もろい
51		_	土師器	椀	第1次	30区	E1	SX3						にぶい橙色	a1	5世紀後半	
51	107	63	土師器	椀	第1次	30区	E1	SX3		128	43	90		赤橙色	a1	5世紀後半	physical production in the control of the control o
51	108	64	土師器	椀	第1次	30区	E1	SX3		148	47	61		にぶい橙色	b3	5世紀後半	底部平行な圧痕がある、完形なる
																	も多少歪みあり
51	109	315	土師器	高杯	第1次	30区	E1	SX3		244	130	140		橙色	b1	5世紀後半	外摩耗の為調整不明、内摩耗の為
E4	110	60	土師器	甕	第1次	2017	E 1	SX3		166				冰苦斑在	?	5冊知線业	調整不明・ナデ
1 91	110	08	上岬稻	遺	知1仏	30区	15.1	SAS		100				淡黄橙色		5世紀後半	PIZ 12

第5表 出土遺物観察表3

第:			出土遺	彻觀祭	表 3												
図番 番号	報告 番号	実測	種別	器種	調査	大グ リッド	グリッド	遺構	層位	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	重焼き	色調	胎土 分類	時期	備考
51		297	土師器	獲	第1次	30区	E1	SX3	1	170				にぶい黄橙色	b3	5世紀後半	外ヨコナデ・細密なハケ (ハケ単 位約1mm輌約15条) 内ヨコナデ、 輪積み痕、粘土輌左上がり約1.8cm. 外面部分的に煤付着
51	112	303	土師器	甕	第1次	30区	E1	SX3	2	160				にぶい橙色	a2	5世紀後半	外ヨコナデ・ハケメ (単位約13条) 内ヨコナデ・ケズリ、約2cm幅の 右上がり粘土巻き上げ渡、内面口 緑部からの粘土、ケズリ始めの工 貝のあとがはっきり見える、外面 全体的に煤付着
51	113	299	土師器	甕	第1次	30区	E1	SX3	9	164	225			にぶい黄橙色	b3	5世紀後半	外ヨコナデ後ハケ(単位約2mm幅8 ~9条)内ヨコナデ・全体に左方 向のケズリ、外面全体に煤付着
51	114	50	須恵器	蓋	第1次	30区		SX3		181	0.5		2A	灰色	В	N2?	内縦方向のナデ、外面自然釉によ り黒灰色
51 51	115 116	48 51	須恵器 須恵器	杯A 杯A	第1次	30区	E1 E1	SX3 SX3		132 137	35 34	86 96	3	明灰色 明灰色	C A	IV2古 IV2新	
52	117	72	土師器	高坏	第1次	30区	E3	SX2		137	34	120	3	淡黄橙色	b1	5世紀代?	
52	118	71	弥生土器	甕	第1次	30区	E3	SX2		184		120		淡黄橙色	b3	弥生末	内面指圧痕、外面煤付着
52	119	69	土師器	甕	第1次	30区	E3	SX2		165				淡橙色	b 2	I1?	外ヨコナデ・ハケ、内ヨコナデ・
52	120	70	土師器	雞	第1次	30区	E3	SX2		216				淡橙色	b3	I1?	ケズリ 接合痕
52	121	56	土師器	高坏	第1次	30区	G5	SX4		210				淡黄橙色	b3	5世紀代?	タング 外ハケメ、内ケズリ
52	122	58	土師器	高坏	第1次	30区	G5	SX4						橙色	a 1	5世紀代?	
52	123	57	土師器	高坏	第1次	30区	G5	SX4						にぶい橙色	b1	5世紀代?	
52	124	53	土師器	高坏	第1次	30区	G5	SX4						橙色	a 1	5世紀代?	
52	125	52	土師器	甕	第1次	30区	G5	SX4		160				淡黄橙色	b3	5世紀代?	外ヨコナデ・ハケ、内ヨコナデ、 内面化粧土
52	126	59	土師器	雞	第1次	30区	G5	SX4		184				にぶい橙色	a 2	5世紀代?	外ヨコナデ、外面煤付着
52	127	55	土師器	甕	第1次	30区	G5	SX4		152				にぶい橙色	b2	5世紀代?	外ョコナデ、内ハケ?
52	128	60	土師器	雞	第1次	30区	G5	SX4		158				にぶい橙色	a 2	5世紀代?	外ハケ、内ヨコナデ
52	129	62	土師器	甕	第1次	30区	G5	SX4		172				明褐灰色	b2	5世紀代?	外内ヨコナデ、外面煤付着
52	130	54	土師器	甕	第1次	30区	G5	SX4						にぶい橙色	b3	5世紀代?	
52	131	61	土師器	甕	第1次	30区	G5	SX4		198				にぶい橙色	b2	5世紀代?	外内ヨコナデ、外面煤付着 外内摩耗の為調整不明、外面黒
52	132	301	土師器	甕	第1次	30区	G5	SX4		176				にぶい赤褐色	a 2	5世紀代?	斑・煤付着
52	133	10	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	E18	SD10	5.5.0	116				灰色	В	V1	外自然釉
53	134	251	須恵器	杯B身	第1次	30区	L10		包含層	156	53	99		灰色	C B	IV2 V2	
53 53	135 136	179 200	須恵器 須恵器	杯 A 無台盤	第1次	30区	L10 L10		包含層	129 153	29 22	80 117		灰色	A·B	V2 V2	
53	137	202	須恵器	無台盤	第1次	30区	L10		包含層	147	22	117	3	灰色	С	V	
53	138	91	内黒土器	椀	第1次	30区	L10		包含層	126	36	52	Ü	淡黄色	b1	V2	内ミガキ
53	139	185	須恵器	杯A	第1次	30区	L9		包含層	130	36	90	3	灰白色	В	V1	
53	140	155	土師器	長胴甕	第1次	30区	L9		包含層					にぶい黄橙色	b2	V?	外ヨコナデ・カキメ・タタキ、内 ケズリ・ヨコナデ・カキメ
3	141	246	須恵器	杯B身	第1次		K8·9		包含層			99		灰色	А	Ⅲ?	外内ロクロナデ
53	142	199	須恵器	杯A	第1次	30区	K8·9		包含層			84		灰白色	В	V2	
53	143	183	須恵器	無台盤	第1次	30区	K8·9		包含層	150	24	123	3	灰白色	В	V1	
53	144	_	須恵器	杯A	第1次	30区	J -8		包含層	115	33	68		灰白色	D?	V2	
53	145	127	弥生土器	壺	第1次	30区	J 6·7		包含層	159				浅黄橙色	b 2	弥生末	外内ヨコナデ
53	146	253	須恵器	盤B	第1次	30区	L·M5 ∼7		包含層	234	34	192		灰白色	А	V1	外内ロクロナデ
53	147	256	須恵器	杯B身	第1次	30区	J⋅K4 ~6		包含層	138	43	83		灰白色	А	Ⅲ?	外内ロクロナデ
53	148	117	土師器	杯	第1次	30区	J ⋅ K4 ~6		包含層	182	47	88		淡黄色	b 1	Ⅲ?	外ナデ、内ミガキ、外内面赤彩
53	149	148	土師器	小甕	第1次	30区	J ⋅ K4 ~6		包含層	97				にぶい橙色	b 2	II3~Ⅲ?	外ヨコナデ、内カキメ後ヨコナ デ?
53	150	147	土師器	甕	第1次	30区	J⋅K4 ~6		包含層	142				浅黄橙色	b 2	II3?	外カキメ後ヨコナデ・ハケ、内カ キメ後ヨコナデ・斜位のハケ
53	151	231	須恵器	杯B蓋	第1次	30区	J⋅K3 ~5		包含層	117	30			灰白色	A	IV2	外内ロクロナデ
53	152	284	須恵器	杯B身	第1次	30区	J⋅K3 ~5		包含層			51		灰色	D	V2?	外内ロクロナデ
53	153	156	須恵器	短頸壺	第1次	30区	J⋅K3 ~5		包含層	171				灰白色	В	Ⅲ?	外ロクロナデ・カキメ、内ロクロ ナデ
53	154	243	須恵器	杯G蓋	第1次	30区	L·M1 ∼6		包含層					灰色	Х	II 2	外内ロクロナデ・自然釉
53	155	240	須恵器	杯B蓋	第1次	30区	L·M1 ∼7		包含層	128				灰白色	В?	IV2	外内ロクロナデ・天上部ロクロケ ズリ
53	156	275	須恵器	杯B身	第1次	30区	L·M1 ∼6		包含層	108	39	70		灰色	А	W2古	外内ロクロナデ
53	157	264	須恵器	杯B身	第1次	30区	L·M1 ∼7		包含層	171	39	91		灰白色	D	II3?	外内ロクロナデ
53	158	265	須恵器	杯B身	第1次	30区	L·M1 ∼7		包含層	156	40	106		灰色	А	Ш	外内ロクロナデ
53	159	165	須恵器	杯A	第1次	30区	L·M1		包含層			83		灰赤色	A	W1?	墨書「大十」、焼成並、文字はあ
54	160	88	土師器	椀	第1次	30区	~6 G6		包含層	111				浅黄橙色	b2	古墳中期?	まりはっきりしない
U-T	100		TIRL ADDITION	1/6	711 IV	50/4			JIM	111				.~>~136	52	H-54/1/77/1	//////////////////////////////////////

第6表 出土遺物観察表4

~ 1 .	0 表		出土 連	124 1150 214	1												
図番 番号	報告番号	実測	種別	器種	調査	大グ リッド	グリッド	遺構	層位	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	重焼き	色調	胎土 分類	時期	備考
54	161	306	土師器	高杯	第1次	30区	G5		包含層	198	140	134	G,	浅黄橙色	b2	5世紀中葉	外内摩耗の為不明・ナデ
54	162	100	土師器	高坏	第1次	30区	G5		包含層	158				浅黄橙色	b1	5世紀中葉	外ナデ?ミガキ、内ミガキ
54	163	103	土師器	高坏	第1次	30区	F5		包含層	158				にぶい橙色	a1	古墳中期	外ナデ・ケズリ、内ナデ
54	164	105	土師器	高坏	第1次	30区	G5	Ш3	包含層					橙色	a1	古墳中期	外ミガキ・内一部ハケ・ナデ
54	165	106	土師器	高坏	第1次	30区	F6		包含層					橙色	a1	古墳中期	外ミガキ、内ケズリ・ナデ
54	166	104	土師器	高坏	第1次	30区	F5		包含層					浅黄橙色	a1	古墳中期	外ミガキ、内ミガキ・ナデ 外摩耗の為調整不明、内ナデ・指
54	167	89	土師器	小壺	第1次	30区	H5		包含層					橙色	a1	古墳中期	押さえ?
54	168	92	土師器	鉢?	第1次	30区	G5		包含層	90	62			橙色	a1	5世紀中葉	外ナデ・一部ハケ、内ナデ
54	169	151	土師器	雞	第1次	30区	F6		包含層	150				にぶい黄褐色	a 2	古墳中期?	外内摩耗激しく調整不明、2mm程
										130							度の砂粒目立つ
54	170	138	弥生土器	深鉢?	第1次	30区	G5.6		包含層					浅黄橙色	a 3	弥生前期	条痕文
54 54	171 172	97 109	弥生土器 土師器	深鉢?	第1次	30区	G5·6 F5		包含層	249				浅黄橙色 浅黄橙色	a3 b3	弥生前期 古墳後期	条痕文 外ナデ・ハケ、内ナデ
54	173	215	須恵器	杯B身	第1次	30区	G·H6		包含層	243		99		灰白色	B?	□項123m W1?	外内ロクロナデ
54	174	90	土師器	小皿	第1次	30区	Н8		包含層	90	21	48		淡黄色	b1	中世Ⅱ	内ナデ、底面糸切り、油煙、燈芯油痕
55	175	310	土師器	甕	第1次	30区	G4		包含層	146				橙色	a 2	古墳後期	外ナデ後ハケ、内ナデ・ハケ・ケ
33		310													a2	白填饭期	ズリ、繊維含む、外面煤付着
55	176	146	土師器	甕	第1次	30区	G4		包含層	140				橙色	a 2	古墳後期	外ハケ後ヨコナデ、外面一部煤付着
	177	294	-1- 066 BB	甕	第1岁	201⊴	C4		下層包	180				にぶい橙色	h 2	機械為田公/	外ヨコナデ・縦位のハケ・一部に
55	177	324	土師器	淮	第1次	30区	G4		含層	180				にかい恒巴	b3	関項後期計1	ルのパク、内ヨコナナ、 外面単位8~9条、煤付着
																	外タタキ (約3 幅の単位約10条)、
55	178	319	土師器	甕	第1次	30区	G4		包含層					にぶい褐色	b3	古墳後期	内ケズリ
55	179	280	須恵器	杯B身	第1次	30区	G4		包含層			84		灰白色	А	N2古?	外内ロクロナデ
55	180	182	須恵器	無台盤	第1次	30区	G4		包含層	168	24	120	3	灰色	А	IV2	
																	外ョコナデ・ハケ後ナデ・細いハ
55	181	304	土師器	壺	第1次	30区	G4~6		包含層	193	365			にぶい橙色	a 2	古墳前期?	ケ・横位のケズリ・ミガキか?内
55	182	163	須恵器	甕	第1次	30区	G3		包含層					灰白色	A	II3~Ⅲ?	ハケ・ケズリ・ナデ 外ロクロナデ・自然釉、内同心円文
33	102	105	須心前	武		30IA			包占層					灰口巴	A	115~Ш?	外ハケ・ヨコナデ、内ヨコナデ?
56	183	119	土師器	甕	第1次	30区	E·F3		包含層	188				にぶい橙色	b2	I1?	ケズリ?摩耗の為不明
	404	005	Lacon	who	Arra sta	0057	F0.4		5.4.0	400				1 - Vo. ++ 100 Ar	1.0	Y 140	外強いナデ・ナデ、内ケズリ、内
56	184	325	土師器	甕	第1次	30区	E3·4		包含層	192				にぶい黄橙色	b3	III?	面接合痕
56	185	96	内黒土器	椀	第1次	30区	E·F3		包含層	120	44	76		浅黄橙色	b2	I 1?	内ミガキ、内黒、外面接合痕
56	186	261	須恵器	杯B身	第1次	30区	F3·4		包含層			87		灰白色	В	N1?	外内ロクロナデ、外底火だすき
56	187	173	須恵器	杯B身	第1次	30区	E2·3		包含層			68		灰色	В	VI1	へラ記号 外内ロクロナデ、ヘラ記号有り、
56	188	283	須恵器	杯B身	第1次	30区	F · G2 · 3		包含層			63		灰色	В	IV2新?	転用硯
56	189	172	須恵器	杯B身	第1次	30区	E3		力会员					nr. Ar.	D	3.74	
_									包含層			75		灰色	l D	V1	ヘ フ記号
56	190	180	須恵器	杯A	第1次	30区	F · G2 · 3		包含層	120	32	80	3	灰白色	В	V1 V2	ヘラ記号
56 56	190 191	180 181	須恵器 須恵器	杯A 杯A	_	_			-	120 129	32 30		3				ヘフ記号
56 56	191 192	181 197	須恵器 須恵器	杯A 杯A	第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3		包含層 包含層 包含層			80		灰白色 灰色 灰白色	B B	V2 N2 N2	
56 56 56	191 192 193	181 197 170	須恵器 須恵器 須恵器	杯 A 杯 A 底部	第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3		包含層 包含層 包含層 包含層	129 132	30	80 87		灰白色 灰色 灰白色 灰色	B B B	V2 N2 N2 ?	ヘラ記号
56 56	191 192	181 197	須恵器 須恵器	杯A 杯A	第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3		包含層 包含層 包含層	129	30	80 87		灰白色 灰色 灰白色	B B	V2 N2 N2	ヘラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ
56 56 56	191 192 193	181 197 170	須恵器 須恵器 須恵器	杯 A 杯 A 底部	第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3		包含層 包含層 包含層 包含層	129 132	30	80 87		灰白色 灰色 灰白色 灰色	B B B	V2 N2 N2 ?	へラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、
56 56 56 56	191 192 193 194 195	181 197 170 149 99	須恵器 須恵器 須恵器 土師器 土師器	杯 A 杯 A 底部 甕 小甕	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F2·3 F·G2·3		包含層 包含層 包含層 包含層 包含層 包含層	129 132 211	30	80 87		灰白色 灰色 灰白色 灰色 にぶい黄橙色 浅黄橙色	B B B A b3	V2 N2 N2 ? II3~II?	ヘラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ
56 56 56	191 192 193 194	181 197 170 149	須恵器 須恵器 須恵器 土師器	杯A 杯A 底部 甕	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F2·3 F·G2·3		包含層 包含層 包含層 包含層	129 132 211	30	80 87		灰白色 灰色 灰白色 灰色 にぶい黄橙色	B B B A b3	V2 	へラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ
56 56 56 56 56	191 192 193 194 195	181 197 170 149 99	須恵器 須恵器 須恵器 土師器 土師器	杯A 杯A 底部 甕 小甕	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F·G2·3 E4		包含層 包含層 包含層 包含層 包含層 包含層 包含層	129 132 211	30	80 87		灰白色 灰色 灰白色 灰色 にぶい黄橙色 浅黄橙色 淡橙色	B B B A b3 b3	V2 N2 N2 ? II3~Ⅲ? II?	へラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最
56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196	181 197 170 149 99 13	須恵器 須恵惠器 須恵那器 土師器 土師器 土製品	杯A杯A杯A底部選小甕土錘土錘	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F·G2·3 E4 E4		包含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	129 132 211	30	80 87		灰白色 灰色 灰白色 灰色 にぶい黄橙色 浅黄橙色 浅黄橙色	B B B A b3 b3 e	V2 V2 V2 ? II3~Ⅲ? 古代	へラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10 g
56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197	181 197 170 149 99 13 12	須恵器須恵器須恵器土師器土即器土製品土製品土製品	杯A杯A杯A底部選小甕土錘土錘高坏	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 E3 F2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E4		包含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	129 132 211 134	30	80 87	3	灰白色 灰色 灰白色 灰色 にぶい黄橙色 浅黄橙色 浅黄橙色 淡黄色	B B B A b3 b3 e b3	V2 N2 N2 ? Ⅱ3~Ⅲ? 古代 古代	ヘラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最太幅2.90cm、最 太厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ
56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199	181 197 170 149 99 13 12 101 226	須恵器須恵器須恵器土師器土師器土製品土製品土製品土製品	杯A杯A杯A底部選小甕土錘土土土垂ボ杯B	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 F3 F2·3 F-G2·3 F-G2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2		包含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	129 132 211 134	30 30 30 43	80 87 87		灰白色 灰色 灰白色 灰色 にぶい黄橙色 浅黄橙色 淡橙色 浅黄 橙色 淡黄色 灰白色	B B B A b3 b3 e b3 A b3	V2 N2 N2 ? !II3~Ⅲ? II ? 古代 古代 弥生未? Ⅲ	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ
56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263	須恵器 須恵器 須恵器 土師器 土師器 土類品 土類品 土類品 土類器	杯A杯A杯A底部選小班土錘土錘高坏杯B茶B身	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 F2·3 F2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2		包含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	129 132 211 134	30	80 87	3	灰白色 灰色 灰白色 灰白 (たぶい 黄橙色 浅黄橙色 淡橙色 浅黄色 淡黄色 灰白色	B B B A b3 b3 e b3	V2 N2 N2 ? Ⅱ3~Ⅲ? 古代 古代	ヘラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最太幅2.90cm、最 太厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ
56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199	181 197 170 149 99 13 12 101 226	須恵器須恵器須恵器土師器土師器土製品土製品土製品土製品	杯A杯A杯A底部選小甕土錘土土土垂ボ杯B	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 F3 F2·3 F-G2·3 F-G2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2		包含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	129 132 211 134 178 111	30 30 30 43	80 87 87	3	灰白色 灰色 灰白色 灰色 にぶい黄橙色 浅黄橙色 淡橙色 浅黄 橙色 淡黄色 灰白色	B B B A b3 b3 e b3 c A A	V2 N2 N2 P2 ? II3~Ⅲ? 古代 古代 弥生末? Ⅲ	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193	須恵器 須恵惠器 土土師器 土土師器 土土製品 土製品 土製品 土土製品 土土製品 土土製品 土土製品 土土製品	 杯A 杯A 底部 甕 小菱 土錘 二高环 杯B 杯B 科B 身 杯B 身 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 F3 F3 F2·3 F-G2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-F2		包含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	129 132 211 134 178 111	30 30 30 43	80 87 87 69	3	灰白色 灰色 灰白色 灰色 にぶい黄橙色 浅黄橙色 淡 菱橙色 浅 黄橙色 淡 黄色 灰白白色 灰色	B B B A b3 b3 e b3 c A A D	V2 N2 N2 V2 ? Ⅲ3~Ⅲ? 苗代 古代 坊化	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168	須恵惠器 須恵惠器 土地師器 土地師器 土地 製 師恵恵恵 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	杯A杯A杯A底部選小班土錐土錐高K香格B身杯B身身杯B身杯A小片	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区 30区	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3		包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141	30 30 30 43	80 87 87 69	3	灰白色 灰色 灰白色 灰白色 灰色に 、	B B B A b3 b3 e b3 b2 A A D D B B B	V2 N2 N2 ? !II3~Ⅲ? 古代 古代 弥生末? Ⅲ V1 V1 V1 V1	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大解1.90cm、最 大厚1.85cm、最大幅1.90cm、最 外によりに、電き10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205	181 197 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216	須恵忠器 須恵恵器 土 土 製 開 器 土 土 製 開 器 土 土 製 開 器 東 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵	杯A杯A杯A底部選小選土錘高环杯B身杯B身杯B身杯B身杯A小片高杯	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 30 30 30 30 30 30 30	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E-P2 E-P2 E2·3 D·E2·3 D·E2·3		包含含含含含色色含含含含色色含含含含 包含含含含含 包含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111	30 30 30 43	80 87 87 69 78 88	3	灰白色 灰色 灰色 灰色 大変	B B B A b3 b3 e b3 b2 A D D B B B B B	V2 N2 N2 ? !II3~Ⅲ? 古代 古代 弥生末? Ⅲ V1 V1 V1	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ のラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220	須恵惠器 須須恵忠器 土 土 製 婦 師 思 土 土 製 婦 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵	 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯B 森野 林B 林B 林B 科B <li< td=""><td>第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次</td><td>30 30 30 30 30 30 30 30 </td><td>F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E-F2 E-2 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3</td><td></td><td>包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含</td><td>129 132 211 134 178 111 141</td><td>30 30 30 43</td><td>80 87 87 69</td><td>3</td><td>灰白色 灰色 灰色 大色 大き 大き</td><td>B B B A b3 b3 e b3 A A D B B B B B B B B B B B B</td><td>V2 N2 N2 ? !II3~Ⅲ? 古代 古代 弥生末? Ⅲ V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1</td><td>ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10 g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ 天上部ロクロナズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ</td></li<>	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 30 30 30 30 30 30 30	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E-F2 E-2 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3		包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141	30 30 30 43	80 87 87 69	3	灰白色 灰色 灰色 大色 大き	B B B A b3 b3 e b3 A A D B B B B B B B B B B B B	V2 N2 N2 ? !II3~Ⅲ? 古代 古代 弥生末? Ⅲ V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10 g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ 天上部ロクロナズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157	須恵器 須恵恵器 五土師器 土地師器 土地師器 土地師器 土地與品 土類品 土類品 土類品 土類品 土類品 大類品 東京東京 東京東京 東京東京 東京東京 東京東京 東京東京 東京東京 東京	杯 A	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 30 30 30 30 30 30 30	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E-F2 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 E2		包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141	30 30 30 43	80 87 87 69 78 88	3	灰白色 灰灰白色 灰色に送り 養色 浅 養 養色 浅 黄色 浅 黄色	B B B A b3 b3 c b3 b2 A A D D B B B B B D A	V2 N2 N2 P2 ? II3~Ⅲ? 古代 古代 坊性末? Ⅲ V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・ベラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162	須恵惠器 類類連患器 土地製品 土地製品 土地製品 土地製品 土地類品 地速速速速速速 基 類類連速速速 基 類類速速 速 速 要 題 題 題 題 題 題 題 題 題 題 題 題 題 題 題 題	 杯A 杯A 杯A K 概要 小選 土錐 土 高 基 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 E2 F·G2·3		包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141	30 30 30 43	80 87 87 69 78 88	3	灰色 灰色 灰灰灰灰 (こう) では、 大変を (1) では、 大変を (1	B B B A A b3 b3 e b3 A A D D B B B B B A D O O O O O O O O O O O O O O O O O O	V2 N2 N2 V2 ? II3~Ⅲ? 古代 古代 坊(弥生末? Ⅲ V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V2 V2 V2 V2 V3 V3 V4 V4 V4 V4 V4 V4 V4 V4 V4 V4 V4 V4 V4	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・ヘラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157	須恵器 須恵恵器 五土師器 土地師器 土地師器 土地師器 土地與品 土類品 土類品 土類品 土類品 土類品 大類品 東京東京 東京東京 東京東京 東京東京 東京東京 東京東京 東京東京 東京	杯 A	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 30 30 30 30 30 30 30	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E-F2 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 E2		包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141	30 30 30 43	80 87 87 69 78 88	3	灰白色 灰灰白色 灰色に送り 養色 浅 養 養色 浅 黄色 浅 黄色	B B B A b3 b3 c b3 b2 A A D D B B B B B D A	V2 N2 N2 P2 ? II3~Ⅲ? 古代 古代 坊性末? Ⅲ V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・ベラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 102	須恵惠器器 土地 製 調恵恵忠 器 土土 土類 須須恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵	杯A 杯A 底選 小 土 錐 土 高格B 身身 杯B 身身 杯B 小 片 高 瓶 整 一 一 一 一 高 形 不 一 一 后 形 在 一 后 五 一 后 五 一 后 五 一 后 五 一 后 五 五 一 后 五 五 五 五	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-F2 B-F2 B-F2 B-F2 B-F2 B-F2 B-F2 B-F2 B		包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141	30 30 30 43	80 87 87 69 78 88	3	灰色 灰色 灰灰 灰灰 灰灰 灰灰 大灰 大 変 大 変 大 変 大 変 大 変 大 変 変 変 変	B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B C D A D C D C C C C C C C C C C C C C C	V2 N2 N2 ? !II3~Ⅲ? 古代 古代 弥生末? Ⅲ V1 V1 V1 V1 V1 V1 V2 V2 V2 V3 V4 V4 V7 V7 V7 V7 V7 V7 V7 V7 V7 V7 V7 V7 V7	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、最大「いか か
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 102	須恵忠器器 東東京都器 土 土 製 製 師恵忠恵惠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠忠	杯A 杯A 底部 選 小甕 土錘 土錘 本格B身 杯B身身 杯B身身 杯B身 杯B 点高 瓶 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F2·3 F2·3 F·G2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-2 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D1 D1·2		包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 184 219	43 38	80 87 87 69 78 88	3	灰色色 灰色色 灰色 () () () () () () () () () (B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B D C A D D 7 a2 b3	V2 N2 N2 ? !II3~II? III? 古代 古代 弥生末? III N1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1 V1	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最大厚3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最大厚1.85cm、電き10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外中でクタキモ類、内同心円B類 外平行タタキモ類、内同心円B類 外内プデ 外ナデ、ハケ、内ナデ、ケズリ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 102 140 227	須 東	 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯B 発酵 株B 共務日 本格日 本日 <	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 F2·3 F4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-2 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D1 D1·2 E1		包含含含含含包含含含含含含包含含含含含含包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 219	43 38	80 87 87 69 78 88	3	灰白色 灰灰 () () () () () () () () () (B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A D D C D D D D D D D D D D D D D D D	V2 N2 N2 N2 ? !!!3~!!!? : 古代 古代 古代 弥生末? !!! N1 V V1 V1 V1 V1 V? N? V? Sydninginginginginginginginginginginginging	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大順1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10 g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・スト部ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外中でイタタキと類、内同心円 B類 外平行タタキ、内同心円 外内ナデ 外トア、ハケ、内ナデ、ケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 220 157 162 102 140 227 241	須恵惠器 須須須土 土 製 調	 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯B 発送 本B 共数 本B 身材 本B 身材 本B み場 売売 売売 売売 本B 業 本B 業 本B 素 本B 素 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-2 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D1-D1-2 E1 E1		包含含含含含包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包包	129 132 211 134 178 111 141 219 130 121	43 38	80 87 87 69 78 88	3	灰白色 灰灰灰灰 ()	B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B D A D 7 a2 b3 D B B B B D B B B B D B B B B D B B B B D B	V2 N2 N2 N2 ? !!!3~!!!? 古代 古代 古代	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最大月1.85cm、最大時1.85cm、最大時1.90cm、最大月1.85cm、最大中1.90cm、最大月1.85cm、東さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・スーニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 211 212	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 140 227 241 245 233	須須須土 土 土 土 土 類 須須須須 恵恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵	 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯B 発送 発送 本格 本格 基準 本格 基準 本格 基準 本格 基準 本格 基準 本格 基本 本格 基本 本格 基本 <li< td=""><td>第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次</td><td>30 X</td><td>F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E·F2 E-2 D·E2·3 D·E2</td><td></td><td>包含含含含含 含 仓 仓 含含含含含含含含含含 含 仓 仓 含含含含含含含含 含 仓 仓 仓 含含含含含含</td><td>129 132 211 134 178 111 141 184 219 130 121 125</td><td>30 30 30 43 38 22 22</td><td>80 87 87 69 78 88</td><td>2 a 2 a</td><td>灰原色 灰灰灰灰に 浅 黄 橙色 淡 淡 淡 淡 灰灰灰 の で が で が で が で が で が で で で で で で で で で</td><td>B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A D D ? a2 b3 D B A A A A A A A</td><td>V2 N2 N2 P2 P3 P4 P5 P5 P5 P6 P7 P7</td><td>ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大原1.85cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、最大幅1.90cm、最 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外中行タタキ上類、内同心円B類 外平行タタキ、内同心円 外内ナデ 外中フクロナデ 外中フクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部から体側 部ロクロケズリ</td></li<>	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E·F2 E-2 D·E2·3 D·E2		包含含含含含 含 仓 仓 含含含含含含含含含含 含 仓 仓 含含含含含含含含 含 仓 仓 仓 含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 184 219 130 121 125	30 30 30 43 38 22 22	80 87 87 69 78 88	2 a 2 a	灰原色 灰灰灰灰に 浅 黄 橙色 淡 淡 淡 淡 灰灰灰 の で が で が で が で が で が で で で で で で で で で	B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A D D ? a2 b3 D B A A A A A A A	V2 N2 N2 P2 P3 P4 P5 P5 P5 P6 P7	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大原1.85cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、最大幅1.90cm、最 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外中行タタキ上類、内同心円B類 外平行タタキ、内同心円 外内ナデ 外中フクロナデ 外中フクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部から体側 部ロクロケズリ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 207 208 209 210 211 212 213 214	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 102 241 241 243 233 225	須東惠器器 出土 世 製 調 師恵 忠恵 忠恵 郡 田 土 世 製 師 恵 忠 恵 忠 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵	 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯B 森野 森B <li< td=""><td>第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次</td><td>30 X</td><td>F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 B-2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 E1 E1 E1 E1 E1 E1 E-1</td><td></td><td>包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含</td><td>129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117</td><td>30 30 30 43 38 22 22 25 28</td><td>80 87 87 69 78 88</td><td>2 a 2 a 2 b</td><td>灰灰 (長) 大阪 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)</td><td>B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B D A D O D B B B A C C</td><td>V2 N2 N2 N2 ? !!!3~!!!? : 古代 古代 古代 弥生末? !!! N1 V V1 V1 V1 V? V? S古墳前期? 弥生末? V1 V1 V2新? V1 !!! !!! !! !! !! !! !! !! !! !! !! !!</td><td>ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、電方10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外中行タタキE類、内同心円B類 外平行タタキE類、内同心円B類 外平行タタキと、 内同心円 外内アデ・ハケ、内ナデ、ケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部から体側 部ロクロケズリ 天上部ロクロケズリ 天上部ロクロケズリ</td></li<>	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 B-2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 D·E2·3 E1 E1 E1 E1 E1 E1 E-1		包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117	30 30 30 43 38 22 22 25 28	80 87 87 69 78 88	2 a 2 a 2 b	灰灰 (長) 大阪 (大)	B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B D A D O D B B B A C C	V2 N2 N2 N2 ? !!!3~!!!? : 古代 古代 古代 弥生末? !!! N1 V V1 V1 V1 V? V? S古墳前期? 弥生末? V1 V1 V2新? V1 !!! !!! !! !! !! !! !! !! !! !! !! !!	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、電方10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外中行タタキE類、内同心円B類 外平行タタキE類、内同心円B類 外平行タタキと、 内同心円 外内アデ・ハケ、内ナデ、ケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部から体側 部ロクロケズリ 天上部ロクロケズリ 天上部ロクロケズリ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 140 227 241 245 233	須須須土 土 土 土 土 東	 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯B 発送 発送 本格 本格 基準 本格 基準 本格 基準 本格 基準 本格 基準 本格 基本 本格 基本 本格 基本 <li< td=""><td>第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次</td><td>30 X</td><td>F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E·F2 E-2 D·E2·3 D·E2</td><td></td><td>包含含含含含 含 包 包 包包包含含含含含含含 含 含 含含含含含含含含 含 包 包包包包包包</td><td>129 132 211 134 178 111 141 184 219 130 121 125</td><td>30 30 30 43 38 22 22</td><td>80 87 87 69 78 88</td><td>2 a 2 a</td><td>灰原色 灰灰灰灰に 浅 黄 橙色 淡 淡 淡 淡 灰灰灰 の で が で が で が で が で が で で で で で で で で で</td><td>B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A D D ? a2 b3 D B A A A A A A A</td><td>V2 N2 N2 P2 P3 P4 P5 P5 P5 P6 P7 P7</td><td>ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大原1.85cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、最大幅1.90cm、最 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外中行タタキ上類、内同心円B類 外平行タタキ、内同心円 外内ナデ 外中フクロナデ 外中フクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部から体側 部ロクロケズリ</td></li<>	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E·F2 E-2 D·E2·3 D·E2		包含含含含含 含 包 包 包包包含含含含含含含 含 含 含含含含含含含含 含 包 包包包包包包	129 132 211 134 178 111 141 184 219 130 121 125	30 30 30 43 38 22 22	80 87 87 69 78 88	2 a 2 a	灰原色 灰灰灰灰に 浅 黄 橙色 淡 淡 淡 淡 灰灰灰 の で が で が で が で が で が で で で で で で で で で	B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A D D ? a2 b3 D B A A A A A A A	V2 N2 N2 P2 P3 P4 P5 P5 P5 P6 P7	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大原1.85cm、最大幅1.90cm、最 大厚1.85cm、最大幅1.90cm、最 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外中行タタキ上類、内同心円B類 外平行タタキ、内同心円 外内ナデ 外中フクロナデ 外中フクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・天上部から体側 部ロクロケズリ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 207 208 209 210 211 212 213 214	181 197 170 149 99 13 101 226 263 193 290 167 168 216 220 140 227 241 245 233	須東惠器器 出土 世 製 調 師恵 忠恵 忠恵 郡 田 土 世 製 師 恵 忠 恵 忠 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵	 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯B 双速 土錐 土鉢 木路B身 杯B身 杯B身 杯B身 杯B内 不可能 不可	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-2 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D1 D1·2 E1 E1 E1 D-20 E-1 D-20		包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156	30 30 30 43 38 22 22 25 28	80 87 87 69 78 88	2 a 2 a 2 b	灰灰灰灰 (浅) 浅 浅 浅 淡 灰灰灰灰灰灰灰灰灰 浅 淡 淡 淡 淡 淡 淡 灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰	B B B B A A b3 b3 c c b3 b2 A A D D B B B B D A D C B C B B C B B C B B C B B C B B B C B B B C B B B B C B B B B C B	V2 N2 N2 P2 P2 P3 P3 P4 P4 P4 P4 P4 P4	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大m1.90cm、最 大厚1.85cm、電さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・ストニ部ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナア・天上部から体側 部ロクロケズリ 天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 220 157 162 220 227 241 245 233 225 229 234	須須須土 土 共 製 師恵恵恵恵恵恵恵恵 恵恵恵恵 恵 恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵	 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯A 杯B 発送 本B 身材をB 身材をB み以上 本格 の選び 本格 おとり おと	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30 X	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-F2 E-F2 E-F2 E-F2 E-F2		包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含 含 含 含含含含含含含含含 含	129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156 171	30 30 30 43 38 22 25 28 28	80 87 87 87 69 78 88	2 a 2 a 2 b	灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰	B B B B A A b3 b3 c c b3 b2 A A D D B B B D A D C B B B C B B B D C B B B D C B B B B	V2 N2 N2 N2 P2 P2 P3 P3 P3 P3 P3 P	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大所1.90cm、最 大厚1.85cm、重さ10 g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ 外内ロクロケズリ 外内ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 5	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 207 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 140 227 241 245 233 225 229 234 225 229 234 268 272	須東惠器器 出土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土	杯 A	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E·F2 E·F2 E E E E E E E E E E-		包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156 171 126	30 30 30 43 38 22 25 28 28 42 39	80 87 87 69 78 88 84	2 a 2 a 2 b	灰灰灰灰に 浅 淡 浅 淡灰灰灰灰 灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰 残 養 養 養 自自色 自色 が 養 養 養 自自色 自由	B B B A A B B B B B B B B B B B B B B B	V2 N2 N2 N2 P2 P3 II3~Ⅲ? II3~Ⅲ? 古代 古代 弥生末? Ⅲ N1 V1 V1 V1 V1 V1 V2 が2 が2 が2 が2 が2 が1 V1 V1 V1 V2 V1 V1 V1 V2	へラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最大長3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大幅1.90cm、最大厚1.85cm、電き10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ へラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外平行タタキと類、内同心円B類 外平行タタキと、内同心円 外アデ 外アデ、ハケ、内ナデ、ケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ・大上部から体側 部ロクロケズリ メトロクロナデ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 203 204 205 206 207 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 241 245 233 225 229 234 269 268 272 258	須須須土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土	 杯A 杯B 双題 杯B BB BB BB BB BB AFB BB BB AFB BB AFB BB AFB BB AFB AFB BB AFB <l< td=""><td>第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次</td><td>30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX</td><td>F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-2 D·E2·3 D·E2</td><td></td><td>包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含</td><td>129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156 171 126</td><td>30 30 30 43 38 22 25 28 28 42</td><td>80 87 87 69 78 88 84</td><td>2 a 2 a 2 b</td><td>灰灰灰灰に 浅 淡 浅 淡灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰 浅 黄 黄白白色 大灰灰灰灰 大灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰</td><td>B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A A D C B B B D A A A C B D D A</td><td> V2 N2 N2 P2 P2 P3 P3 P3 P3 P4 P4 P4 P4</td><td>ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大解1.90cm、最 大厚1.85cm、電き10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・大上部から体側 部ロクロケズリ 大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ</td></l<>	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-2 D·E2·3 D·E2		包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156 171 126	30 30 30 43 38 22 25 28 28 42	80 87 87 69 78 88 84	2 a 2 a 2 b	灰灰灰灰に 浅 淡 浅 淡灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰 浅 黄 黄白白色 大灰灰灰灰 大灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰	B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A A D C B B B D A A A C B D D A	V2 N2 N2 P2 P2 P3 P3 P3 P3 P4 P4 P4 P4	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大解1.90cm、最 大厚1.85cm、電き10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・大上部から体側 部ロクロケズリ 大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 102 241 245 227 241 245 229 234 269 268 272 272 272 272 272 278	須須須土 土 土 土 土 東 韓 師 忠 恵 忠 恵 忠 恵 忠 恵 忠 恵 忠 恵 忠 恵 忠 恵 忠 恵 忠	 杯 A 杯 B 母 母<td>第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次</td><td>30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX</td><td>F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-2 D·E2·3 D·E2</td><td></td><td>包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含</td><td>129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156 171 126</td><td>30 30 30 43 38 22 25 28 28 42 39 39</td><td>80 87 87 69 78 88 84 69 72 72 72 80 71</td><td>2 a 2 a 2 b</td><td>灰灰灰灰に 浅 淡 浅 淡灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰 浅 養 養 黄白白色白色 大灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰</td><td>B B B A A B B B B B B B B B B B B B B B</td><td>V2 N2 N2 N2 N2 N2 N2 N2 N</td><td>ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大「1.90cm、最大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ</td>	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 E-F2 E-2 D·E2·3 D·E2		包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156 171 126	30 30 30 43 38 22 25 28 28 42 39 39	80 87 87 69 78 88 84 69 72 72 72 80 71	2 a 2 a 2 b	灰灰灰灰に 浅 淡 浅 淡灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰 浅 養 養 黄白白色白色 大灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰	B B B A A B B B B B B B B B B B B B B B	V2 N2 N2 N2 N2 N2 N2 N2 N	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最大厚3.0cm、重さ20g 最大長5.55cm、最大「1.90cm、最大厚1.85cm、重さ10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ
56 56 56 56 56 56 56 56 56 56	191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 203 204 205 206 207 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221	181 197 170 149 99 13 12 101 226 263 193 290 167 168 216 220 157 162 214 245 227 241 245 229 233 299 268 272 299 288 272 288 272 288 272 288 272 288 272 288 272 288 272 288 272 288 272 273 274 274 275 275 275 275 275 275 275 275 275 275	須須須土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土 土	 杯A 杯B 双題 杯B BB BB BB BB BB AFB BB BB AFB BB AFB BB AFB BB AFB AFB BB AFB <l< td=""><td>第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次</td><td>30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX</td><td>F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D1 D1·2 E1 E1 D-20 D-E1 E1 D-E1 D-E1 D-E1 D-E1 D-E1 D-E1 D</td><td></td><td>包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含</td><td>129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156 171 126</td><td>30 30 30 43 38 22 25 28 28 42 39</td><td>80 87 87 69 78 88 84</td><td>2 a 2 a 2 b</td><td>灰灰灰灰に 浅 淡 浅 淡灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰 浅 黄 黄白白色 大灰灰灰灰 大灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰</td><td>B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A A D C B B B D A A A C B D D A</td><td> V2 N2 N2 P2 P2 P3 P3 P3 P3 P4 P4 P4 P4</td><td>ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大解1.90cm、最 大厚1.85cm、電き10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・大上部から体側 部ロクロケズリ 大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ</td></l<>	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX 30IX	F·G2·3 F2·3 E3 F2·3 E4 E4 E4 E4 E4 E-F2 E-F2 D-E2·3 D-E2·3 D-E2·3 D1 D1·2 E1 E1 D-20 D-E1 E1 D-E1 D-E1 D-E1 D-E1 D-E1 D-E1 D		包含含含含含 含 含 含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	129 132 211 134 178 111 141 219 130 121 125 117 175 156 171 126	30 30 30 43 38 22 25 28 28 42 39	80 87 87 69 78 88 84	2 a 2 a 2 b	灰灰灰灰に 浅 淡 浅 淡灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰 浅 黄 黄白白色 大灰灰灰灰 大灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰灰	B B B B A A b3 b3 c e b3 b2 A A D D B B B B D A A D C B B B D A A A C B D D A	V2 N2 N2 P2 P2 P3 P3 P3 P3 P4 P4 P4 P4	ペラ記号 外ロクロナデ・カキメ、内カキメ 外ナデ・剥離摩耗の為調整不明、 内ナデ・ハケ 最大長4.10cm、最大幅2.90cm、最 大厚3.0cm、重き20g 最大長5.55cm、最大解1.90cm、最 大厚1.85cm、電き10g 外ミガキ、内ナデ・ハケ 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ ペラ記号 墨書、文字不明 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ・大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ 外下のクロナデ 外下のクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ・大上部から体側 部ロクロケズリ 大上部ロクロケズリ 外内ロクロナデ

第7表 出土遺物観察表5

邪	/ 表	i	出土 遺	彻既杀	衣 3												
図番 番号	報告 番号	実測	種別	器種	調査	大グ リッド	グリッド	遺構	層位	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	重焼き	色調	胎土 分類	時期	備考
58	225	252	須恵器	杯B身	第1次	30区	E1		包含層	(IIIII)	(11111)	107	-	灰色	В	IV2古	外内ロクロナデ、内漆付着
58	226	164	須恵器	杯B身	第1次	30区	E1		包含層			76		灰色	В	IV	墨書「×」
58	227	194	須恵器	杯A	第1次	30区	E1		包含層	118	40	93	3	灰白色	A	W1?	
58	228	205	須恵器	杯A	第1次	30区	E1		包含層	123	30	87	3	灰白色	A B	V1	
58 58	229 230	189 174	須恵器 須恵器	杯A 杯A	第1次	30区	E1 E1		包含層	133	33	99	3	灰白色 灰褐色	B?	IV2新? IV	ヘラ記号、焼成良
58	231	192	須恵器	杯A	第1次	30区	D1		包含層	120	31	87	3	灰黄白色	В	IV2	1) IIC-17. 19619QDC
58	232	190	須恵器	杯A	第1次	29区	D20		包含層	115	33	65	3	灰色	D	IV2	
58	233	285	須恵器	杯B身	第1次	30区	E1		包含層			81		灰色	А	IV2古	外内ロクロナデ
58	234	217	須恵器	双耳瓶	第1次	30区	E1		包含層					灰白色	В	IV~V?	外内ロクロナデ、外自然釉
58	235	160	須恵器	- 選 長胴甕	第1次	30区	D1 D1·2		包含層	001				灰白色	A	II3?	外内ロクロナデ・自然釉
58 58	236 237	143 152	上師器	· 長朋選	第1次	30区	D1.2 D20		包含層	231 311				浅黄橙色 浅黄橙色	b3	IV?	外内ロクロナデ 外内ヨコナデ・カキメ
59	238	116	土師器	高坏	第1次	30区	F · G2 · 3		包含層	011				灰白色	b1	古墳後期?	外ミガキ、内ナデ、赤彩
59	239	131	弥生土器	甕	第1次	30区	G·H1		包含層	189				にぶい橙色	b 2	弥生後期	外内ヨコナデ、焼成不良、内面は 黒っぽい色を呈している
59	240	125	弥生土器	甕	第1次	30区	Н1		包含層					淡黄色	b3	弥生後期	外ョコナデ・ハケ、内ョコナデ・ ケズリ
59	241	130	弥生土器	甕	第1次	29区	G·H20		包含層	100				浅黄橙色	b2	弥生後期	外ヨコナデ、内ヨコナデ・ケズリ (方向不明)
59 59	242	237 238	須恵器 須恵器	杯B蓋 杯B蓋	第1次	30区	D·H1·2 G·H1		包含層	126 127				褐灰色 灰白色	D B	V1 V2	外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
59	244	232	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	G·H19 ·20		包含層	121				灰色	С	V1	外内ロクロナデ
59	245	242	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	G·H20		包含層	165				灰白色	А	Ⅲ?	外内ロクロナデ・天上部から体側 部ロクロケズリ、稜椀蓋?
59	246	239	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	G·H19 ·20		包含層	159				灰色	D	IV2	外内ロクロナデ
59	247	279	須恵器	杯B身	第1次	29区	G·H19		包含層	96	36	58		灰白色	В	IV2	外内ロクロナデ
59	248	286	須恵器	杯B身	第1次	30区	H ·I2 ·3		包含層			66		灰白色	А	IV2古?	外内ロクロナデ
59	249	276	須恵器	杯B身	第1次	29区	G·H19		包含層	127	42	78		灰色	D	V1?	外内ロクロナデ
59	250	177	須恵器	杯B身	第1次	29区	G·H18 ·19		包含層			8.8		灰色	В	?	墨書、「大」の下の部分か?
59	251	167	須恵器	杯A	第1次	29区	H20·1		包含層	100	0.0	70	0	灰色	A	IV2?	墨書「大」、文字はっきり
59 59	252 253	186 171	須恵器 須恵器	杯A 底部	第1次	29区	D20 G·H1		包含層	126	36	72	3	灰白色 灰色	D A	N2	ヘラ記号
59	254	188	須恵器	杯A	第1次	30区	G·H1		包含層	124	32	93		灰白色	В	V1	**ノ北方
59	255	249	須恵器	盤B	第1次	30区	G·H1		包含層	214	36	165		灰色	A	V1	外内ロクロナデ
59	256	219	須恵器	高杯	第1次	29区	H20		包含層					灰色	А	IV	外内ロクロナデ
59	257	207	須恵器	瓶	第1次	29区	I 20		包含層	94				灰白色	В?	II ~ III	外内ロクロナデ、内自然釉
59	258	210	須恵器	瓶	第1次	30区	G·H1		包含層			54		灰色	A	V?	外内ロクロナデ、外自然釉
59	259	218	須恵器	鉢	第1次	29区	G·H19 G·H18		包含層	276				灰色	В	IV2	外内ロクロナデ
59	260	222	須恵器 須恵器	瓶瓶	第1次	29区	~20 H20		包含層			93 57		灰白色	A C	IV V	外内ロクロナデ
59 59	261 262	123	祖忠帝 土師器	ля. Ш?	第1次	29区	G·H1·2		包含層			55		灰色にぶい褐	a1	中世I	外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
59	263	95	土師器	小甕?	第1次	29区	G·H18 ~20		包含層			70		浅黄橙色	b3	古代	外内面摩耗の為調整不明、底面糸切り
59	264	124	土師器	椀	第1次	30区	G·H1		包含層			61		灰黄色	b1	中世I	外内ロクロナデ、
59	265	110	土師器	甑?	第1次	29区	H20		包含層					浅黄橙色	b 2	古代	711111111111111111111111111111111111111
59	266	128	土師器	長胴甕	第1次	30区	G·H1·2		包含層	240				浅黄橙色	b 2	II ?	外ヨコナデ、内ヨコナデ・ハケ
60	267	178	須恵器	杯H身	第1次	30区	E · F 18 ·19		包含層	109	36		1	灰白色	А	I 1	
60	268	150	土師器	甕	第1次	29区	E · F 18		包含層	159				にぶい褐色	b2	I1?	外ヨコナデ?ハケ?内ヨコナデ・ ナデ、外面摩耗の為不明瞭
60	269	120	土師器	甑?	第1次	29区	D·E17 ·18		包含層					浅黄橙色	b2	古代	別 麻託の 为 廻 敷 ズ 印 ・ ・ ・ ・ ・ ・
60	270	118	土師器	長胴甕	第1次	29区	D·E 17 ·18 E·F 18		包含層	183				橙色	b3	古墳後期?	外摩耗の為調整不明、内ナデ・ハ ケ、外面剥離
60	271 272	144 230	土師器 須恵器	雅 杯B蓋	第1次	29区	·19 E 18·19		包含層	208 123			1	にぶい橙色 灰白色	b3 B	古墳後期 V1	外ハケ・ヨコナデ、内ヨコナデ 外内ロクロナデ
																	外内ロクロナデ・天上部ロクロケ
60	273 274	224	須恵器 須恵器	杯B蓋	第1次	29区	F 19 E 18·19		包含層	166 171	42		1	灰白色	D B	Ш	ズリ、補修痕跡あり 外内ロクロナデ・天上部ロクロケズリ
							D·E17										
60	275	244	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	·18 E·F18		包含層	165				灰白色	В	W1?	外内ロクロナデ
60	276	289	須恵器	杯B身	第1次	29区	·19 E·F18		包含層			67		灰白色	В	N2	外内ロクロナデ
60	277	260	須恵器	杯B身	第1次	29区	·19 D·E17		包含層	101	0.0	75		灰白色	A	IV2	外内ロクロナデ、内底磨耗強
60	278	282	須恵器	杯B身	第1次	29区	·18 E·F18		包含層	101	36	69		灰白色	В	IV2新?	外内ロクロナデ、ヘラ記号有り
60	279	270	須恵器	杯B身	第1次	29区	·19 E·F18		包含層	120	41	69		灰白色	В	IV2新?	外内ロクロナデ
60	280	277	須恵器	杯B身	第1次	29区	·19		包含層	122	40	78		灰色	A	IV2新?	外内ロクロナデ、外自然釉 外内ロクロナデ、外自然釉、内磨
60	281	254	須恵器	杯B身	第1次	29区	E 17		包含層	141	43	88		灰白色	D	Ш	耗強

第8表 出土遺物観察表6

~14	8 表	. 1	出土度	1/1 E/1/1	120												
図番 番号	報告	実測	種別	器種	調査	大グ リッド	グリッド	遺構	層位	口径	器高	底径	重焼	色調	胎土	時期	備考
番号	番号 282	226	須恵器	杯A	第1次	リット 29区	E17		包含層	(mm) 124	(mm) 32	(mm) 78	き	灰白色	分類 B	V1	外内ロクロナデ
60	283	223	須恵器	高杯	第1次	29区	E17·18		包含層	124	32	10		灰白色	A?	IV	外内ロクロナデ
60	284	214	須恵器	高杯	第1次	29区	E17·18		包含層			105		灰白色	В	IV?	外内ロクロナデ
	005	010	ASS why DID		000 a N/-	00E7	E · F 18		りる豆	1.47				医直体	,	N/O	
60	285	213	須恵器	甕	第1次	29区	·19		包含層	147				灰白色	A	IV?	
60	286	132	土師器	長胴甕	第1次	29区	E · F 18		包含層	193				淡黄色	b2	III ~ IV	外内ヨコナデ
							·19										
60	287	139	土師器	長胴甕	第1次	29区	E17		包含層	197				浅黄橙色	b2	III ~ IV	外内摩耗の為調整不明
60	288	121	土師器	長胴甕	第1次	29区	E 18·19		包含層	266				浅黄橙色	b2	Ⅲ?	外ヨコナデ・カキメ・タタキかナ デ?内ヨコナデ
61	289	107	土師器	高坏	第1次	29区	E17		包含層					浅黄橙色	a1	古墳中期	外ナデ後ミガキ?内ミガキ?
61	290	108	土師器	高坏	第1次	29区	E17		包含層					浅黄橙色	a1	古墳中期	外ミガキ、内ケズリ
61	291	142	弥生土器	甕	第1次	29区	E17		包含層					にぶい黄橙色	b2	弥生後期	外内ヨコナデ、外面煤付着
61	292	136	弥生土器	甕	第1次	29区	D·E16 ·17		包含層	135				にぶい黄橙色	a 3	弥生後期	外ヨコナデ・ナデ、内ヨコナデ・ 不明、外面煤付着
61	293	134	弥生土器	甕	第1次	29区	D·E16 ·17		包含層	124				にぶい黄橙色	b3	弥生後期	外ヨコナデ、内ヨコナデ・ケズリか?
61	294	137	弥生土器	甕	第1次	29区	D·E16 ·17		包含層	193				浅黄橙色	b3	弥生後期	ッ: 外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ・ ケズリ
61	295	141	弥生土器	甕	第1次	29区	D · E 16		包含層	166				灰黄褐色	b2	弥生後期	外内ヨコナデ
61	296	126	土師器	長胴甕	第1次	29区	·17 E·F16		包含層	163				にぶい黄橙色	b3	Ⅲ?	
61	297	135	弥生土器	甕	第1次	29区	·17		包含層	186				にぶい褐色	b3	弥生後期?	外ヨコナデ、内ヨコナデ後ハケ
		129	弥生土器				E17		下層包	171				横色	b2		か?ケズリ、外面煤付着 内ヨコナデ・ケズリ、外ヨコナデ、
61	298 299	129	弥生土器	甕	第1次	29区	D·E16		含層 包含層	1/1		25		橙巴 にぶい黄橙色	b2	弥生末 弥生末	外面煤付着 内ケズリ後ナデ上げ
61	300	111	土師器	小甕	第1次	29区	E · F 16		包含層	94				浅黄橙色	b2	I1?	外ナデ・ハケ、内ナデ
61	300	111	工師帝	小選	第1次	2912	·17		包含層	94				(人)	0.2	11?	外アナ・ハク、Mアナ
61	301	113	土師器	鍋?	第1次	29区	E16·17		包含層	309				浅黄橙色	b2	II2~3?	外内ナデ
61	302	112	土師器	鍋	第1次	29区	E · F 16 ·17		包含層	371				浅黄橙色	b3	II2~3?	外ナデ・ハケ?内ナデ
61	303	236	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	E · F 16 ·17		包含層	126				灰白色	В	IV2	外内ロクロナデ・天上部ロクロケ ズリ
61	304	235	須恵器	杯B蓋	第1次	29区	G16		包含層	165				灰白色	D	IV2	外内ロクロナデ・天上部ロクロケ ズリ
61	305	278	須恵器	杯B身	第1次	29区	E · F 15		包含層	106	34	70		暗灰色	А	IV2古?	外内ロクロナデ、内降灰多
61	306	274	須恵器	杯B身	第1次	29区	E15·16		包含層	108	41	67		灰白色	В	IV2	外内ロクロナデ
61	307	208	須恵器	杯B身	第1次	29区	E 15·16		包含層			114		灰白色	В?	IV1	外内ロクロナデ
							O ** . =										
61	308	250	須恵器	杯B身	第1次	29区	G·H15 ·16		包含層			105		灰色	В	IV1	外内ロクロナデ
61	308	250 259	須恵器 須恵器	杯B身 杯B身	第1次	29区 29区			包含層			105 75		灰色 淡灰褐色	В	N1 N2	外内ロクロナデ 赤彩?
							·16 E·F16			126	37						
61	309	259	須恵器	杯B身	第1次	29区	·16 E·F16 ~19 E·F16		包含層	126	37	75		淡灰褐色	С	IV2	
61	309	259 187	須恵器 須恵器	杯B身	第1次	29区	·16 E·F16 ~19 E·F16 ·17 E·F16		包含層	126	37	75	3	淡灰褐色灰色	C A	N2 N2古	赤彩?
61 61 61	309 310 311	259 187 211 198	須恵器 須恵器 須恵器	杯B身 杯A 杯B身	第1次 第1次	29区 29区 29区 29区	·16 E·F16 ~19 E·F16 ·17 E·F16 ·17 G·H15 ~17 D·E16		包含層包含層包含層			75 75	3	淡灰褐色 灰色 灰白色	C A A	Ⅳ2 Ⅳ2古 Ⅲ?	赤彩?
61 61 61	309 310 311 312	259 187 211 198	須恵器 須恵器 須恵器	杯B身 杯A 杯B身 無台盤	第1次 第1次 第1次	29区 29区 29区 29区	·16 E·F16 ~19 E·F16 ·17 E·F16 ·17 G·H15 ~17		包含層 包含層 包含層 包含層			75 75	3	淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色	C A A A	N2 N2古 Ⅲ?	赤彩? 外内ロクロナデ
61 61 61 61	309 310 311 312 313	259 187 211 198 166 196	須恵器 須恵器 須恵器 須恵器	杯 B 身 杯 A 杯 B 身 無 台 盤 小 片	第1次 第1次 第1次 第1次	29区 29区 29区 29区 29区	$ \begin{array}{c} \cdot 16 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \sim 19 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{G} \cdot \text{H} 15 \\ \sim 17 \\ \text{D} \cdot \text{E} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} 15 \cdot 16 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \end{array} $		包含層包含層包含層包含層包含層	158		75 75		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色	C A A A A	N2 N2古 Ⅲ? N2 2 7	赤彩? 外内ロクロナデ
61 61 61 61 61	309 310 311 312 313 314	259 187 211 198 166 196 159	須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器	杯B身杯A杯B身無台盤小片壺蓋	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29区 29区 29区 29区 29区 29区	116 E⋅F16 177 E⋅F16		包含層包含層包含層包含層包含層	158		75 75		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色	C A A A A A A A A	N2 N2古 Ⅲ? N2 N2 ?	赤彩? 外内ロクロナデ
61 61 61 61 61 61	309 310 311 312 313 314 315	259 187 211 198 166 196 159	須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器	杯B身 杯A 杯B身 無台盤 小片 壺蓋	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29区 29区 29区 29区 29区 29区 29区	$ \begin{array}{c} \cdot 16 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \sim 19 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{G} \cdot \text{H} 15 \\ \sim 17 \\ \text{D} \cdot \text{E} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{G} \cdot \text{H} 15 \\ \end{array} $		包含層包含層包含層包含層包含層包含層	158		75 75		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 褐灰色	A A A A A A X	N2 N2古 Ⅲ? N2 ? N2 ?	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明*
61 61 61 61 61 61 61	309 310 311 312 313 314 315 316	259 187 211 198 166 196 159 114	須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器	杯B身杯A杯B身無台盤小片壺蓋甕軽杯小皿	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29区 29区 29区 29区 29区 29区 29区 29区 29区	$ \begin{array}{c} \cdot 16 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \sim 19 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \sim 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{G} \cdot \text{H} 15 \\ \sim 17 \\ \text{D} \cdot \text{E} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{G} \cdot \text{H} 15 \\ \sim 17 \\ \end{array} $		包含層 包含層 包含層 包含層 包含層 包含層	158 69 181 104	20	75 75 120		淡灰褐色灰色灰白色灰白色灰白色核黄橙色浅黄橙色	C A A A A B A X b2 a2	N2 N2古 Ⅲ? N2 ? N2 ? ? III? P世 I —	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明' 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り
61 61 61 61 61 61	309 310 311 312 313 314 315	259 187 211 198 166 196 159	須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器	杯B身杯A杯B身無台盤小片壺蓋甕杯	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29区 29区 29区 29区 29区 29区 29区 29区	$ \begin{array}{c} \cdot 16 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \sim 19 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{G} \cdot \text{H} 15 \\ \sim 17 \\ \text{D} \cdot \text{E} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{E} \cdot \text{F} 16 \\ \cdot 17 \\ \text{G} \cdot \text{H} 15 \\ \end{array} $		包含層包含層包含層包含層包含層包含層包含層	158	20	75 75 120		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰色 灰白色 淡色	A A A B A X b 2	N2 N2古 III ? N2	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明" 内ミガキ、外内面赤彩
61 61 61 61 61 61 61 61 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317	259 187 211 198 166 196 159 114 93 273	須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 土師器 土師器	杯B身杯A杯B身無台盤小片壺蓋甕杯小皿杯B身	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 Z 30 Z 30 Z 30 Z 29 Z 30 Z 30	-16 E⋅F16 ~19 E⋅F16 ·17 G⋅H15 ~17 D⋅E16 ·17 E15⋅16 E⋅F16 ·17 E⋅F16 ·17 G⋅H15 ~17		 包含層 	158 69 181 104	20	75 75 120 54 72		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰色 灰白色 浅黄橙色 浅黄橙色	C A A A A B A X b2 a2 D	N2 N2古 Ⅲ? N2 ? N? ? Ⅲ? 中世I-	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明" 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り 外内ロクロナデ
61 61 61 61 61 61 61 61 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317	259 187 211 198 166 196 159 114 93 273 257	須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 土師器 土師器 土師器	杯B身杯A杯B身無台盤小片壺蓋甕杯小皿杯B身杯B身	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 × 29 × 29 × 29 × 29 × 29 × 29 × 29 ×	-16 E · F 16 ~19 E · F 16 ·17 E · F 16 ·17 G · H 15 ~17 D · E 16 ·17 E · F 16 ·17 E · F 16 ·17 G · H 15 ~17 I · J 2 J · K 1 · 2 J · K 1 · 2 J · K 1 · 2		包含層包含層包含層包含層層包含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	158 69 181 104	20	75 75 120 54 72		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 炭白色 炭白色 浅黄橙色 浅黄橙色 灰白色	C A A A A B A X b 2 a 2 D B	N2 N2古 Ⅲ? N2 ? N? ? H ? 中世 I — V1?	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明。 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320	259 187 211 198 166 196 159 114 93 273 257 221	須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 土師器 土師器 土師器 名惠器 須惠器	 杯B身 杯A 杯B身 無台盤 小片 壺蓋 甕 杯 小Ⅲ 杯B身 杯B身 高杯 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 Z 30 Z 30	1-16 E⋅F16 ~19 E⋅F16 ·17 G⋅H15 ~17 D⋅E16 ·17 E15⋅16 E⋅F16 ·17 E15⋅16 -17 G⋅H15 ~17		包含層包含層包含層層包含層層包含含層層包含層層層層層包含含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	158 69 181 104	20	75 75 120 54 72		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 淡黄橙色 浅黄橙色 淡黄色	C A A A A B A X b 2 a 2 D B C C	N2 N2古 III? N2	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明" 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320	259 187 211 198 166 196 159 114 93 273 257 221	須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 土師器 土師器 土師器 須惠器 須惠器	 杯B身 杯A 杯B身 無台盤 小片 壺蓋 甕 杯 小皿 杯B身 杯B身 高杯 甕 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 X 30 X 30	-16 E · F 16 ~19 E · F 16 ·17 G · H 15 ~17 D · E 16 ·17 E ! F 16 ·17 E · F 16 ·17 G · H 15 ~17 G · H 15 ~17 E · F 16 ·17 J · K 1 · 2 J · K 1 · 2 J · K 1 · 2 L · M 1 · 3 L · M 1 ·			158 69 181 104 108	20	75 75 120 54 72		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 淡黄橙色 浅黄橙色 灰色 灰色 灰白色	C A A A A B A X B B C C A	N2 N2古 III ? N2	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明* 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321	259 187 211 198 166 196 159 114 93 273 257 221 161	須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 土師器 土師器 土地師器 須惠器 九里器 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	 杯B身 杯A 杯B身 無台盤 小片 壺蓋 甕 杯 小Ⅲ 杯B身 杯B身 高杯 甕 杯 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 X 30 X 30	-16 E · F 16 ~19 E · F 16 ·17 G · H 15 ~17 D · E 16 ·17 E 15 · 16 E · F 16 ·17 G · H 15 ~17 G · H 15 ~17 J · K 1 · 2 J · K 1 · 2 J · K 1 · 2 L · M 1 · 2		 包含層 包含層 包含層 包含層 包含層層 包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	158 69 181 104 108	20	75 75 120 54 72 98		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 淡黄橙色 浅黄橙色 灰白色 灰色 灰白色 淡黄橙色 灰白色 灰色 灰白色 灰色 灰色	C A A A · B A X b2 a2 D B C A b1 b3	N2 N2古 III? N2古 III? P世 I — V1? N1 N P II3?	赤彩?
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323	259 187 211 198 166 196 159 114 93 257 221 161 115 98	須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 土師器 土師器 土師器 須惠器 土師器 九惠惠器 九惠惠器 土師器 九惠惠器 土師器 九惠惠器 九惠惠器 九惠惠器 九惠惠器 九惠惠器 九惠惠器 九五郎 九五郎 五五郎 五五郎 五五郎 五五郎 五五郎 五五郎 五五郎 五五郎	杯B身	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 X 30 X 30	116		 包含層 包含層 包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	158 69 181 104 108	20	75 75 120 54 72 98		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 淡黄橙色 浅黄橙色 灰白色 浅黄橙色 灰白色 浅黄橙色 灰白色 浅黄橙色 灰白色 淡黄橙色 灰白色 水の色 浅黄橙色 灰白色 水の色 大の白色 大の石 大の石 大の石 大の石 大の石 大の石 大の石 大の石	C A A A · B A X b2 a2 D B C A b1 b3	N2 N2古 Ⅲ? N2 ? N2 ? P世 I − V1? N1 N N? Ⅲ3? Ⅲ~N?	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明。 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクコナデ 外内ロクコナデ・縦位のハケ後
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62 62 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 320 321 322 323 324 325	259 187 211 198 166 196 159 114 93 273 257 221 161 115 98 153	須惠器 須惠器 須惠器 須惠惠器 須惠惠器 土師器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上	 杯B身 杯A 杯B身 無台盤 小片 壺蓋 甕 杯 小皿 杯B身 高杯 甕 杯 小型 長胴選 杯B身 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 X 30 X 29 X 29 X	-16		包含層 包含層 包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	158 69 181 104 108	20 21 37	75 75 120 54 72 98 46		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 淡黄橙色 浅黄橙色 灰白白色 浅黄橙色 灰色 浅黄橙色 灰色 浅黄橙色 灰色 浅黄橙色 灰色 浅黄橙色 灰色 浅黄色 大灰白 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白 大灰白色 大灰白 大灰 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘	C A A A · B A X b 2 B C C A b 1 b 3 B B	N2 N2古 III? N2古 ? N2 ? N7 ? III? 中世 I - V1? N1 N N ? II3? III~N?	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明。 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外大ア、内ミガキ、外内面赤彩 外ケズリ、内カキメ・ナデ 外ケズリ、内カキメ・一部に斜位の ハケの痕・縦位のハケ後ョコナデ 外内ロクロナデ、へう記号有り
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62 62 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326	259 187 211 198 166 159 114 93 273 257 221 161 115 98 153 266 175	須惠器 須惠器 須惠器 須惠惠器 須惠惠器 土師器 土頭惠惠器 土類惠惠器 土土師器 土土師器 土土師器 土土師器 土土師器	 杯B身 杯A 杯B身 無台盤 小片 壺蓋 要 杯 小川 杯B身 杯B身 杯B身 杯B身 杯B身 杯B身 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 X 30 X 30 X 30 X 30 X 30 X 30 X 29 X 30 X 30	-16 E · F 16 ~19 E · F 16 ·17 G · H 15 ~17 D · E 16 ·17 E · F 16 ·17 E · F 16 ·17 G · H 15 ~17 G · H 15 ~17 I · J 2 J · K 1 · 2 J · K 1 · 2 L · M 1 · 2 K 1 · M 1 · S K 1 · M		包含層層 包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	158 69 181 104 108	20 21 37	75 75 120 54 72 98		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰色 天色 大変色 浅黄橙色 浅黄橙色 大灰色 浅黄橙色 大灰色 大灰色 大灰色 大灰色 大灰色 大灰色 大灰色 大灰	C A A A B A X b2 a2 D B C A b1 b3	N2 N2古 Ⅲ? N2古 ? N2 ? N? ? Ⅲ? 中世 I - V1? N1 N N? Ⅲ3? Ⅲ~N? Ⅱ3? Ⅱ~N?	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明。 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内エクロナデ 外内エクロナデ 外内エクロナデ 外内エクロナデ 外方ズリ、内カキメ・ナデ 外ハケ後ョコナデ・縦位のハケ後 カキメ、内カキメ・一部に斜位の ハケの痕・縦位のハケ後ココナデ 外内ロクロナデ、ヘラ記号有り ヘラ記号
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62 62 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 320 321 322 323 324 325	259 187 211 198 166 196 159 114 93 273 257 221 161 115 98 153	須惠器 須惠器 須惠器 須惠惠器 須惠惠器 土師器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類惠惠器 土類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上類縣 上	 杯B身 杯A 杯B身 無台盤 小片 壺蓋 甕 杯 小皿 杯B身 高杯 甕 杯 小型 長胴選 杯B身 	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 X 30 X 29 X 29 X	-16		包含層 包含層 包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	158 69 181 104 108	20 21 37	75 75 120 54 72 98 46		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 淡黄橙色 浅黄橙色 灰白白色 浅黄橙色 灰色 浅黄橙色 灰色 浅黄橙色 灰色 浅黄橙色 灰色 浅黄橙色 灰色 浅黄色 大灰白 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白色 大灰白 大灰白色 大灰白 大灰 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘 大丘	C A A A B A X b2 a2 D B C A b1 b3 b3 B A A	N2 N2古 III? N2古 ? N2 ? N7 ? III? 中世 I - V1? N1 N N ? II3? III~N?	赤彩? 外内ロクロナデ 墨書、文字不明。 内ミガキ、外内面赤彩 外強いナデ、内ナデ、底面糸切り 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外内ロクロナデ 外大ア、内ミガキ、外内面赤彩 外ケズリ、内カキメ・ナデ 外ケズリ、内カキメ・一部に斜位の ハケの痕・縦位のハケ後ョコナデ 外内ロクロナデ、へう記号有り
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 329 321 322 323 324 325 326 327 328 329	259 187 211 198 166 159 114 93 273 257 221 161 115 98 153 266 175 288 204 94	須惠器 須惠器 須惠惠器 須惠惠器 須惠惠器 土 地師器 土 土 須須惠惠器 土 土 和 第 土 土 和 第	杯 B 身	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 X 30 X 29 X 20 X 20	·16 E·F16 ~19 E·F16 ·17 G·H15 ~17 E·F16 ·17 E·F16 ·17 E·F16 ·17 G·H15 ~17 G·H15 ~17 J·K1·2 J·K1·2 J·K1·2 L·M1·2 L·M1·3 L·M1·4 Allance L·M1·3 L·M1·4 Allance L·M1·4 L·M1·5 L·M1·5		包含層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層層	158 69 181 104 108 146 117 127 165	20 21 37 41	75 75 120 54 72 98 46 75 88 96		淡灰褐色 灰色 灰色 灰白色 灰色 灰色 灰色 灰色 大阪 佐色 大阪 佐色 大阪 佐色 大阪 佐色 大阪 大阪 佐色 大阪	C A A A B B B B b 2	N2 N2古 III ?	赤彩? 外内ロクロナデ
61 61 61 61 61 61 61 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62	309 310 311 312 313 314 315 316 317 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330	259 187 211 198 166 159 114 93 257 221 161 115 98 153 266 175 288 204	須惠器 須惠器 須惠惠器 須惠惠器 土類須惠惠器 土類須惠惠器 土類須惠惠器 土土類須惠惠器 土土師解器 土土師解器 土土種類 須惠惠器 土土種類 人工商品 人工商品 人工商品 人工商品 人工商品 人工商品 人工商品 人工商品	 杯B身 杯A 杯B身 無台盤 小片 壺 選 杯 小川 杯B身 杯B身 高杯 要 杯 更 杯 B身 杯 B身 杯 B身 杯 B身 杯 A B B<	第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次 第1次	29 X 30 X 29 X 20 X 20	·16		包含層層 图图图 包含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含含	158 69 181 104 108 146	20 21 37 41	75 75 120 54 72 98 46 75 88 96		淡灰褐色 灰色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 灰白色 天灰色 大灰色 大灰色 大灰色 大変 を 大変 を た を 大変 を た を た を た を た を た を た を た を た	C A A A B A B B B	N2 N2古 III? N2 ? N7 ? III? 中世 I ー V1? N1 N N? II3? II~N? II3? II3? N2 N2 N2 N2 N2 N7	赤彩?

第9表 出土遺物観察表7

步;	タ衣	i	工工退	彻既宗	衣 1												
図番 番号	報告番号	実測	種別	器種	調査	大グ リッド	グリッド	遺構	層位	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	重焼き	色調	胎土 分類	時期	備考
62	332	176	須恵器	杯B身	第1次	,,,	不明		包含層	()	()	81	_	灰色	D	V1	ヘラ記号有り
62	333	209	須恵器	瓶	第1次		不明		包含層			84		灰白色	В	III ~ IV	外内ロクロナデ
62	334	154	土師器	長胴甕	第1次	30区	L 10		包含層	204				にぶい橙色	b2	V?	外カキメ・ヨコナデ・タタキ・一部 にハケの痕、内ヨコナデ・タタキ
63	335	14	須恵器	杯B蓋	第2次	29区	6		包含層					青灰	А	Ⅲ?	断面セピア色
63	336	15	須恵器	杯B蓋	第2次	29区	15		包含層	174			?	灰	С	Ⅲ?	
63	337	16	須恵器	杯B蓋	第2次	29区	17		包含層	121			1	灰	А	IV2	
63	338	17	須恵器	杯B蓋	第2次	29区	8		包含層	118			2 a (b2)	暗青灰~黒 青灰	D	V	断面セピア色
			CC -to DD	1-17-111	A40 f								2 a				
63	339	18	須恵器	杯B蓋	第2次	29区	東		包含層	128			(b2)	淡青灰	А	V2	
63	340	19	須恵器	杯B蓋	第2次	29区	18		包含層	151			2 b	青灰	D	V2	
63	341	20	須恵器	杯B身	第2次	29区	7		包含層	152	48	316	(C1)	淡灰	В	II3	
63	342	21	須恵器	杯B身	第2次	29区	13		包含層	142	42	296	1	灰	A	Ш	
63	343	22	須恵器	杯B身	第2次	29区	8		包含層	172	43	25	1	淡青灰~灰	В、А	Ш	
63	344	23	須恵器	杯B身	第2次	29区	東		包含層	155	63	40.6		暗青灰	F	IV1	断面クリーム、口縁部欠
63	345	24 25	須恵器	杯B身 杯B身	第2次	29区	10		包含層	143 112	44	30.8	1	淡青灰	В	IV2 IV1	
63	346	26	須恵器 須恵器	杯B身	第2次 第2次	29区	東側		包含層	114	31 46	40.4	1	淡青灰	B B	IV 1 IV 2	外面火ダスキ
63	348	27	須恵器	杯B身	第2次	29区	10		包含層	108	37	34.3		淡灰~灰白	D	IV2	口縁部欠
63	349	28	須恵器	杯A	第2次	29区	西トレ		包含層	134	36	22.4		淡青灰色	В	Ш	内面降灰→重ね焼き最上段
63	350	29	須恵器	杯A	第2次	29区	15		包含層	130	28	17.3		灰色	В	IV1	外面火ダスキ
63	351	30	須恵器	杯A	第2次	29区	17		包含層	125	27	21.6	3	灰色 灰色	D	VI2	海綿骨針1ヶ
63	352 353	31	須恵器 須恵器	杯A 杯A	第2次 第2次	29区	9		包含層	122 116	29 32	25 27.6	3	灰くすむ(緑)	A A, B	V2 V2	外底墨書「荒?」
63	354	33	須恵器	杯A	第2次	29区	15		包含層	110	32	21.0		灰色	C?	V2 V2	外底墨書
63	355	34	須恵器	杯A	第2次	29区	南東		包含層					青灰色	В	?	外底墨書「无?」、内面はかなり
03	555	34	須芯伯	PrA.	992(A	2914	用米		包占層					月灰色	Ь	ŕ	磨耗してツルツル
63	356	35	須恵器	盤A	第2次	29区	9		包含層	138	23	167		灰色	А	N1	口縁部面とりタイプ、外底ロクロケズリ
63	357	36	須恵器	盤A	第2次	29区	13		包含層					青灰色	A, B	VI1	海綿骨針1ヶ
63	358	37	須恵器	稜椀	第2次	29区	西トレ		包含層					灰色	B, D	IV1	1494441 13 24 11 7
63	359	38	須恵器	ШB	第2次	29区	17		包含層			60		灰(クリーム)	А	VI2	底部糸切
63	360	39	土師器	椀Α	第2次		9		包含層					褐(淡)	В?	V	内面黒色、カクセン石
63	361	40	須恵器	長頸瓶	第2次	29区			包含層					灰(帯紫)色	A	Ш	
63	362 363	41	須恵器 須恵器	長頸瓶	第2次 第2次	29区			包含層					灰色 淡灰色	C B?	V	
64	364	43	須恵器	瓶	第2次	29区			包含層					青灰色	D.	V	
64	365	44	須恵器	双耳瓶	第2次	29区	北中央 トレ		包含層					淡青灰	В	V	
64	366	45	須恵器	双耳瓶	第2次	29区	1		包含層					灰青色	D	IV	
64	367	46	須恵器	短頸壺	第2次	29区			包含層	137				淡青灰	В	N?	
64	368	48	須恵器	短頸壺	第2次	29区			包含層					灰白	А	IV	
65	369	49	須恵器	横瓶	第2次	29区		65	包含層					淡青灰	В	II3	
65 65	370 371	47 52	須恵器 須恵器	短頸壺	第2次 第2次	29区			包含層	260				青灰 クリーム灰	B B	V?	同心円A? 外面に細かいカキメ
65	372	51	須恵器	選	第2次	29区			包含層	215				灰色	A	II3期?	同心円A?
65	373	50	須恵器	甕	第2次	29区			包含層					青灰褐	D	古代	同心円A?
65	374	53	須恵器	甕	第2次	29区			包含層					灰白色	А	古代	同心円B?
65		56	須恵器	大甕	第2次				包含層	460				淡灰色	A	II期	同心円B
65 65	376 377	55 54	須恵器 須恵器	大甕 大甕	第2次 第2次	29区			包含層					灰くすむ 暗灰~暗青灰	C		
66	378	5	須思裔 白磁	川	第1次		D20		包含層	107				明灰白色	Ü	15C	素地灰白、全体に施釉
66	379	8	陶器	壺	第1次		L·M1~7		包含層					灰白色		中世	内ヨコナデ、内面釉、外面灰釉
66	380	4	陶器	椀	第1次	30区	I 11		包含層	126				灰白色		中世	素地灰白、全体茶褐色に施釉
66	381	9	陶器	天日茶椀	第1次	29区	E · F 15		包含層					灰白色		中世	外内面にぶい赤褐釉
66	382	2	陶器	天目茶椀	第1次	29区	G·H15 ∼17		包含層			40		淡黄色		中世	素地淡黄、内底面は黒色の釉約1 mm厚さ、外底面及び外面は薄い茶 褐色の釉
66	383	6	陶器	Ш	第1次	30区	H10·11		包含層	156				灰白色		17C前	素地灰白、全体に施釉
66	384	3	陶器	Ш?	第1次	29区	G·H20		包含層			39		灰白色		18C以降	素地灰白、外内面施釉
66	385	10	陶器	描鉢	第1次	29区	G·H19		包含層					灰色		17C後	外内面にぶい赤褐釉
66 66	386 387	11 7	磁器	鉢	第1次 第1次	29区	I 11		包含層					灰白色 灰白色		19C?	外内面白乳色釉 焼成不良、全体に施釉
66	388	1	陶器	鉢?	第1次	29区	I -11		包含層			93		灰白色		19C ?	素地灰白、焼成良、内全体に釉
66	389	18	石製品	砥石	第1次		K2	P40						褐灰色			最大長19.2cm、最大幅10.9cm、最 大厚7.9cm、使用面、石の自然の丸
			and that		444									Marie			み、砂岩、重さ1.97kg
66	390	17	石製品	砥石	第1次	30区	D2		包含層					淡褐灰色			砂岩、粗砥石、重さ2.2kg
66	391	15	石製品	砥石	第1次	30区	G5		包含層					黄橙色			最大長 (4.95)cm、最大幅 (2.5)cm、 凝灰岩、重さ22 g
66	392	16	石製品	砥石	第1次	29区	J⋅K18 ~20		包含層					浅黄色			最大長11.5cm、最大幅3.9cm、最大 厚3cm、重さ228 g
66	393	14	石製品	砥石	第1次	29区	E 17		包含層					緑灰色			最大長 (7.8)cm、最大幅 (5.75)cm、 重さ116g、黒色物付着、凝灰岩

第4節 小 結

今回報告した木津遺跡は、もともと末松遺跡として発掘調査が行われたものであり、29区より北側部分に関してはトレンチ調査が行われているが、遺構は確認されていないようである。遺跡が連続していないことが確認され、木津遺跡が設定された。そのとき別遺跡となった末松A遺跡とは300mほど離れている。おそらく鞍部を挟んでいるものと考えられ、手取川扇状地にみられる島状微高地(小嶋ほか1991)では、安養寺遺跡と同じ微高地上にあると考えられる。

本遺跡の消長を遺物・遺構からみると次のようにまとめることができる。弥生時代前期の遺物が少 量ながら認められることから、大規模とはいえないまでも周辺に集落が営まれた可能性が指摘できる。 その後、弥生時代後期~末の遺物が一定量みられることから、集落が形成されたと考えられる。建物 跡になるような遺構は、下層トレンチ内で検出されたピット群しかないが判然としない。おそらく大 規模な集落に発展したとは考えられず、また継続されることもないようである。古墳時代中期になっ て遺物の出土量は大きく増加し、再び集落が形成される。この期になって初めて本遺跡で竪穴建物が みられるようになる。それ以前と比してはっきりとした遺構がみられるようになる。しかしこの集落 もおそらく継続されず、I1期になって再度集落が形成される。この集落も単発的なもののようで、 II3期になってようやく集落が安定しW2期頃まで継続する。I1期は竪穴建物を主体として遺構が 確認されているが、II3期以降掘立柱建物もみられるようになる。掘立柱建物の個別の時期について は判然としないものが多いが、SB1・6としたものを除けば南北棟であり、またその建物の主軸方位 は、ほぼ北から西に約15°前後振っていることからほぼ同じ時期と考えられる。包含層や周辺の遺構 等からの出土遺物を参考にその時期を考えると、Ⅴ~Ⅵ期頃の建物と考えることもできる。しかし、 それらの建物はすべて総柱であり、この期ではまだ倉庫的な機能を担っている(川畑1995b)と考え られている段階でもあり、M期に下がる可能性もある。また、それらの建物周辺にみられる小溝群は 畠の畝溝群と考えられ、それぞれに付属しているものであろう。SB1・6についてはSI1・2に伴う ものである可能性もあり、II3~Ⅲ期と推測する。また、これらの建物の周辺のピット群は、掘立柱 建物の柱穴と考えられるものであり、Ⅳ期以降のものである可能性がある。弥生時代後期~Ⅰ1期ま では、散発的に集落が形成されるようで、なかなか安定しない状況があったと考えられる。

本遺跡で得られた成果を周辺の遺跡の動向を含めて若干考えてみると、以前、川畑誠氏がまとめられた(川畑1995a)手取川扇状地の集落遺跡の動向とよく一致していることがわかる。第1の画期は7世紀末葉頃に集落が顕在化することをあげられているが、本遺跡でも安定的に集落が形成されるのはこの頃と考えられる。第2の画期とされる8世紀中頃については、掘立柱建物は良くわからないが、包含層から出土する遺物を含めてその出土量が多くなることから、集落の隆盛期を迎えると考えられる。第3の画期とされる9世紀中葉は、扇央部下半で集落遺跡が一斉に衰退、消滅する過程とされる。本遺跡でも総柱の掘立柱建物の時期によるが、消滅する段階と考えられる。第4の画期とされる10世紀前半~中頃は、扇央部一帯で集落遺跡数が減少過程に入ると考えられている。第3の画期にあたるとした掘立柱建物がこの時期にあたるかもしれないが、この画期以降同じ微高地上にあたると考えている安養寺遺跡群に集落が移っている可能性もある。

また手取川扇状地を中心に研究されたものに横山貴広氏の論考(横山2003)があるが、その中で末 松廃寺が建立される背景について、上林新庄遺跡群で検出された横穴式石室を採用した新興勢力等周 辺の先行する在地領主層を取り込んで、人心を掌握する手段として末松廃寺を建立したのではないか と考えられている。横穴石室をもつ上林古墳が造られた7世紀前半に本遺跡でも一旦集落が形成されることは、新興開発領主層の存在を示すものと考えられる。継続せず単発で終わってしまうことは、手取川の氾濫等の自然条件があったと仮定しても、その勢力も極めて不安定なものであったと考えられる。7世紀後半以降安定的な勢力による支配が行われたと思われるが、それがどのクラスによるものか、またどのような体制であったのかについては、末松廃寺の建立等の問題を含めて考える必要があるだろう。その手がかりとなるのが、II2・II3期といった7世紀後半から8世紀初頭に見られる近江型や丹波型の煮炊具を始めとした外来系の人々の痕跡である。在地の人々を駆逐したのか、それとも吸収、ないしは融合したのかは重要な課題である。

鶴来バイパス関連の発掘調査はそのほか末松A遺跡や清金アガトウ遺跡などが行われており、また 周辺では農村活性化住環境整備事業等が行われ、その成果が明らかとなっている(本田・安2000)。 それらの成果を合わせることにより、手取川扇状地における集落の動向がさらに明らかとなることを 期待する。

引用・参考文献

大西 顕 2002 「観法寺須恵器窯跡」『宇ノ気町指江遺跡・指江B遺跡』財団法人石川県埋蔵文化財センター、278-281

川畑 誠 1995a 「柴木 D遺跡の調査」『鶴来北部遺跡群調査報告 II - 県営圃場整備事業鶴来地区埋蔵文化財発掘報告2 - 』 石川県立埋蔵文化財センター、5-8

1995b 「石川県内の古代建物に関する基礎的考察 - 掘立柱建物の平面プランを中心にして - 」『社団法人 石川県 埋蔵文化財保存協会年報6』社団法人石川県埋蔵文化財保存協会、62-103

北野博司 1987 「出土土器の観察」『篠原遺跡』石川県立埋蔵文化財センター、78-82

小嶋芳孝ほか 1991 『粟田遺跡発掘調査報告書』社団法人石川県埋蔵文化財保存協会

財団法人北陸建設弘済会金沢支所 1991 『道路事業のあゆみ』建設省北陸地方建設局金沢工事事務所

田嶋明人 1988 「古代土器編年軸の設定」『シンポジウム 北陸の古代土器研究の現状と課題 報告編』石川考古学研究 会・北陸古代土器研究会

出越茂和 1989 「金沢における八~十世紀の食膳土器」『金沢市末窯跡群』158-183

北陸古代土器研究会 1988 『シンポジウム 北陸の古代土器研究の現状と課題 資料編』石川考古学研究会・北陸古代土器 研究会

本田秀生・安英樹ほか 2000 『野々市町末松遺跡群』財団法人石川県埋蔵文化財センター

望月精司 1991 『戸津古窯跡群 I 』石川県小松市教育委員会

2002 『二ツ梨一貫山窯跡』石川県小松市教育委員会

横山貴広 2003 「扇状地における新興開発領主層の台頭とその後の展開 - 古代 (6世紀末〜9世紀中頃) 手取川扇状地を中心として - 」『蜃気楼 - 秋山進午先生古稀記念―』富山大学考古学研究室論集 秋山新午先生古稀記念論集刊行会・六一書房、319-338

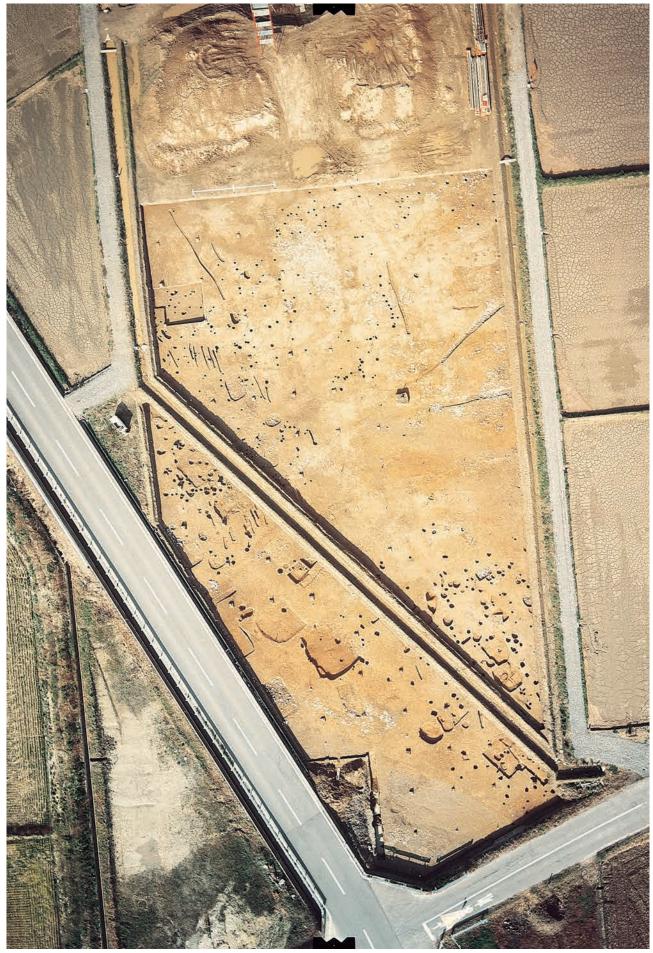
木田 清 1996 「胎土から見た須恵器の流通と食器組成」『東大寺領横江庄 II』 石川県松任市教育委員会、241-251



遺跡近景(南西から)



遺跡近景(北から)



1984年度調査区全景(上空から)

SI1·2 図版 3



SI1,SI2完掘状況(南東から)



SI1,SI2完掘状況(北西から)

図版 4 SI3



SI3遺物出土状況(南東から)



SI3完掘状況(北西から)



SI3遺物出土状況近景



SI3遺物出土状況近景



SI3遺物出土状況近景



SI3,P3遺物出土状況



SI3上面遺物出土状況近景



SI3上面遺物出土状況近景



SI3上面遺物出土状況近景



SI3遺物出土状況近景

図版 6 SI4·5



SI4完掘状況(南東から)



SI5完掘状況(北西から)

SX1~3 図版 7







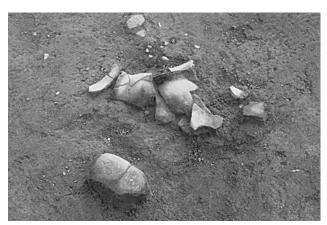
SX2完掘状況(南東から)



SX3遺物出土状況(南東から)



SX3遺物出土状況近景



SX3遺物出土状況近景

図版 8 SX 3 遺物出土状況 1



SX3遺物出土状況近景



SX3遺物出土状況近景

SX3・SX4 遺物出土状況 図版 9



SX3遺物出土状況近景



SX4遺物出土状況(北西から)

図版 10 SB1

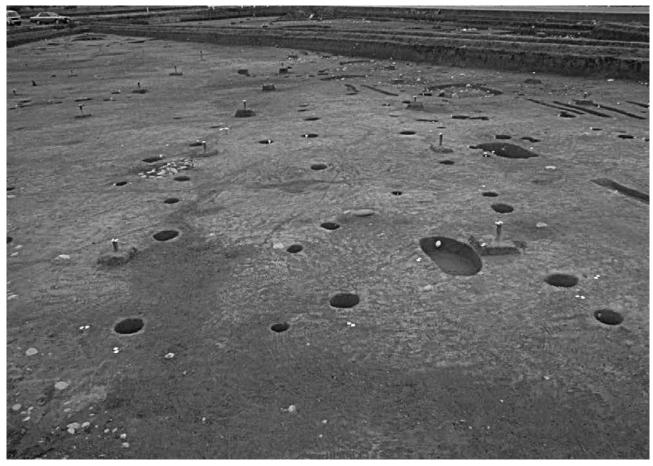


SB1 完掘状況(北西から)



SB1 完掘状況(南西から)

SB 2 図版 11



SB2完掘状況(北から)



SB2完掘状況(東から)

図版 12 SB 3



SB3完掘状況(西から)



SB3完掘状況(北から)

SB 4 図版 13



SB4完掘状況(西から)



SB4完掘状況(北から)

図版 14 SB 5

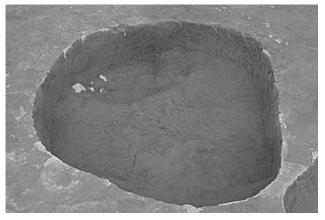


SB5完掘状況(東から)



SB5完掘状況(北から)

SK1 · 2, 4 ~ 6 図版 15



SK1完掘状況(東から)



SK1,SK2完掘状況(北東から)



SK4遺物出土状況(北西から)



SK5遺物出土状況(西から)



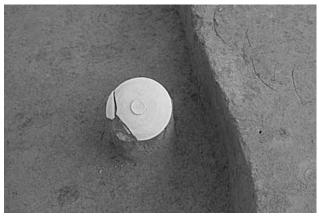
SK5遺物出土状況近景



SK6遺物出土状況(北西から)



SK6遺物出土状況近景

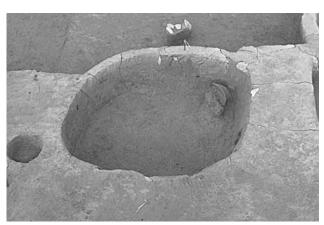


SK6遺物出土状況近景

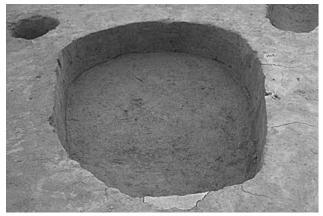
図版 16 SK 5 ~ 8,11·12



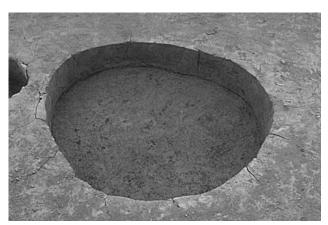
SK5,SK6完掘状況(北西から)



SK7完掘状況(南西から)



SK8完掘状況(北東から)



SK11完掘状況(北東から)



SK12完掘状況(南東から)

SK14 図版 17

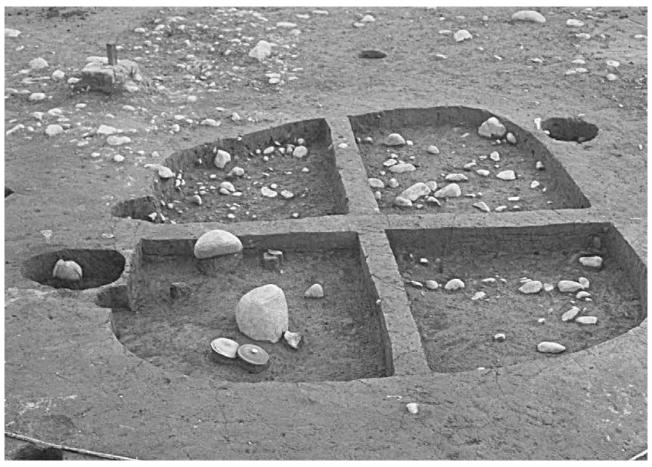


SK14遺物出土状況(北東から)

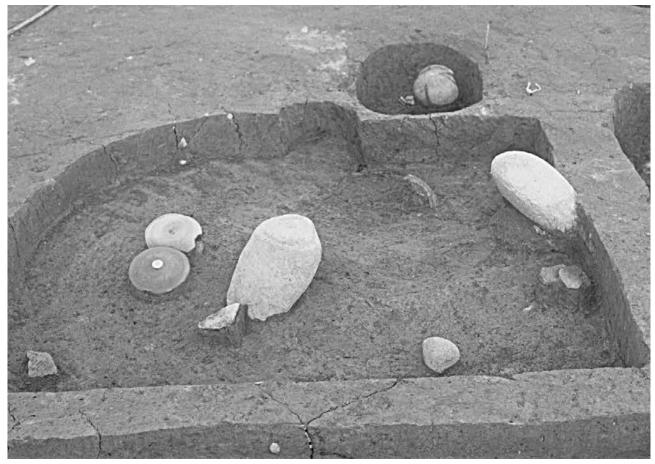


SK14遺物出土状況(南東から)

図版 18 SK15



SK15遺物出土状況(北から)



SK15遺物出土状況近景

SK15·16·18·19 図版 19



SK15遺物出土状況近景



SK16完掘状況(北東から)



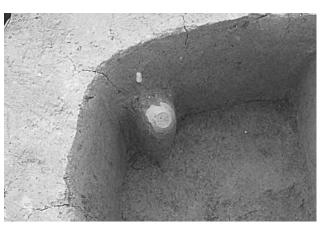
SK15立石間の焼土



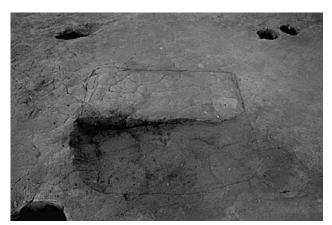
SK16土層断面(北西から)



SK16完掘状況(北西から)



SK16遺物出土状況近景



SK19土層断面(南から)

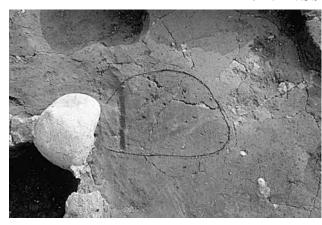


SK18土層断面(南から)

図版 20 SK18~20ほか



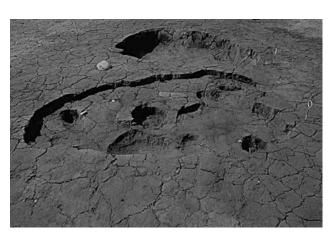
SK18完掘状況(北から)



SK20内焼土検出状況 (東から)



SK20遺物出土状況(北西から)



SK20完掘状況(南東から)



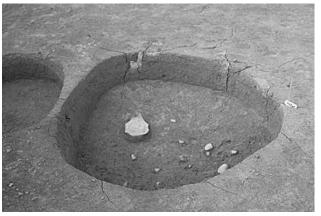
方形土抗土層断面(北東から)



下層トレンチ完掘状況 (東から)



P87遺物出土状況 (北から)



P36遺物出土状況 (北から)

遺物出土状況ほか 図版 21



包含層出土遺物



包含層出土遺物



作業風景



作業風景

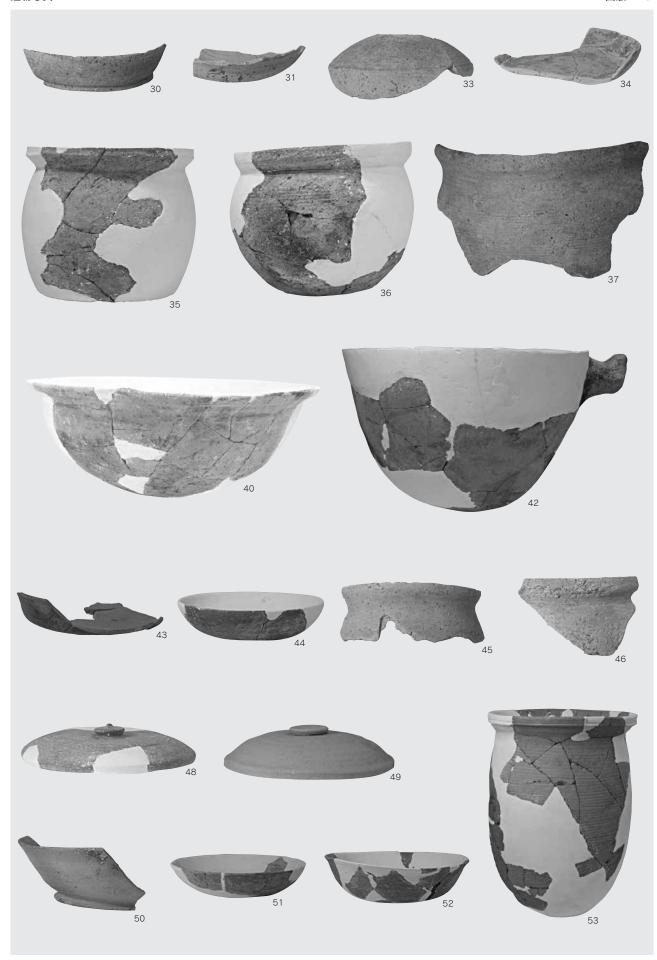


第1次調査区完掘状況(北から)

図版 22 遺物写真 1

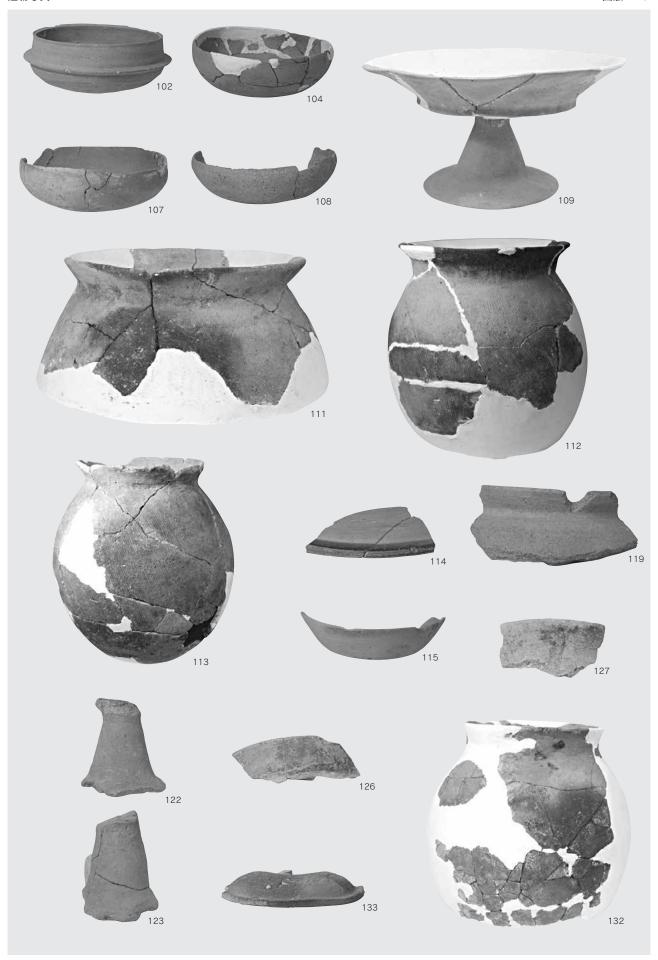


遺物写真 2 図版 23



図版 24 遺物写真 3

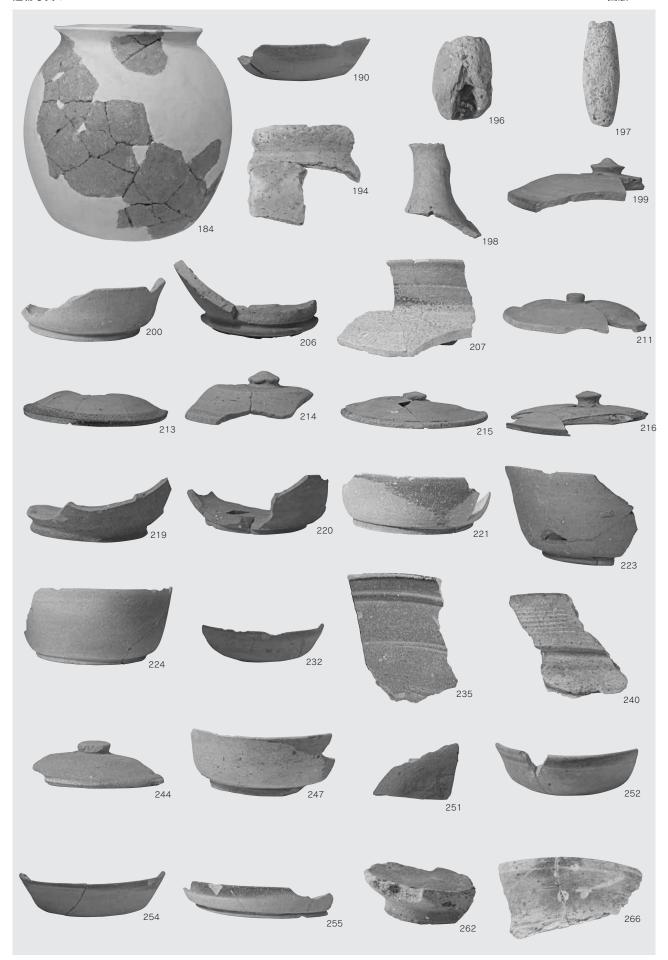




図版 26 遺物写真 5



遺物写真 6 図版 27



図版 28 遺物写真7



松任市 末松遺跡群 I

発行日 平成16 (2004) 年 3 月 31日

発行者 石川県教育委員会

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地 電話 076-225-1842 (文化財課)

財団法人 石川県埋蔵文化財センター 〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1

電話 076-229-4477

E-mail address mail@ishikawa-maibun.or.jp

印 刷 能登印刷株式会社